P3NK-5932-08Z0

Si-R GX500

メッセージ集 V1

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2017年 8月 初　版
2017年12月 第2版
2018年 3月 第3版
2018年 6月 第4版
2018年11月 第5版
2021年12月 第6版
2024年 9月 第7版
2025年 7月 第8版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。
Copyright Fsas Technologies Inc. 2017-2025

目次

はじめに 2
本書の構成と使いかた 9

第 1 章 アカウンティング 11

第 2 章 ターミナル 14

第 3 章 コマンドライン 18

第 4 章 コマンドログ 35

第 5 章 BFD(Bidirectional Forwarding Detection) 41

第 6 章 設定情報の管理 55

第 7 章 DHCP Relay(IPv4) プロトコル処理 154

第 8 章 DHCP Relay(IPv4) 設定反映 169

第 9 章 DHCP Relay(IPv4) コマンド 173

第 10 章 DHCP Relay(IPv6) プロトコル処理 176

第 11 章 DHCP Relay(IPv6) 設定反映 186

第 12 章 DHCP Client プロトコル処理 188

第 13 章 DHCP Client コマンド 218

第 14 章 DHCP Client 設定反映 (1) 221

第 15 章 DHCP Client 設定反映 (2) 230

第 16 章 DHCP サーバプロトコル処理 234

第 17 章 DHCP サーバ設定反映 255

第 18 章 DHCP サーバコマンド 265

第 19 章 DNS サーバプロトコル処理 269

第 20 章 DNS サーバ設定反映..... 272

第 21 章 DNS サーバコマンド..... 274

第 22 章 DNS スタティック設定反映 276

第 23 章 動的 VPN クライアント 278

第 24 章 動的 VPN サーバ設定反映..... 285

第 25 章 動的 VPN サーバ 287

第 26 章 装置構成の管理..... 291

第 27 章 Entity MIB..... 312

第 28 章 装置メンテナンスコマンド 316

第 29 章 装置内イベント管理..... 318

第 30 章 ネットワークスタック..... 325

第 31 章 ネットワークプロセッサの負荷監視 329

第 32 章 FPGA ドライバ 332

第 33 章 FTP サーバ..... 347

第 34 章 装置内エラー監視..... 355

第 35 章　インタフェース設定反映 361

第 36 章　インタフェース管理 372

第 37 章　インタフェース制御コマンド 406

第 38 章　IPsec 設定 409

第 39 章　プロセス監視ドライバ 423

第 40 章　Link Aggregation 429

第 41 章　IP access-list ライブラリ 432

第 42 章　デバイスアクセスライブラリ 435

第 43 章　フォワーディングプレーン IKE 機能 456

第 44 章　インタフェース MIB の SNMP トラップ送信 462

第 45 章　OS(kernel) 472

第 46 章　ログ出力制御 503

第 47 章　フォワーディングプレーン制御 505

第 48 章　フォワーディングプレーンポリシーマネージャー 514

第 49 章　フォワーディングプレーン VRRP 536

第 50 章　MAC アドレス設定反映 545

第 51 章　マネジメントインタフェース制御 547

第 52 章　メディアスタート 550

第 53 章 NAT 機能 554

第 54 章 IP フィルタ／ IPv6 フィルタ 572

第 55 章 Network Time Protocol(NTP) 処理 574

第 56 章 定期ログ取得機能 607

第 57 章 ポリシーマネージャー設定反映 609

第 58 章 PPP 設定反映 619

第 59 章 PPP 622

第 60 章 PPPoE 設定反映 651

第 61 章 PPPoE プロトコル処理 655

第 62 章 プロセスモニタ 679

第 63 章 ポリシールーティング 690

第 64 章 IPsec 機能関連 706

第 65 章 データコネクト機能 733

第 66 章 データコネクト機能の設定反映 755

第 67 章 report-all 取得 762

第 68 章 DNS の設定反映 769

第 69 章 Router Advertisement 771

第 70 章 ソフトウェアネットワークスタック 776

第 71 章 ソフトウェアネットワークスタック API 802

第 72 章 暗号化処理プロセッサのログ収集 810

第 73 章 アクセスリスト表示..... 814

第 74 章 SNMP 機能の設定反映 817

第 75 章 SNMP エージェント 826

第 76 章 Simple Network Time Protocol(SNTP) 処理 889

第 77 章 Security Processor 制御 891

第 78 章 SSH 897

第 79 章 SURVEY 機能..... 1012

第 80 章 syslog 処理..... 1024

第 81 章 TACACS+ 認証..... 1044

第 82 章 TELNET サーバ..... 1059

第 83 章 内部通信 1066

第 84 章 ファームウェアアップデート 1072

第 85 章 プロセス監視..... 1075

第 86 章 Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) 1089

第 87 章 Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) for IPv6 1103

第 88 章 ルーティングプロトコル処理 1118

第 89 章　モデム通信機能 1153

第 90 章　USB-Ethernet 機能 1169

第 91 章　イベントアクション機能 1182

第 92 章　IDS 機能 1205

第 93 章　サービス管理 (inetd) 1211

第 94 章　クローン処理 1228

第 95 章　LED 操作処理 1230

本書の構成と使いかた

本書は、本装置で取得できるログの一覧を掲載しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

ネットワーク設定を初めて行う方でもマニュアル「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいただけます。

本書の構成

本書では、本装置で取得できるログの一覧を掲載しています。

システムログの形式について

show logging syslog コマンドで表示した場合、ログは以下の形式で表示されます。

```
<date> <host> <message>
```

<date>	日時が表示されます。
<host>	hostname コマンドで設定したホスト名が表示されます。ホスト名を設定していない場合は何も表示されません。
<message>	メッセージ本文が表示されます。 メッセージは "< 識別子 >: < 本文 >" の形式で表示されます。

なお、logging host コマンドで指定した SYSLOG サーバに送信する SYSLOG メッセージは <date>、<message> の部分となります（RFC 準拠）。

マークについて

【メッセージ】　メッセージ本文。変化する部分は %1 などで表示

【プライオリティ】 SYSLOG の送信レベル

【ファシリティ】　SYSLOG の送信ファシリティ

【意味】　メッセージが発生する状況・原因

【パラメタの意味】 変化する部分の説明

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R GX500　ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
コマンドリファレンス -構成定義編-	装置の機能の動作を設定するためのコマンドについて、パラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンドリファレンス -運用管理編-	装置の再起動など運用に関わるコマンド、およびプロトコルセッションのクリアや統計情報のクリアなど装置を制御するためのコマンドについて、パラメタの詳細な情報を説明しています。
機能説明書	本装置の機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。

本書における商標の表記について

本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

第1章
アカウンティング

この章では、アカウンティングに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
connect with snmpd fail.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

snmpd との接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to initialize snmpd socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 関連 TRAP 送信の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
smux open fail.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt init fail.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt start fail.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第2章
ターミナル

この章では、ターミナルに表示されるメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: can't exec /bin/login: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

login コマンドの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=tty 名称

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: dup problem: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

stdout/stderr の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=tty 名称

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: invalid character 0x%2 in login name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

入力文字列が使用できません。

【パラメタの意味】

%1=tty名称

%2=文字コード

【メッセージ】

```
%1: invalid character conversion for login name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

入力文字列が使用できません。

【パラメタの意味】

%1=tty名称

【メッセージ】

```
%1: not open for read/write
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ttyが使用できません。

【パラメタの意味】

%1=tty名称

【メッセージ】

```
%1: read: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tty からの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=tty 名称

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: tcgetattr: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tty 設定の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=tty 名称

%2= エラーメッセージ

第3章
コマンドライン

この章では、コマンドラインに表示されるメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
'%1' exceeds max configurations. (%2/%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定数が装置の最大設定数を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 最大設定数を超えた設定 (Tunnel mode ipsec)

%2= 現在の設定数

%3= 最大設定数

【メッセージ】

```
'%1' is close to max configurations. (%2/%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定数が装置の最大設定数に近づきました。

【パラメタの意味】

%1= 最大設定数に近づいた設定 (Tunnel mode ipsec,Tunnel mode ipinip)

%2= 現在の設定数

%3= 最大設定数

【メッセージ】

```
<semaphore_lock> semop error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

実行コマンドの排他を実施しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<semaphore_unlock> semop error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

排他解除エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
cannot create fifo: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

scp コマンドで、FIFO の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
cannot move known_hosts_pubkey file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

内部処理が異常終了しました（copy_known_hosts_file 関数）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot open fifo: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

scp コマンドで、FIFO のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
cannot open sshd_config file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

/etc/ssh/sshd_config のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot open temporary file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

/tmp/sshd_config.xxx（xxx は PID）または /tmp/.ssh/known_hosts.xxx（xxx は PID）の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot reflect changes to the sshd_config file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

内部処理が異常終了しました（copy_sshd_config 関数）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
CS_CMD_SCL is inaccurate
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（hif_txt_search_que_str 関数）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
file open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fopen failed. filename[%1] error[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

clear crypto ha status コマンドで、sleep 時間設定ファイル読み出し時のファイルオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ftp connection was closed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

load ftp、refresh ftp コマンド実行中に ftp コネクションが切断されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
File reading error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

/var/clitxt/userinfo.cfg の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
infConfigChange event send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh コマンド実行時、eventd への通知に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
infConfigSave event send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

save または restore コマンド実行時に eventd への通知に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
no exist other-side, set normal reset.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファームウェアが 2 面化されていない状態で、update firmware other-side コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
semaphore_ucf_lock error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

排他エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
semaphore_ucf_unlock error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

排他解除エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
tac_open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（tac_open 関数）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unlink error:<%1> %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

diff コマンド終了時、作成した作業ファイルの削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 削除対象ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
/tmp/alias.conf file read error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
/tmp/exectimeout.conf file read error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

auto logout 時間の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1 (%2) is disconnected by %3 (%4)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

clear line コマンドまたは disconnect ssh コマンドにより端末が切断されました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド実行により切断されたユーザ名

%2= コマンド実行により切断された tty 名

%3= コマンド実行したユーザ名

%4= コマンド実行した tty 名

【メッセージ】

```
Configuration refreshed by %1.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
LOGOUT (%1) ON %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ログアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

%2=tty 名

【メッセージ】

```
reset by %1
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

reset コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
reset other-side by %1
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

reset other-side コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Alias table over
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

alias 設定数が内部テーブル数を超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Append of configuration by %1 was failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh append コマンドで、ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration appended by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

load append コマンドで、ファイルの読み込みが完了しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration appended by %1 refreshing
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh append コマンドで、ファイルの読み込みが完了しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration cleared by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

clear working.cfg コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration loaded by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

load コマンドで、ファイルの読み込みが完了しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration loaded by %1 refreshing
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh load コマンドで、ファイルの読み込みが完了しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration restored by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

restore コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Configuration saved by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

save コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Entering configuration mode: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configure terminal コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Leaving configuration mode: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

基本設定モードから抜けました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Load of configuration by %1 was failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

load または refresh load コマンドで、ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
refresh by %1 was failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh コマンドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
restore by %1 was failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

restore コマンドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

【メッセージ】

```
Save of configuration by %1 was failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

save または restore コマンドで、ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

第4章
コマンドログ

この章では、コマンドログに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
close socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コマンドログ用の通信ソケット削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cmdlogd port bind error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コマンドログ用の通信ソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
cmdlogd port socket open: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コマンドログ用の通信ソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Cannot create event queue
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
CMD_LOG shmat error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログ保存領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
illegal socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用のソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
init err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コマンドログ保存領域の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
read failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部メッセージの受信処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
setsock error %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用のソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルディスクリプタ

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
SHM_CLOG_BUF shmget error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログ保存領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
SHM_CLOG shmget error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログ保存領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
uwdt_heartbeat error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtとの通信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_init error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_start error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

第5章 BFD(Bidirectional Forwarding Detection)

この章では、BFD(Bidirectional Forwarding Detection) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 address is not link-local.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コマンドの処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=IPv6 アドレス

【メッセージ】

```
Add Session6 type invalid (%1, %2) index=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
BFD session neighbor %1 %2 down (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションがダウンしました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバーアドレス（IPv6 リンクローカル）

%2= インタフェース名またはインタフェースインデックス値

%3=BFD セッションがダウンした要因

【メッセージ】

```
BFD session neighbor %1 %2 up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションがアップしました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバーアドレス（IPv6 リンクローカル）

%2= インタフェース名またはインタフェースインデックス値

【メッセージ】

```
BFD session neighbor %1 down (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションがダウンしました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバーアドレス

%2=BFD セッションがダウンした要因

【メッセージ】

```
BFD session neighbor %1 up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションがアップしました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバーアドレス

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 %3 down
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのダウンによりネイバーのダウンを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名 (OSPFv3)

%2= ネイバーアドレス（IPv6 リンクローカル）

%3= インタフェース名またはインタフェースインデックス値

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 %3 up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのアップによりネイバーのアップを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名 (OSPFv3)

%2= ネイバーアドレス（IPv6 リンクローカル）

%3= インタフェース名またはインタフェースインデックス値

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 down (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのダウンによりネイバーのダウンを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名 (LAG)

%2= ネイバーアドレス

%3= 物理インタフェース名

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 up (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのアップによりネイバーのアップを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名 (LAG)

%2= ネイバーアドレス

%3= 物理インタフェース名

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 down
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのダウンによりネイバーのダウンを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名（OSPF、BGP、BGP4+、Static）

%2= ネイバーアドレス

【メッセージ】

```
BFD session with %1 neighbor %2 up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD セッションのアップによりネイバーのアップを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名（OSPF、BGP、BGP4+、Static）

%2= ネイバーアドレス

【メッセージ】

```
bfd_lib_start map NULL error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bfd_lib_stop map NULL error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind brdb socket error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind udp port error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind udp socket error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind udp6 port error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind udp6 socket error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bind unix socket error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
command response timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Create socket error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
duplicate neighbor address %1 <%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

複数の bfd-map で、同じアドレスのネイバーが設定されておりエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバーのアドレス

%2=bfd-map 名

【メッセージ】

```
failed to add IPv%1 Route.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1="4"(IPv4) or IPv6:"6"

【メッセージ】

```
get port [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
get port6 [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_DAEMON

【意味】
内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】
%1=エラーコード

【メッセージ】

```
libbfdnz command data read error
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_DAEMON

【意味】
内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】
パラメタなし

【メッセージ】

```
libbfdnz command header read error
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_DAEMON

【意味】
内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】
パラメタなし

【メッセージ】

```
Port is invalid.
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt heartbeat error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt resume error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt send heartbeat error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt start error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspend error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[Not Support %1] setting link-local address %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=IPv6 アドレス

第６章
設定情報の管理

この章では、設定情報の管理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
'%1' exceeds max configurations. (%2/%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定数が装置の最大設定数を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 最大設定数を超えた設定

Tunnel mode ipsec

Tunnel mode ipinip

%2= 現在の設定数

%3= 最大設定数

【メッセージ】

```
'%1' is close to max configurations. (%2/%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定数が装置の最大設定数に近づきました。

【パラメタの意味】

%1= 最大設定数に近づいた設定 (tunnel mode ipsec)

%2= 現在の設定数

%3= 最大設定数

【メッセージ】

```
%1(%2): Backup file(%3) mmap error(%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルのマッピングに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

%3= バックアップファイル名

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
%1(%2): Backup file(%3) open error(%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

%3= バックアップファイル名

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
%1(%2):cmdset scan error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_scan_cmdset 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):db type error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DB タイプの指定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):excom_que2string error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（excom_que2string 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):get dbroot error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DB のルート情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):get memory error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):get mode(%3) error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モード情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

%3= モード ID

【メッセージ】

```
%1(%2):link error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データリンクに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):list copy error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

キーワードリストのコピーに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):mi link error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ModeIndex の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):parameter error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):push error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):que copy error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

QUE のコピーに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):tree copy error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TREE のコピーに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):scan error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
%1(%2):working.cfg clear error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

working.cfg のクリアに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 行番号

【メッセージ】

```
[%1] header recv time out [%2]sec error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ヘッダ部の受信にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウトリミット値

【メッセージ】

```
[excom_get_queue_size] excom_kb_queue_manage failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

キーワード情報の重複チェックに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[excom_socket_recv] data recv select error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[excom_socket_recv] data recv total_size=%1 errno=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=受信トータルサイズ

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
[excom_socket_recv] header recv errno=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ヘッダ情報の受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
[excom_socket_recv] header recv select error=%1!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ヘッダ情報の受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
[excom_socket_send] send errno=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> %% There were those who cannot refresh.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 中の場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> %2 : not a regular file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通常ファイルでない場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= ファイルパス

【メッセージ】

```
<%1> %2 : open errno=%3.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（open 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= ファイルパス

%3= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> %2:invalid target
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ターゲット指定が無効な場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= ターゲット文字列

【メッセージ】

```
<%1> %2:invalid type
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

タイプ指定が無効な場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイプ

【メッセージ】

```
<%1> accept failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

接続要求の受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> all thread joined.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

起動中のスレッドがない場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> anl failed kind=0x%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

解析処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 電文種別

【メッセージ】

```
<%1> any error occurred.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答電文の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> ap sync failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

AP の同期に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> bd_spec_slot error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モジュール情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> bd_spec_sslot error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

自身のスロット番号の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> binary2queue failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バイナリから QUEUE への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> bind error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> bind failed errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> bind retry over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バインドリトライオーバーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> busy retry over!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信のリトライに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> busy retry over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信のリトライに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> case default: value[%2].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

未定義の電文種別を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
<%1> cfg_ext_anlcmd error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報の受信要求に関する受信電文の解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfg_ext_connect error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コネクトに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfg_ext_connect error!.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コネクトに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfg_ext_stor failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 時の同期に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfg_filedata_recv error ret=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルデータの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 戻り値

【メッセージ】

```
<%1> cfg_read_dp failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg、working.cfg ストリーム実行結果の出力用ディスクリプタの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfgd_anlcmd_req_common_mode_cmd error1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文の解析エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfgd_anlcmd_req_common_mode_cmd error2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文の解析エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> cfgd_ext_anlcmd_req_stor failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報の受信要求に関する応答電文の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> child process exec error(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

子プロセスの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> cmd pkt connect error=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コネクトに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> config revision sync retry over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リビジョン番号の同期にリトライオーバーで失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> config sync failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報の同期に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> configd_started failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dishd への configd 起動通知に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> connect error. %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コネクトに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> connect failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd への接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> connect failed errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コネクトに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> control level != SOL_SOCKET.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

補助データのコントロールレベルが SOL_SOCKET でない場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> control type != SCM_RIGHTS.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

補助データのコントロール種別が SCM_RIGHTS でない場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> count of connection is over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

最大接続数を超えた場合

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> create dishd listenersocket failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dishd 用のリスナソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> create external listenersocket failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

外部通信用のリスナソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> create listenersocket failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用のリスナソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> create_config_business error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報差分ファイルの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> data kind error kind=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ種別チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= データ種別

【メッセージ】

```
<%1> data len error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文のデータ長チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> data len error need[%2] len[%3].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文のデータ長チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 解析済データ長

%3= モードまたはコマンドの文字列長

【メッセージ】

```
<%1> data recv time out [%2]sec.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ部の受信にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウトリミット値

【メッセージ】

```
[%1] data recv time out [%2]sec error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ部の受信にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウトリミット値

【メッセージ】

```
<%1> data size check error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文のデータ長チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> datasize error size=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ長チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= サイズ

【メッセージ】

```
<%1> descriptor(progressbar) passing failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プログレスバー出力用のディスクリプタパッシングに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> descriptor(text) passing failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

結果出力用ディスクリプタパッシングに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> diff exec error. ret=[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

diff コマンドの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 戻り値

【メッセージ】

```
<%1> error occurred(%2:%3).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

アプリケーションの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーメッセージ

%3= 実行アプリケーション名

【メッセージ】

```
<%1> excom_binary2queue error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（excom_binary2queue 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> excom_queue2binary failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答電文データ部の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> excom_send_eventd error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（excom_send_eventd 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> excom_write error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdb_binary2tree error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_binary2tree 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdb_cancel_regist failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdb_copy_cfg_x error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_copy_cfg_x 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdb_init_tree failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdb_read_backup error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_check_backup failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイル (CURRENT.FILE、UPDATE.FILE、DELETE.FILE) がありません。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_clear_updateflag failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdbif_clear_uptdaeflag 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_create_acl_diff error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdbif_create_acl_diff 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_current2working failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg から working.cfg へのデータコピーに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_get_cfgsize failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

working.cfg のデータサイズ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_get_cfgtext failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報データのテキスト変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_get_cfgtext_scp failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報データのテキスト変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_get_file failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルデータの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_load_backup failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップから current.cfg の復元に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_save_backup failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg のバックアップに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_set_cfgtext failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受信した設定情報の反映に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_thread_start failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

libexdb のスレッド初期化処理の呼び出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_working2current failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdbif_working2current 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exdbif_working2current_no_delcfg failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdbif_working2current_no_delcfg 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exec error(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exec 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> exif_create_config_diff failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報差分ファイルの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_ext_stor_business failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報受信要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_get_mainorstby error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ボード種別の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_lock_sem_configd_refresh error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exif_lock_sem_configd_refresh 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_nologin_update error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ログイン禁止ファイルの更新に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_nologin_update error. ret=[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ログイン禁止ファイルの更新に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=exif_nologin_update 関数の復帰値

【メッセージ】

```
<%1> exif_pre_refresh failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd 初回起動時、refresh 準備処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_read_conf failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd.conf の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_read_refreshtab failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh_fst.tab または refresh.tab の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_recovery failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd 再起動時、リカバリ処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_refresh_ap_business error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refrshAP の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_refresh_business error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_refresh_business failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exif_refresh_business 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_req_direct_edit error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

直接編集に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_req_ext_get_version failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exif_req_ext_get_version 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_thread_start failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

起動時、refresh に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_unlock_sem_configd_refresh error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exif_unlock_sem_configd_refresh 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> exif_user_start failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ライブラリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> external_socket listen failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

外部通信用リスニング開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> Exiting on signal %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

強制終了しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= シグナル番号

【メッセージ】

```
<%1> fgets error. filename[%2] line[%3] errno[%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd.conf の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=configd.conf のファイルパス

%3= エラー発生の行番号

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> first refresh is timeout.[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

初回 refresh のタイムアウトが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウト時間

【メッセージ】

```
<%1> fopen failed. filename[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd.conf、refresh_fst.tab、refresh.tab のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= ファイル名

【メッセージ】

```
<%1> force-reset error. ret=[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

force-reset コマンドの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> fork error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（fork 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> fork failed(%2:%3).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

アプリケーションの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名
%2= エラーメッセージ
%3= 実行アプリケーション名

【メッセージ】

```
<%1> fstat errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名
%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> fts_open errno=%2 error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（fts_open 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラー番号

【メッセージ】

```
<%1> Fatal error, exiting.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

強制終了しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> get memory error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> header recv errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ヘッダ部の受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> header recv time out [%2]sec.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ヘッダ部の受信にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウトリミット値

【メッセージ】

```
<%1> header send error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

電文ヘッダ部の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> input parm null pointer error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

スレッドメイン処理に指定のパラメタがありません。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> input parm null ptr error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ストリーム実行スレッド起動時、パラメタがありません。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> internal accept error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部接続受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> internal_socket listen failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用リスニング開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> item count=%2 error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

アイテム数チェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= アイテム数

【メッセージ】

```
<%1> listen socket close done.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リスナソケットを閉じました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> make_gettytab2 error. ret=[%2].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コンソールプロンプトの切り替えに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=make_gettytab2 の復帰値

【メッセージ】

```
<%1> malloc error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> malloc error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> malloc error. size[%2].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=サイズ

【メッセージ】

```
<%1> malloc errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> mcf_at failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ライブラリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mkcmd failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求電文作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mkcmd failed!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定情報の受信要求電文の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mkcmd_res_diff error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答電文作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mkcmd_res_nondata failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mkcmd_res_retr_file failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイル送信要求の応答電文作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mktemp error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

テンポラリファイルの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> mktemp failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

テンポラリファイルの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> mmap errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリマッピングに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> parameter error [cmd].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定キーワード文字列の組み立てに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> parameter error [mode].
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定キーワード文字列の組み立てに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> path of workdir is too long. file[%2]:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd.conf に設定されている作業ディレクトリパスが長すぎます。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=configd.conf のファイルパス

%3=configd.conf に設定されている作業ディレクトリパス

【メッセージ】

```
<%1> peer close.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットがクローズされました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> prepare_ap_refresh error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refrshAP の起動準備に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> range error mode_count=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モード組合せカウントのチェックエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= モード組合せカウント

【メッセージ】

```
<%1> read errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> recv error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> recv error!.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> recv failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> recvfrom failed. errno=%2 errmsg=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

%3=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> recvmsg error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

結果出力用ディスクリプタの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> refresh failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> refresh is timeout. [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh のタイムアウトが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= タイムアウト時間

【メッセージ】

```
<%1> register cnt over error cnt=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

要求数が MAX を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 要求数

【メッセージ】

```
<%1> register_refresh_ap failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refreshAP の起動要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> rename errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（rename 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> res send error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答電文の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> res send NG.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> res send NG. cmnd kind[0x%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答電文の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= 電文種別

【メッセージ】

```
<%1> restore failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg から working.cfg へのデータコピーに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> search_refresh_tab error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh.tab 検索処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> select error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

selectに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> sem_init failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（sem_init関数）。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> sem_post errno=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（sem_post関数）。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラー番号

【メッセージ】

```
<%1> sem_wait errno=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（sem_wait 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラー番号

【メッセージ】

```
<%1> semaphore id get error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォ ID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> semaphore unlock error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォアンロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> semaphore unlock retry error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォアンロックがリトライオーバーで失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> semctl error:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラー内容

【メッセージ】

```
<%1> semget error:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラー内容

【メッセージ】

```
<%1> send error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> send error=%2!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> send failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> send NG.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> sendandrecv failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データの送受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> sendto error. %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd 起動の waitd への通知に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> sendto failed. errno=[%2] errmsg=[%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> setflg wait retryover error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ユーザ ID 解放処理のリトライオーバーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> setlim error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> setrlimit error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> setsockopt error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> sigaction failed errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（sigaction 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> size recv failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データサイズ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> socket error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

外部通信用リスナソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> socket error. %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> socket failed errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> stat errno=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイル状態の獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
<%1> stor reply send NG.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

stor 要求の応答送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> subthread error occurred.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

サブスレッドでエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> target null error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ターゲットの null エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> uwdt error !
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdt のエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> uwdt_init error: `%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdt の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> uwdt_start error: `%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> version info reply send NG.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バージョン情報の応答送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
<%1> write error. %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=使用関数名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
auto save: %1 has not been mounted error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

マウント未実行エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= マウントパス

【メッセージ】

```
auto save: <%1> create_cfgfile_business error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（create_cfgfile_business 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラー番号

【メッセージ】

```
auto save: <%1> mkdir %2 errno=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（mkdir 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=ディレクトリパス
%3=エラー番号

【メッセージ】

```
auto save: <%1> mktemp error %2.
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
内部処理が異常終了しました（mktemp 関数）。

【パラメタの意味】
%1=使用関数名
%2=エラー番号

【メッセージ】

```
auto save: Not enough free space on %1
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
空き領域が不足しています。

【パラメタの意味】
%1=マウントパス

【メッセージ】

```
busy retry over.
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】

データ送信のリトライに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Buffer pool empty.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バッファプールが枯渇しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Can not auto save
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定ロールバック用ファイルの保存に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
excom_cache_write error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

テキストデータの出力に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
excom_queue2binary add KB queue failed!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

キーワード情報の重複チェックに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
excom_write error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

テキストデータの出力に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
excom_write: send errno=%1!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定ディスクリプタへの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
exdb_add_MI(%1):mk search error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ModeKeyword の検索に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_add_MI(%1):path search error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

現在位置の検索に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_binary2tree(%1):CK convert error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バイナリブロックから CommandKeyword への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_binary2tree(%1):MI convert error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バイナリブロックから ModeIndex への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_binary2tree(%1):MK convert error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バイナリブロックから ModeKeyword への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_binary2tree(%1):push block error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_push_block 関数）。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_cancel_regist: malloc err.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
exdb_clear_tree_x(%1):tree scan error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ModeIndex 配下のスキャンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_copy_list(%1):link(CK) error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

CommandKeyword データの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_copy_list(%1):que link error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TREE(ModeKeyword/CommandKeyword) から QUE へのリンクに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_db2binary(%1):que to binary error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

excom_queue2binary 関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_db2binary(%1):set header error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

exdb_set_header関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_db2binary(%1):tree to binary error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

exdb_tree2binary関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_db2binary(%1):write backup error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

exdb_write_backup関数の実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_delete_delcfg(%1) exdb_get_MIlist() error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ModeIndexList の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_edit_cfg: exdb_get_modeid_and_hash error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モード情報（モード ID、ハッシュ値）の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
exdb_indexsort(%1) Error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インデックスソートに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_init_tree(%1):MI add error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ModeIndex の追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 行番号

【メッセージ】

```
exdb_invalid_interface(%1) exdb_get_dbroot()result:0x%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DB のルート情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 行番号

%2= 指定 DB のルートへのポインタ

【メッセージ】

```
exdb_invalid_interface(%1) exdb_get_modeid_and_hash() error  mode:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モード情報（モード ID、ハッシュ値）の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 行番号

%2= モード行文字列

【メッセージ】

```
exdb_invalid_interface(%1) exmk_root:0x%2 exmk_root->index_list:0x%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DB のルート情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

%2=ModeKeyword のルートへのポインタ

%3=ModeKeyword の IndexList へのポインタ

【メッセージ】

```
exdb_no_mode_spread_recursive(%1):spread error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

working.cfg（モード設定削除）の管理部（下位）へ波及が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_part_clear_tree_recursive2(%1):delete error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TREE-INDEX(ModeIndex) のスキャンと削除フラグ有効処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_read_backup(%1): Backup file(%2) fstat error(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルの状態取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

%2=バックアップファイル名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
exdb_read_backup(%1): Backup file(%2) hash error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルのハッシュエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

%2=バックアップファイル名

【メッセージ】

```
exdb_set_header(%1):get time error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

現在時刻の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_set_MI(%1) exdb_indexsort():return %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

新規 ModeIndex の挿入位置検索に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

%2=exdb_indexsort 関数の復帰値

【メッセージ】

```
exdb_set_treeid_recursive error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_set_treeid_recursive 関数）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
exdb_set_treeid_recursive(%1):tree error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

working.cfg への tree-id 設定が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_start(%1):current.cfg init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_start(%1):delete.cfg init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

delete.cfg の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_start(%1):no shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリアタッチに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_start(%1):update.cfg init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

update.cfgの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_start(%1):working.cfg init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

working.cfgの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_update_diffcfg(%1) exdb_edit_cfg() error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（exdb_edit_cfg 関数）。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_update_diffcfg(%1) parameter error [cmd]!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

【メッセージ】

```
exdb_write_backup(%1): Backup file(%2) write error(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バックアップファイルの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=行番号

%2=バックアップファイル名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
exdbs_command_set input buf null error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
malloc err! request size[%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= メモリ獲得サイズ

【メッセージ】

```
sem(ex) lock error. <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリのセマフォロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
sem(ex) unlock error. <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリのセマフォアンロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
startup-config is broken.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置起動中に起動構成定義ファイルが壊れていることを検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
thread lock(rd) error. <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg のスレッドロック（共有）に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
thread lock(rw) error. <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg のスレッドロック（占有）に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
thread unlock error. <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

current.cfg のスレッドアンロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
background-refresh completed : %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd が予約 refresh を完了しました。

【パラメタの意味】

%1= 最後に background-refresh 要求したユーザ名

%2= 最後に background-refresh 要求した端末名（tty 名）

【メッセージ】

```
background-refresh started : %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd が予約 refresh を開始しました。

【パラメタの意味】

%1= 最後に background-refresh 要求したユーザ名

%2= 最後に background-refresh 要求した端末名（tty 名）

【メッセージ】

```
Request background-refresh by %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

configd が background-refresh 要求を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=background-refresh 要求したユーザ名

%2=background-refresh 要求した端末名（tty 名）

【メッセージ】

```
<%1> exif_recovery done.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リカバリ処理が実行されました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> recv filedata none.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受信するファイルデータが存在しません。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
Lack of memory (buffer pool) size=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリが不足しています。

【パラメタの意味】

%1= メモリ獲得サイズ

【メッセージ】

```
memory limit size=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの最大獲得データサイズをオーバーしました。

【パラメタの意味】

%1= メモリ獲得サイズ

第7章
DHCP Relay(IPv4) プロトコル処理

この章では、DHCP Relay(IPv4) プロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Memory alloc error (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=データ種別

%2=失敗原因

【メッセージ】

```
'ip dhcp service relay' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

最大有効数(20)を超えたため、有効にできなかった設定があります。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%1:%2: FD_TBL malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
DHCP socket(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP 通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpr_unix_sock_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

dhcpr_ap との通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpr_cmd_bind(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

dhcpr_cmd との通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_start(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
Fail to set close-on-exec flag
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bind error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
listen error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの listen() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
accept error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの受け入れ処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

%2= 処理命令行

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

%2= 処理命令行

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

%2= 処理命令行

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
Can't create dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_REUSEADDR オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_BROADCAST オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set UDP_DUPSOCK option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
dhcp socket bind error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_PKTINFO オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_MULTICAST_TTL オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_LIMITED_BROADCAST オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
send_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
receive_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket open error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
socket bind error(%1:%2):%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット番号

%2= エラー番号

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
send error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
recvmsg error %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINKソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=失敗原因

【メッセージ】

```
recvmsg failed : EOF
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINKソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
error msg recv
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットで IPv6 リンクローカルアドレス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcp relay was enabled : %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP Relay 機能が有効になりました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
dhcp relay was disabled : %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP Relay 機能が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

第 8 章
DHCP Relay(IPv4) 設定反映

この章では、DHCP Relay(IPv4) 設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
current config refer error on initialization
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コンフィグ読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行
%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】
%1=処理関数名
%2=処理命令行
%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
dhcprd からのメッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】
%1=処理関数名
%2=処理命令行
%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】
LOG_ERR

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】

dhcprd へのメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

%2= 処理命令行

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%CONFIG: "ip vrf forwarding" configuration was overlapped, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service server、ipv6 dhcp service server、または ipv6 dhcp service relay と 、ip vrf forwarding が同時に設定してあるため、ip dhcp service server、ipv6 dhcp service server、または ipv6 dhcp service relay 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

第9章
DHCP Relay(IPv4) コマンド

この章では、DHCP Relay(IPv4) コマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
cmd socket error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
cmd connect error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcprd との接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
cmd send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcprd へのメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
cmd recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcprd からのメッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
malloc error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
%1 : Time-over
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcprd からの応答メッセージが 10 秒以内にありませんでした。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

第 10 章
DHCP Relay(IPv6) プロトコル処理

この章では、DHCP Relay(IPv6) プロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
bind(csock): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
bind(ssock): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
binding_list: memory alloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部領域確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to get Shared Memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Shared Memory の獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to map Shared Memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Shared Memory のマッピングに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getaddrinfo: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

getaddrinfo の呼び出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
invalid interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

不正なインタフェースが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
ipv6 dhcp bindings exceeded 90%
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バインディングデータベース使用量が 90% を超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
memory allocation failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部領域確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nsm ack %1 status %2 sub_status %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

登録した経路が active になりませんでした。

【パラメタの意味】

%1= 経路のプレフィックス

%2= 原因

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
nsm ack timeout %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

経路登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 経路登録に失敗したプレフィックス

【メッセージ】

```
nsm send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

経路登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=経路登録に失敗したプレフィックス

【メッセージ】

```
setsockopt(csock, IPV6_JOIN_GROUP): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
setsockopt(csock, SO_REUSEPORT): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
setsockopt(IPV6_PKTINFO): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
setsockopt(ssock, SO_REUSEPORT): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
socket(csock): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー要因

【メッセージ】

```
socket(outsock): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
failed to allocate memory for IFID: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
failed to allocate memory to copy the original packet: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
failed to get the arrival interface
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パケットの受信インタフェースが不明の場合

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to make message control data
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信パケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
non-IPv6 packet is received (AF %1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IPv6 以外のパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル番号

【メッセージ】

```
recvmsg: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
Can't load shared library. Process exited
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有ライブラリの読み込みに失敗したため、プロセスを終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to construct relay options
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信パケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 11 章
DHCP Relay(IPv6) 設定反映

この章では、DHCP Relay(IPv6) 設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 - ignored: Port-channel %2 'ipv6 dhcp relay destination %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで ipv6 dhcp relay destination が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなった理由

exceeds max configurations (3)

指定可能な destination の上限数 (3) を超えた

unsupported address

link-local または multicast アドレスを指定した

not supported VRF

設定したインタフェースに VRF 設定がある

interface IPv6 address is not set

設定したインタフェースに IPv6 アドレスがない

source-interface is invalid (not exist)

source-interface で指定したインタフェースが存在しない

source-interface is invalid (use VRF)

source-interface で指定したインタフェースに VRF 設定がある

source-interface is invalid (not IPv6)

source-interface で指定したインタフェースに IPv6 アドレスがない

%2= 設定がある Port-channel の番号

%3= 設定した destination address

第 12 章
DHCP Client プロトコル処理

この章では、DHCP Client プロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: malloc error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの bind() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: FD_TBL malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
'ip dhcp service client' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

最大有効数 (20) を超えたため、設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
'ipv6 dhcp service client' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

最大有効数 (20) を超えたため、設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
accept error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの accept() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
bind error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの bind() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't create dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IPV6_RECVPKTINFO option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCPv6 サーバ通信用ソケットの IPV6_RECVPKTINFO オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_ANYADDRAVAIL option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_ANYADDRAVAIL オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_LIMITED_BROADCAST オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_MULTICAST_TTL オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの IP_PKTINFO オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_BROADCAST オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの SO_REUSEADDR オプションセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
Fail to set close-on-exec flag
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl() に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
IPv6 address generation failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

払い出された prefix から IPv6 アドレスの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
Memory alloc error (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= データ種別

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
check_timing6: Unable to allocate memory for %1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ名

【メッセージ】

```
dhc6_add_ia_pd: Unable to allocate memory for IAPREFIX.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_add_ia_pd: Unable to allocate memory for IA_PD.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_dup_lease: Out of memory for v6 lease structure.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_leaseify: Out of memory for v6 lease structure.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_merge_lease: Out of memory merging lease - Unable to continue
without losing state!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_parse_ia_pd: Invalid IA_PD option cache.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したIA_PDオプションのデータ長が正しくない場合またはメモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_parse_ia_pd: Out of memory allocating IA_PD structure.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_parse_prefixes: Invalid IAPREFIX option cache.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したIAPREFIXオプションのデータ長が正しくない場合またはメモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhc6_parse_prefixes: Out of memory allocating prefix structure.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcp socket bind error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
DHCP socket(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpc_cmd_bind(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

dhcpc_cmd との通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpc_ifd_connect(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifd への接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpc_opt_bind(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

他モジュールとの通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpc_unix_sock_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

dhcpc_ap との通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpoffer: no memory for filename.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcpoffer: no memory for server name.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_init6: Unable to allocate memory for IAPREFIX.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_init6: Unable to allocate memory for IA_PD.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_packet6: no memory for incoming packet.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_packet: no memory for incoming packet!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_refresh6: Unable to allocate memory for packet.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate IPv6 address %1, address=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

払い出された prefix から生成した IPv6 アドレスが重複しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= 生成した IPv6 アドレス

【メッセージ】

```
error msg recv
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットで IPv6 リンクローカルアドレス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
get_uptime () error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uptime 時間の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_register_socket for %1 fails
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCPv6 サーバ通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
ifd connect error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifd と接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
ifd recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifd からのメッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
ifd send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifd へのメッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
ifd socket error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifd と通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
info_request_handler: Out of memory for v6 lease structure.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
listen error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの listen() に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
no link-local IPv6 address for %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCPv6 サーバ通信用インタフェースのリンクローカルアドレス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
nsm registration failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

router オプションのアドレスが使用できません。

【パラメタの意味】

%1=router オプションのアドレス

【メッセージ】

```
nsm_client_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nsm との通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nsmclient_connect(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nsm への接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
packet_to_lease: no memory to record lease.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
receive_packet6: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
receive_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
recvmsg error %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=失敗原因

【メッセージ】

```
recvmsg failed : EOF
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtadvclient_connect(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

rtadvd への接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
send error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
send_packet6: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket bind error(%1:%2):%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINK ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット番号

%2= エラー番号

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
socket error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用ソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
socket open error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETLINKソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
uwdt_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_start(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
clear ip dhcp lease on %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リース情報をリリースしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=リリースした理由

【メッセージ】

```
clear ipv6 dhcp binding on %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

バインド情報をリリースしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=リリースした理由

【メッセージ】

```
get ip dhcp lease on %1 : %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リース情報を取得しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=取得したIPアドレス

【メッセージ】

```
get ipv6 dhcp binding on %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

バインド情報を取得しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

第 13 章
DHCP Client コマンド

この章では、DHCP Client コマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 : Time-over
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd からの応答メッセージが 10 秒以内にありませんでした。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

【メッセージ】

```
cmd connect error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd との接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
cmd recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd からのメッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
cmd send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd へのメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
cmd socket error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

【メッセージ】

```
malloc error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗原因

第 14 章
DHCP Client 設定反映 (1)

この章では、DHCP Client 設定反映 (1) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%CONFIG: "ip address" configuration was overlapped, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service client と ip address が同時に設定されているため、ip dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: "ip vrf forwarding" configuration was overlapped, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client と ip vrf forwarding が同時に設定されているため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was not used.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client を設定している port-channel を指定している interface GigaEthernet モードがないため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was used by bridge-group %3.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client と bridge-group が同時に設定されているため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

%3= ブリッジグループ番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was used by more than one interface.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client を設定している port-channel を指定している interface GigaEthernet モードが複数あるため、ip dhcp service client または ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: Tunnel mode is not pppoe, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

トンネルインタフェースの tunnel mode に pppoe 以外を指定しているため、ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid iaid %1. (default iaid set)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

iaid 未指定時に使用する mib_ifindex が ipv6 dhcp client-profile の iaid 設定に指定されたため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=mib_ifindex

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ip dhcp client-profile, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp client-profile で指定したプロファイルの設定がないため、ip dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile %1 (duplicate iaid)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp client-profile の iaid 設定が重複しているため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile %1 (no options)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp client-profile に option-request 設定がないため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp client-profile, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp client-profile で指定したプロファイル設定がないため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp service client, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp service client を指定したインタフェースに RA 設定または ipv6 enable がないため ipv6 dhcp service client 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: profile which set IAID can't overlap and establish it. %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

iaid を指定した ipv6 dhcp client-profile を複数インタフェースに指定しているため、ipv6 dhcp client-profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名

%2= 処理命令行

%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd からのメッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd へのメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
current config refer error on initialization
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コンフィグ読み込み時の開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 15 章
DHCP Client 設定反映 (2)

この章では、DHCP Client 設定反映 (2) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名
%2= 処理命令行
%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 処理関数名
%2= 処理命令行
%3= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd からのメッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dhcpcd へのメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

【メッセージ】

```
current config refer error on initialization
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コンフィグ読み込み時の開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第16章 DHCPサーバプロトコル処理

この章では、DHCPサーバプロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1:%2 IPv4 pool malloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: FD_TBL malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
accept error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
bind error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't create dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set IP_ANYADDRAVAIL option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set IP_LIMITED_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set IP_MULTICAST_TTL option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set IP_PKTINFO option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set IPV6_RECVPKTINFO option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Can't set SO_BROADCAST option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't set SO_REUSEADDR option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Client option socket(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
client socket error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
dhcp socket bind error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
DHCP socket(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcps_cmd_bind(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dhcps_unix_sock_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
DHCPv6 socket(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Distribution address generation failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP クライアント連携で、配布アドレスの生成に失敗しました。
ipv6 dhcp server-profile の address 設定を見直してください。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Distribution prefix generation failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP クライアント連携で、配布プレフィックスの生成に失敗しました。
ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定を見直してください。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
do_packet: no memory for incoming packet.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_packet6: no memory for incoming packet.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate host-database: duid:%1 IPv6:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6 dhcp host-database モードの host 設定で同一 DUID が指定されていたため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=DUID

%2=IPv6 アドレス

【メッセージ】

```
Duplicate host-database: mac:%1 IPv4:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip dhcp host-database モードの host 設定で同一 MAC アドレスが指定されていたため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=MAC アドレス

%2=IPv4 アドレス

【メッセージ】

```
error msg recv
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to set close-on-exec flag
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
get_uptime () error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
ICMP protocol used before initialization.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
'ipv6 dhcp service relay' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP リレーの最大有効数 (20) を超えたため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
'ip dhcp service server' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCPv4 サーバの最大有効数 (20) を超えたため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
'ipv6 dhcp service server' exceeds max configurations (20) - ignored in
interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCPv6 サーバの最大有効数 (20) を超えたため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
listen error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Memory alloc error (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
nsm_client_init(): error!!"
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nsmclient_connect(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
receive_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
receive_packet6: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
recvmsg error %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
send error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
send_packet: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send_packet6: unable to allocate cmsg header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket bind error(%1:%2):%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
socket error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
socket open error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt_init(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_start(): error!!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 17 章
DHCP サーバ設定反映

この章では、DHCP サーバ設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: bind error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: fcntl error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: recvfrom error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: sendto error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: socket error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%CONFIG: "ip vrf forwarding" configuration was overlapped, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

VRF 設定されている port-channel インタフェースでは、DHCP サーバ機能を有効にできません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was not used.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能／DHCP リレー機能の設定を有効にできませんでした。

DHCP サーバ機能／DHCP リレー機能を設定している port-channel インタフェースが物理インタフェースに設定（channel-group 設定）されていません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was used by bridge-group %3.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

bridge-group 設定のある物理インタフェースに設定（channel-group 設定）されている port-channel インタフェースでは、DHCP サーバ機能を有効にできません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

%3=ブリッジグループ番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 %2 was used by more than one interface.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

複数の物理インタフェースに設定（channel-group 設定）した port-channel インタフェースでは、DHCP サーバ機能を有効にできません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: 'address' exceeds max configurations (4) - ignored in ip dhcp
server-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp server-profile の address 設定の 5 行目以降の設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: 'address' exceeds max configurations (4) - ignored in ipv6 dhcp
server-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の address 設定の 5 行目以降の設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Address preferred lifetime is larger than valid lifetime, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

ipv6 dhcp server-profile の address 設定で preferred lifetime が valid lifetime より大きな値になっています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid Address , %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

ip dhcp server-profile または ipv6 dhcp server-profile の address 設定で、start address に end address より大きい値が指定されています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ip dhcp server-profile, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp server-profile 設定で指定したプロファイルの設定がありません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid ipv6 dhcp server-profile, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp server-profile設定で指定したプロファイルの設定がありません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: multiple connected client - ignored in ipv6 dhcp server-profile
%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

ipv6 dhcp server-profile 設定で、クライアント連携するインタフェースを 2 つ以上指定しています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: 'option' exceeds max configurations (4) - ignored in ip dhcp
server-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip dhcp server-profile の option 設定の 5 行目以降の設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: 'option' exceeds max configurations (4) - ignored in ipv6 dhcp
server-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の option 設定の 5 行目以降の設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: 'prefix' exceeds max configurations (4) - ignored in ipv6 dhcp
server-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定の 5 行目以降の設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Prefix preferred lifetime is larger than valid lifetime, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DHCP サーバ機能の設定を無効にしました。

ipv6 dhcp server-profile の prefix 設定で preferred lifetime が valid lifetime より大きな値になっています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
current config refer error on initialization
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

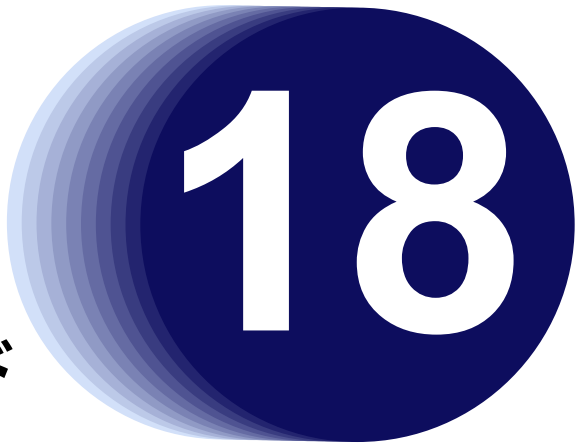
【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 18 章
DHCP サーバ コマンド



この章では、DHCP サーバコマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 : Time-over
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。
しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cmd connect error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。
しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cmd recv error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cmd send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cmd socket error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
malloc error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

第 19 章
DNS サーバ
プロトコル処理

この章では、DNS サーバ プロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Can't set UDP_DUPSOCK option on dhcp socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
dhcp server was enabled : %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ機能が有効になりました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
dhcp server was disabled : %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP サーバ機能が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
ipv%1 %2 socket limit exceeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ProxyDNS 用ソケットの最大数を超えたためリレーできませんでした。

【パラメタの意味】

%1="4"or"6"

%2="udp"or"tcp"

【メッセージ】

```
Query limit exceeded (100)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

同時に処理できる Query の最大数を超えたため受信した Query を廃棄しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第20章 DNSサーバ設定反映

この章では、DNSサーバ設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
'dns-server access-class' exceeds max configurations (10) - ignored:
'dns-server access-class %1'
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dns-server access-class のエントリ数が最大数 (10) を超えています。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった dns-server access-class 設定のアクセスリスト番号

第21章
DNSサーバコマンド

この章では、DNSサーバコマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
dnsd_cmd select timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DNS プロセスからの応答待ちがタイムアウトしました。
しばらく待ってコマンドを再度実行してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第22章 DNSスタティック設定反映

この章では、DNSスタティック設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
'ip host' exceeds max configurations (64) - ignored: 'ip host %1'
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DNS スタティック設定 (IPv4) の設定数が最大数 (64) を超えています。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった DNS スタティック設定 (IPv4) のホスト名

【メッセージ】

```
'ipv6 host' exceeds max configurations (64) - ignored: 'ipv6 host %1'
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

DNS スタティック設定 (IPv6) の設定数が最大数 (64) を超えています。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった DNS スタティック設定 (IPv6) のホスト名

第 23 章
動的 VPN クライアント

この章では、動的 VPN クライアントに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 registered to %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 登録したユーザ ID

%2= 登録した動的VPN サーバアドレス

【メッセージ】

```
%1 deleted from %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 削除したユーザ ID

%2= 削除した動的VPN サーバアドレス

【メッセージ】

```
The session of %1 to %2 was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP セッションを確立したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID

%2=SIP の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The session of %1 to %2 was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP セッションを切断したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID

%2=SIP の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The session from %1 to %2 failed : %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP セッションの確立に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID

%2=SIP の着側ユーザ ID

%3= 確立失敗となった理由

timeout

タイムアウト

session overflow

セッション数オーバーフロー

busy

同じセッションがすでに存在する

version

情報交換バージョン不一致
交換情報のエンコードタイプが一致していません。

temporary

一時的な失敗

【メッセージ】

```
Refreshing the session from %1 to %2 failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP セッションの更新に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID
%2=SIP の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The response of the failure to %1 was received from %2 : %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP リクエストに対して失敗応答を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=失敗した要求種別

REGISTER

ユーザ ID 登録要求

INVITE

SIP セッション確立要求

CANCEL

SIP セッション確立中止要求

BYE

SIP セッション切断要求

%2=失敗応答の送信元ユーザ ID、または動的VPN サーバの IP アドレス
%3=失敗理由を示す応答コードとメッセージ（以下を参照）

400 Bad Request
　　不正なリクエスト
404 Not Found
　　ユーザ ID が存在しない場合など
408 Request Timeout
　　リクエストがタイマアウトした
422 Session Interval Too Small
　　セッション間隔が短すぎる
480 Temporarily Unavailable
　　発側ユーザ ID が登録されていない場合など
481 Call/Transaction Does Not Exist
　　SIP セッションが存在しない
486 Busy Here
　　SIP セッション数オーバーや同一の SIP セッションがすでに確立されている場合など
487 Request Terminated
　　SIP セッションの確立を中止した
500 Server Internal Error
　　SIP セッション数オーバーなどのサーバ内部エラー
503 Service Unavailable
　　動的 VPN サーバが利用できない
603 Decline
　　着信で使用する tunnel インタフェースの空きがない場合など

【メッセージ】

```
The Authentication of INVITE message from %1 to %2 failed on %3.
```

【プライオリティ】
　　LOG_INFO

【ファシリティ】
　　LOG_USER

【意味】
　　動的 VPN サーバで SIP セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】
　　%1=SIP の発側ユーザ ID
　　%2=SIP の着側ユーザ ID
　　%3= 認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

【メッセージ】

```
The Authentication of REGISTER message for %1 failed on %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN サーバで SIP のユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 登録要求したユーザ ID

%2= 認証に失敗した動的VPN サーバアドレス

【メッセージ】

```
Resolving of %1 failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN サーバのホスト名解決に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 動的VPN サーバのホスト名

【メッセージ】

```
The INVITE message from %1 to %2 was redirected to %3.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、SIP セッションの開始メッセージをリダイレクトしたことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID

%2=SIP の着側ユーザ ID

%3= リダイレクト先の URI

【メッセージ】

```
The INVITE message from %1 to %2 was declined: %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的VPN クライアント機能で、着側で SIP セッションの開始を辞退したことを示します。

【パラメタの意味】

%1=SIP の発側ユーザ ID

%2=SIP の着側ユーザ ID

%3= セッション開始の辞退理由

version

情報交換バージョン不一致
交換情報のエンコードタイプが一致していません。

第 24 章
動的 VPN サーバ設定反映

この章では、動的 VPN サーバ設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
dvpn server %1 is invalid R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで動的 VPN サーバが無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった動的 VPN サーバ番号

%2= 設定エラーとなった理由

domain is not configured

domain が設定されていない場合

【メッセージ】

```
dvpn server %1 auth aaa is not set
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

動的 VPN サーバ機能において認証機能が有効になっていますが、認証情報が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= 動的 VPN サーバ番号

第 25 章
動的 VPN サーバ

この章では、動的 VPN サーバに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 was registered by %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ユーザ ID を登録したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 登録したユーザ ID

%2= 情報交換クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
%1 was deleted by %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 削除したユーザ ID

%2= 情報交換クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
The session from %1 to %2 was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報交換セッションが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 情報交換の発側ユーザ ID

%2= 情報交換の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The session from %1 to %2 was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報交換セッションが切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 情報交換の発側ユーザ ID

%2= 情報交換の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The session from %1 to %2 expired.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 情報交換の発側ユーザ ID

%2= 情報交換の着側ユーザ ID

【メッセージ】

```
The Authentication of INVITE message from %1 to %2 by %3 failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 情報交換の発側ユーザ ID

%2= 情報交換の着側ユーザ ID

%3= 情報交換クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
The Authentication of REGISTER message for %1 by %2 failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 登録要求されたユーザ ID

%2= 情報交換クライアントの IP アドレス

第 26 章
装置構成の管理

この章では、装置構成の管理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
cannot open unix socket dgram
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dishd に対するメッセージ通知用のソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
connection refused - all sockets are busy
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット接続要求が最大数に達したため、新しい接続を拒否しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dishd request send err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

dishd に対するメッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Equipment alarm
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置異常を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
error IOCTL_GET_BOOTINFO
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

起動要因取得の ioctl に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
error IOCTL_IF_CMD FALLBACK
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

縮退 (FALLBACK) モード移行の ioctl に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
error IOCTL_SFPVPD_READ
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SFP の VPD 情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail attach shared memory board_spec
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

board_spec 用共有メモリのアタッチに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail bind UNIX domain port name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail get semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail get shared memory board_spec
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

board_spec用共有メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail initialize semaphore(semctl)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail listen UNIX stream socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの接続受け付けに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail semop(lock semaphore)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォのロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail semop(unlock semaphore)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォのロック解除に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail shared-memory initiate
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to receive message(UNIX)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket create
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket open
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
FAN alarm
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置に実装されている冷却ファンに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
FAN normal
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置に実装されている冷却ファンの異常が復旧しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
file open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
FPGA open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

FPGA の ioctl オープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
initialize error at config reference
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

CLI ライブラリ関数の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_READ
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_WRITE
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_GPIO_READ
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による GPIO 情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_GPIO_WRITE
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による GPIO 情報の書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_IF_CMD
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SFP の LNK-LED 制御に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_USBLED_MODE_SET
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB の RDY-LED 制御に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new connection accept failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット接続要求の受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Port module inserted in SFP%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポートモジュール (SFP) の挿入を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=SFP ポート番号 (1, 2)

【メッセージ】

```
Port module is fault SFP%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポートモジュール (SFP) の TxFault（出力異常）を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=SFP ポート番号 (1, 2)

【メッセージ】

```
Port module removed from SFP%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポートモジュール(SFP)の抜去を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=SFP ポート番号(1, 2)

【メッセージ】

```
Power supply unit alarm (PSU%1) %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

電源異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 電源ユニット番号（1～2）

%2= 異常要因

【メッセージ】

```
Power supply unit normal (PSU%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

電源異常の復旧を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 電源ユニット番号（1～2）

【メッセージ】

```
psu-temp-sensor safety control(PSU%1)[power-down]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

電源温度センサが危険温度を検出し装置保護動作により電源が停止しました。

【パラメタの意味】

%1= 電源ユニット番号（1～2）

【メッセージ】

```
select error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

select でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
SFP VPD read check error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SFP の VPD 情報のチェックサムが異常です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Temp sensor alarm (TEMP%1)[Cu:---]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置に実装されている温度センサから範囲外の温度が取得され、温度異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 温度センサ番号 (1-4)

【メッセージ】

```
Temp sensor alarm (TEMP%1)[Cu:%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置に実装されている温度センサが温度異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 温度センサ番号 (1-4)

%2= 温度センサが検出した温度（℃）

【メッセージ】

```
Temp sensor normal (TEMP%1)[Cu:%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置に実装されている温度センサが温度異常から復旧しました。

【パラメタの意味】

%1= 温度センサ番号 (1-4)

%2= 温度センサ値（℃）

【メッセージ】

```
temp-sensor safety control(TEMP%1)[fallback]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置温度センサが危険温度を検出し、装置保護動作による縮退 (FALLBACK) モードへ移行しました。

【パラメタの意味】

%1= 温度センサ番号（1～4）

【メッセージ】

```
temp-sensor safety control(TEMP%1)[power-down]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置温度センサが危険温度を検出し、装置保護動作による電源停止を行いました。

【パラメタの意味】

%1= 温度センサ番号（1～4）

【メッセージ】

```
unkonwn version
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファームウェアバージョンが正しく取得できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB data card exist (USB2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

サポート対象のUSB通信モジュールを検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB data card none (USB2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB通信モジュールの抜去を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB flash drive exist (USB1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB メモリの挿入または mount を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB flash drive none (USB1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB メモリの抜去または umount を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB module not supported (USB1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB メモリ以外のデバイスの挿入を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB module not supported (USB2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USB通信モジュール以外、またはサポート対象外のUSB通信モジュールの挿入を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_init failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtへの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_start failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtからの監視開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
version file open failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファームウェアバージョンを記録したファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
VPD cannot find return code
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置情報が不正な場合

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
VPD fail open %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置情報ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 装置情報ファイルパス

【メッセージ】

```
VPD fail read %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置情報ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=装置情報ファイルパス

【メッセージ】

```
VPD MACADDRESS information error wp:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

第 27 章
Entity MIB

この章では、Entity MIB に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Close smux_fd(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の Close 処理を実行しました。

【パラメタの意味】

%1=Close 処理を行った smux の FD 値

【メッセージ】

```
entitymib initialization finished
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

entitymibd の初期化が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
entitymib uwdt_init error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
entitymib uwdt_start error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
shmat error (shmkey:%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 共有メモリの ID

【メッセージ】

```
shmget error (shmkey:%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 共有メモリの ID

【メッセージ】

```
Select fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_heartbeat error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Power module %s (PU%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

電源モジュールの実装状態の変化を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= スロット番号

第28章
装置メンテナンス
コマンド

この章では、装置メンテナンスコマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
file [/mnt/boot] open err : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
file [/mnt/boot] read err : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
file [/mnt/boot] write err : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

第29章
装置内イベント管理

この章では、装置内イベント管理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 set Ack
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

アラームの Ack がセットされました。

【パラメタの意味】

%1= 状態

【メッセージ】

```
/dev/fpga open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

FPGA アクセスのために使用する、/dev/fpga のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
elog clear send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

エラーログのクリアメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
elog request send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

エラーログの要求メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
event request message error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Event 再送要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
evt_ext() unknown type:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

不正な event タイプが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=event タイプ

【メッセージ】

```
ext_alarm recv port bind
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

温度センサ・内部バッテリのアラーム受信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ext_alarm recv port socket open
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

温度センサ・内部バッテリのアラーム受信用ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail bind UNIX domain port name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail listen UNIX stream socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの接続受け付けに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket create
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_READ
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_WRITE
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new connection accept failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット接続要求の受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new connection accept failed max:16
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの接続要求が最大 16 件を超え受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Shared memory access failed (PSU)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリから電源情報取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第30章 ネットワークスタック

この章では、ネットワークスタックに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
[CHECK_ERR] %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パラメタ異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 異常箇所と原因

【メッセージ】

```
[INIT_ERR] %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

起動時の初期化でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 異常箇所と原因

【メッセージ】

```
[SETTING_ERR] %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定に不備があります。

【パラメタの意味】

%1= 異常箇所と原因

【メッセージ】

```
[UNSUPPORT] %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サポートしていない情報を取得しました。

【パラメタの意味】

%1= 異常箇所と原因

【メッセージ】

```
[SETTING_ERR] %1: lcore %2 has nothing to do
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

スレッドに対してポートがありません。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= コアの ID

【メッセージ】

```
[LOCK_ERR] %1
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lock に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 異常箇所と原因

【メッセージ】

```
[OTHER_ERR] %1: queue full from fdpd to lpd
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

fdpd から lpd へのキューがいっぱいになっています。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

第31章 ネットワークプロセッサの負荷監視

この章では、ネットワークプロセッサの負荷監視に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ERROR:Simple Executive Watch Dog Timeout. core%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

espse/fdpfwd で Watch Dog タイムアウトが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= コアの ID

【メッセージ】

```
fdpmonitor fopen error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Watch Dog タイムアウト時の core ファイル作成時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Not coredump. Input segv for getting backtrace.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ucode(fdpfwd/espse) で WatchdDogTimeout が発生しましたが、exception 情報が取得できない loop が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
simple executive not started core(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ucode(fdpfwd/espse) の起動が確認できません。

【パラメタの意味】

%1= コアの ID

【メッセージ】

```
start simple executive wdt
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

espse/fdpfwd 起動確認が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 32 章
FPGA ドライバ

この章では、FPGA ドライバに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
cannot enable LED ctrl [addr:%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ポート LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報

【メッセージ】

```
cannot find MDIO device bus[%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=MDIO バス情報

【メッセージ】

```
cannot find MDIO device node
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot set LAN/MNG LED [port:%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ポート LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
cannot set SFP LED [port:%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

SFP LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
cannot set WAN LED [port:%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ポート LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
class_create error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報

【メッセージ】

```
device_create error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報

【メッセージ】

```
fail to set EEE latency mode, port%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

EEE（省電力 Ethernet）の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
fail to switch EEE, port%1 up:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

EEE（省電力Ethernet）の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

%2=リンク情報

【メッセージ】

```
fpga_if_set invalid port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

【メッセージ】

```
fpga_if_set not shutdown port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

【メッセージ】

```
fpga_if_timer_func queue_work() passed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

タイマの更新に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fpga_interrupt unhandled irq %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

割り込み処理が行われませんでした。

【パラメタの意味】

%1=割り込み番号

【メッセージ】

```
fpga_phy_read WARNING: not IEEE register %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

PHYの読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=PHYの情報

【メッセージ】

```
fpga_phy_write WARNING: not IEEE register %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

PHYの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=PHYの情報

【メッセージ】

```
get_mii_buf_ctrl0_reg unknown dev:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

EEE（省電力Ethernet）の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= デバイス情報

【メッセージ】

```
GPIO[%1] is not OUTPUT
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

GPIO の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=GPIO の番号

【メッセージ】

```
octeon_gpio_chip is NULL
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
set_usb_mount invalid usb port: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
unknown smi reg[1]: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SMI の情報

【メッセージ】

```
update_lan_mng_led %1 is not LAN/MNG port
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ポート LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
update_sfp_led %1 is not SFP port
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

SFP LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
update_wan_led %1 is not WAN port
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ポート LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
usb_led_ctrl invalid port: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
usb_timer_handler invalid usb port: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB タイマの処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
Attached FPGA version: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化処理を実行しました。

【パラメタの意味】

%1= デバイスのバージョン

【メッセージ】

```
Cannot shut/no shut fallback port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

【メッセージ】

```
fpga dev alloc fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー種別

【メッセージ】

```
fpga intr request failed (ret = %1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー種別

【メッセージ】

```
FPGA not find on bootbus. cfg: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fpga_exit_module ..
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの処理終了時

【パラメタの意味】

%1= ドライバのバージョン

【メッセージ】

```
fpga_if_set invalid param shutdown:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報

【メッセージ】

```
fpga_if_set invalid param speed_duplex:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報

【メッセージ】

```
fpga_if_set invalid port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

【メッセージ】

```
fpga_if_set invalid selectable port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

【メッセージ】

```
fpga_if_set not shutdown port:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ポート番号

【メッセージ】

```
fpga_if_set unknown cmd:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報

【メッセージ】

```
fpga_init_module: version = %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化処理を実行しました。

【パラメタの意味】

%1= ドライバのバージョン

【メッセージ】

```
phy_poll_reset port:%1 timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1 = 内部情報

第 33 章
FTP サーバ

この章では、FTP サーバに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
failed to release authenticator
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getpeername (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

接続処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=接続先

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
getsockname (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

接続処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=接続先

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
malloc: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

内部領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
pam_close_session: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
pam_end: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
pam_setcred: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sysconf _SC_LOGIN_NAME_MAX: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

接続処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
unknown curclass.type %1; aborting
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗したユーザクラス

【メッセージ】

```
fcntl F_SETOWN: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

標準入力の操作に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt (IP_TOS): %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt (SO_KEEPALIVE): %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
using conservative LOGIN_NAME_MAX value
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

login name の最大長を変更しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
FTP LOGIN FAILURE FROM %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

FTP ログインに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= リモートホスト名

%2= ログインを試みたユーザ名

【メッセージ】

```
FTP LOGIN REFUSED FROM %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

FTP ログインに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=host 名

%2= ユーザ名

【メッセージ】

```
FTPD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

アクセスリストによりコネクトしてきたクライアントを拒否しました。

【パラメタの意味】

%1= アクセスリスト番号

%2= プロトコル番号

%3= 送信元アドレス

【メッセージ】

```
FTP LOGIN FROM %1 as %2 (class: %3, type: %4)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

FTP ログインしました。

【パラメタの意味】

%1= リモートホスト名

%2= ログインしたユーザ名

%3=real

%4=REAL

【メッセージ】

```
FTP LOGOUT FROM %1 as %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

FTP ログアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= リモートホスト名

%2= ログアウトしたユーザ名

【メッセージ】

```
User unknown timed out after %1 seconds
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_FTP

【意味】

FTP 接続中にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= タイムアウト時間

第34章
装置内エラー監視

この章では、装置内エラー監視に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 set Ack
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アラームの Ack がセットされました。

【パラメタの意味】

%1= 状態

【メッセージ】

```
elog clear send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

エラーログのクリアメッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
elog request send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

エラーログの要求メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
event request message error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Event 再送要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
evt_ext() unknown type:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な event タイプが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=event タイプ

【メッセージ】

```
ext_alarm recv port bind
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

温度センサ・内部バッテリのアラーム受信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ext_alarm recv port socket open
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

温度センサ・内部バッテリのアラーム受信用ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail bind UNIX domain port name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail listen UNIX stream socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの接続受け付けに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket create
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_READ
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl error IOCTL_FPGA_WRITE
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl による FPGA 情報の書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new connection accept failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケット接続要求の受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new connection accept failed max:16
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの接続要求が最大 16 件を超え受け入れに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第35章 インタフェース設定反映

この章では、インタフェース設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1 (%2) overlaps primary address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Secondary IP アドレスの Primary IP アドレスとの重複を検出し、Secondary IP アドレスを無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= 重複している Seconfary IP アドレス

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: bridge/channel-group not configured, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ブリッジングおよび IP(channel-group) に関する設定がないため、該当インタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: GigaEthernet %1 is not support fiber
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

fiberをサポートしていないインタフェースを media fiberの設定で使おうとしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: interworking tunnel error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

interworking tunnel設定が不備のため、該当のインタフェース設定を無効にしました。

・対象となる interface tunnel設定がない

・対象となる interface tunnel の mode が l2tpv3/ether-ip でない

・対象となる interface tunnel の bridge-group が異なる

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid switchport passthrough, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

switchport passthrough の指定インタフェースがなかったため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid destination address, ipinip tunnel-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定した destination address が中継禁止アドレスに該当します。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid trunk-group, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

trunk-channel 設定がないため、該当インタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: ipv6 address autoconfig error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipv6 address autoconfig コマンドで指定した、interface-id の IPv6 アドレスの上位 64bits が 0 ではありません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: ipv6 link-local address error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

該当インタフェースに link-local アドレスとして不正なアドレスが設定されていたため、無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: neither bridge-group nor switchport is configured, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

bridge-group コマンド、switchport passthrough コマンドの設定がなかったため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: no interface port-channel! channel-group %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

port-channel インタフェース設定モードがなかったため、channel-group 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=channel-group

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not ipinip tunnel-profile %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not modem profile %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel インタフェースで指定した modem profile が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not pppoe interface, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel インタフェースに pppoee interface が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not pppoe profile %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel インタフェースで指定した pppoe profile が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not set source address, ipinip tunnel-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipinip tunnel-profile に source address が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: not set destination address, ipinip tunnel-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipinip tunnel-profile に destination address が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: overlap channel-group %1, bridge-group %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

bridge-group 内に複数の channel-group があるため、該当の interface port-channel 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=channel-group 番号

%2=bridge-group 番号

【メッセージ】

```
%CONFIG: overlap layer-2 configuration, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

switchport passthrough コマンドと bridge-group/channel-group コマンドが同時に設定してあるため、該当インタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: this port is for transparent mode, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

switchport transparent コマンドで設定されたポートのため、該当サブインタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=サブインタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: this port is trunk-group, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポートインタフェースが trunk-group に設定されていないため、該当のサブインタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: trunk-group not configured, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

trunk-group 設定がないため、該当のインタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: vlan-id not configured, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

vlan-id 設定がないため、該当インタフェース設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: wrong source and destination address, ipinip tunnel-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ipinip tunnel-profile に設定した source address と destination address の address family が一致していません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: invalid trunk-group fall-over bfd-map, Trunk-channel %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

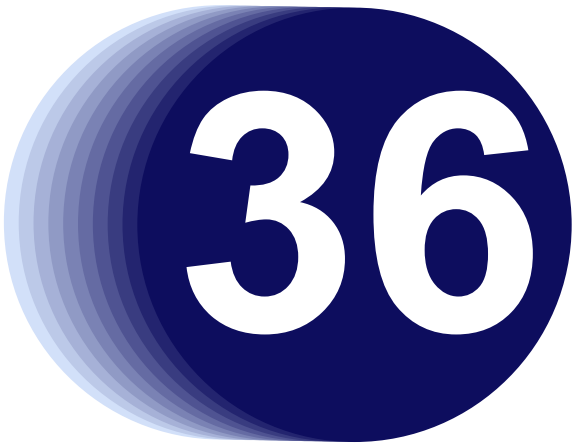
【意味】

trunk-group fall-over bfd-map で指定した MAP 名の設定がないため、本設定を無効としました。

【パラメタの意味】

%1=Trunk-channel 番号

第36章
インタフェース管理



この章では、インタフェース管理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: Fail to link down %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースの link down に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: Fail to link up %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースの link up に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: Fail to survey down %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

survey 機能によるインタフェース状態の変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: Fail to survey up %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

survey 機能によるインタフェース状態の変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: ioctl(%2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= 要求内容

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%CONFIG: %1(%2) overlaps with %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IP アドレスまたはIPv6 アドレスの重複を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 重複しているIP アドレスまたはIPv6 アドレス

%2= 重複しているインタフェース名

%3= 比較元のインタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: ARP packet-hold contradiction, total(%1) < per entry(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置全体のARP 滞留パケット数よりもエントリごとのARP 滞留パケット数の方が多いです。

【パラメタの意味】

%1= 装置全体の最大数

%2= エントリごとの最大数

【メッセージ】

```
%CONFIG: cannot find pppoe interface, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tunnel インタフェースで指定した pppoe interface が設定されていない、または pppoe enable が設定がされていません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: cannot find source address %1, ipinip tunnel-profile %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

profile で設定していた送信元アドレスが、実アドレスとして論理インタフェースに設定されていなかったため、profile 設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= 送信元アドレス

%2= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: duplicate ipinip tunnel-profile %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が他のインタフェースと重複しています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: duplicate source/destination address, ipinip tunnel-profile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipinip tunnel-profile で指定した source address および destination address が他のプロファイルの設定と重複しています。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Invalid %1 icmp source address, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip icmp 設定、または、ipv6 icmp 設定で指定した IP アドレス、または、IPv6 アドレスの設定がありません。

【パラメタの意味】

%1="ip" または "ipv6"

%2=IP アドレス、または、IPv6 アドレス

【メッセージ】

```
%CONFIG: Invalid %1 icmp source interface, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip icmp 設定、または、ipv6 icmp 設定で指定したインタフェースの設定がありません。

【パラメタの意味】

%1="ip" または "ipv6"

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Invalid vlan-id, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

vlan-id が不正です。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: NDP packet-hold contradiction, total(%1) < per entry(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置全体の NDP 滞留パケット数よりもエントリごとの NDP 滞留パケット数の方が多いです。

【パラメタの意味】

%1= 装置全体の最大数

%2= エントリごとの最大数

【メッセージ】

```
%CONFIG: not ipinip tunnel-profile %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tunnel インタフェースで指定した ipinip tunnel-profile が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: there is no unicast address. %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 エニーキャストアドレス設定を有効にできませんでした。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった IPv6 エニーキャストアドレス

%2= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: tunnel mode changed, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

推奨されない設定変更である tunnel mode の設定変更が行われました。

該当の Tunnel インタフェースを一度削除して改めて設定し直してください。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: vlan-id overlaps, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

vlan-id の重複を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
BridgeId not assigned, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BridgeID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
BridgeId not assigned for %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Bridge 識別情報の割り当てに失敗しました。
インタフェースの設定を確認してください。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
cannot no-shutdown because trunk-channel is in operationally shutdown:
<%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

exec shutdown したTrunk-channelに属する物理ポートのため、exec no-shutdownできません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Conflict refresh event! %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

refresh処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

【メッセージ】

```
Could not allocate memory, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=確保対象名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Error reply CC=%1, %2 statistics
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラー（インタフェース統計情報の要求エラー）が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

%2=インタフェース種別

【メッセージ】

```
Fail to attach IFID shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to bind socket, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコル、およびチャネル

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to create %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Fail to create socket, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコル、およびチャネル

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to create socket, arp
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

arp 制御用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to create thread parameter, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

スレッド情報の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=情報種別

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to delete IFID ifindex, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース Index 削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to delete IFID VRF %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF 情報登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名

【メッセージ】

```
Fail to delete IFID, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリからインタフェースの削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Fail to destroy %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースの削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Fail to detach IFID shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリの解放に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to get board information, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ボード情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to get macaddr from shared-memory: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

management port の MAC アドレス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to get RFID, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RFID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Fail to get statistics field, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

統計情報保持領域の確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=設定名

【メッセージ】

```
Fail to get Shared Memory: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to listen, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの要求待ちに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル、およびチャネル

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to load the new configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to map Shared Memory: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to open %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ファイル名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to receive message, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコル、およびチャネル

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to register IFID ifindex, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース Index 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to register IFID lqid, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへの lqid 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to register IFID statistics index, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース統計情報用インデックスの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to register IFID vlan-id, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへの vlan-id の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to register IFID vrf-id, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF インタフェースの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

%2=mib ifIndex

【メッセージ】

```
Fail to register IFID VRF %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへの VRF 情報登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to register IFID, %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへのインタフェース登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to send cfgitf message SLOT#%1 (id:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース設定の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= スロット番号

%2=mib ifIndex

【メッセージ】

```
Fail to send message, %1 (%2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル、およびチャネル

%2= エラー箇所

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to send message, server-info SLOT#%1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サーバデーモンの情報送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= スロット番号

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to send request, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

統計情報取得要求の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 取得内容

【メッセージ】

```
Fail to set cfgitf event SLOT#%1 (type:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース設定イベントの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= スロット番号

%2= 情報種別

【メッセージ】

```
Fail to set close-on-exec flag, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル、およびチャネル

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to set IFID status (%1), %2 (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリへのステータス情報登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ステータス

%2=インタフェース名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
Fail to setup connection, %1 (%2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コネクション確立に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコル、およびチャネル

%2=エラー箇所

%3=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ifd_smux_connect, open msg send fail: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ifd_smux_connect, register msg send fail: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Invalid request, %1 not configured
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース統計情報のコマンド要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
link-local address duplication detected, disable IPv6 (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リンクローカルアドレスの重複を検知したため、IPv6 通信が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
LoopbackId not assigned, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LoopbackID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
operationally no-shutdown: <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースを no shutdown しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
operationally shutdown: <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースを shutdown しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
RFID not assigned, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RFID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Semaphore Initialization Failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セマフォの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Shared memory Initialization Failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
vrf-id not assigned, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRF-ID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名

【メッセージ】

```
%CONFIG: max port-channel exceeded, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

port-channel インタフェースの設定数の上限を超えています。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: %2 ioctl(%3): %4
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名、インタフェースインデックス

%3= 要求内容

%4= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: Did not load configuration file
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

【メッセージ】

```
%1: Unknown ioctl request type=%2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不明な ioctl の要求がありました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= 要求内容

【メッセージ】

```
close connection, %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コネクションを切断しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報（接続先情報）

【メッセージ】

```
close connection, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コネクションを切断しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報（接続先情報）

%2= 内部情報（エラー情報）

【メッセージ】

```
close connection #SLOT%1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コネクションを切断しました。

【パラメタの意味】

%1= スロット番号

%2= プロトコル、およびチャネル

【メッセージ】

```
Fail to get service entry, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サービスエントリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=サービス名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setup connection, %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コネクションを確立しました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコル、およびチャネル

【メッセージ】

```
Fail to load the diff configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイル(差分)の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to send %1 message
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ内容

【メッセージ】

```
Fail to recv message, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ内容

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%CONFIG: max bridge-group exceeded, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

一つの bridge-group に設定できるインタフェースの上限を超えてインタフェースを設定したため、設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: cannot find %1, ip/ipv6 icmp vrf source
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定した VRF 名の設定がありません。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Invalid %1 icmp vrf %2 source interface, %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定したインタフェースの設定がありません。

【パラメタの意味】

%1=ip または ipv6

%2=VRF 名

%3=インタフェース名

【メッセージ】

```
%CONFIG: Invalid %1 icmp vrf %2 source address, %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ip icmp vrf 設定、または、ipv6 icmp vrf 設定で指定した IP/IPv6 address の設定がありません。

【パラメタの意味】

%1 = ip または ipv6

%2 = VRF 名

%3 = IP address または IPv6 address

第37章 インタフェース制御コマンド

この章では、インタフェース制御コマンドに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 command busy: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

すでに複数実行中のため、コマンドが実行できませんでした。

【パラメタの意味】

%1="shutdown"、または "no-shutdown"

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
%1 interface does not exist: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定したインタフェースが存在しません。

【パラメタの意味】

%1="shutdown"、または "no-shutdown"

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
connect error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信の connect に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー内容

【メッセージ】

```
Fail to receive message: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信のメッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー内容

【メッセージ】

```
Fail to send message: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信のメッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー内容

【メッセージ】

```
socket error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

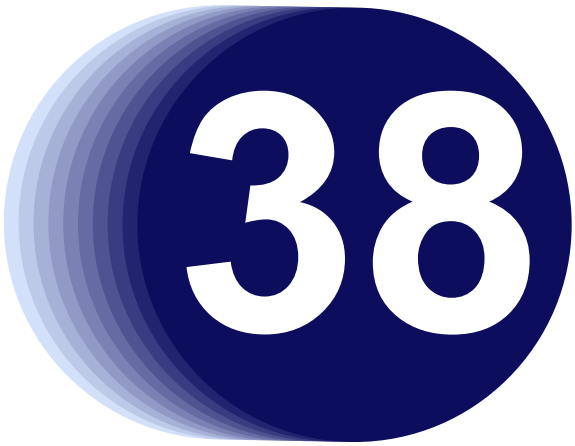
【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー内容

第 38 章
IPsec 設定



この章では、IPsec 設定に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 local pool %2 is invalid R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーでアドレスプールが無効になりました。

【パラメタの意味】

%1=ip または ipv6

%2= 無効となったアドレスプール名

%3= 設定エラーとなった理由（以下参照）

address is duplicated

同一プール名でのレンジの重複があった場合

address range is invalid

アドレスレンジが不正（開始アドレス＞最終アドレスなど）な場合

address range exceeds max range

1 つのアドレスレンジのアドレス数が 256*256*256 を超える場合

address family is mixed

同一プール名のレンジで IPv4 と IPv6 のレンジが混在する場合

ipv6 link-local address exists

レンジに IPv6 の link-local address が存在する場合

address range exceeds max total range

払い出しアドレス数が装置全体で 4*256*256*256 を超える場合

【メッセージ】

```
aaa group server radius %1 is invalid R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで認証グループが無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった認証グループ名

%2= 設定エラーとなった理由（以下参照）

Invalid vrfname.

存在しない VRF を指定した場合

link-local cannot be used as server-private.

IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

The server-private ip type is not matched with primary.

IPv4/IPv6 アドレスが両方指定されている場合

link-local cannot be used as source-address.

IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

The source-address ip type is not matched.

ソースアドレスとサーバアドレスのバージョンが一致しない場合

【メッセージ】

```
crypto ip name-server %1 is invalid R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで DNS サーバが無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった DNS サーバの IP アドレス

%2= 設定エラーとなった理由（以下参照）

link-local cannot be used as dns server

ipv6 link-local address（先頭が 0xfe80）が指定されている場合

dns server reached the maximum

crypto ip name-server が 4 つ以上設定されている場合

【メッセージ】

```
crypto map %1 is invalid M: %2 R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで crypto map が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった crypto map 名

%2= 設定エラーとなったモード名

%3= 設定エラーとなった理由（以下参照）

No multiple selectors allowed in IKEv1

IKEv1 で crypto ipsec selector に複数セレクタを設定した場合

Mixed IP address families are not supported

crypto ipsec selector に設定された src と dst の IP バージョンが統一されていない場合

Invalid match address name

match address で指定された crypto ipsec selector が見つからなかった場合

match address not set

match address の設定が必須である場合に match address が設定されていなかった場合

src or dst does not exist

src または dst の設定数が 0 個であった場合

Pre-shared key exist

RSA 認証方式の設定に Pre-shared key の設定が混在している場合

ESP NULL-NULL is forbidden by RFC 4301.

transform に esp-null と esp-hash-none の 2 つが設定された場合

client authentication type mismatch

拡張認証方法の指定が不正の場合

set ipsec-tunnel index is duplicated

IPsec MIB 用の index 値が重複している場合

Mode doesn't exist

指定したモードの設定がない場合

aes-xcbc cannot be used in IKEv1.

IKEv1 で ISAKMP-SA のハッシュアルゴリズムに aes-xcbc を指定した場合

tunnel mode ipsec map is duplicated

tunnel mode ipsec map 指定が重複している場合

match address is duplicated

match address 指定が重複している場合

match address is not specified

match address 指定がない場合

ikev2 must set match address

IKEv2 で match address 指定がない場合

Invalid fvrf name

存在しない VRF を指定した場合

Invalid vrf-icmp name

存在しない VRF を指定した場合

Invalid vrf name

存在しない VRF を指定した場合

Invalid keysize

AES 鍵長指定に間違いがある場合

Invalid ipsec-policy

指定された ipsec policy が存在しない場合

Invalid isakmp-policy

指定された isakmp policy が存在しない場合

accounting list is not configured

指定されたアカウント方式が存在しない場合

authorization list is not configured

指定された許可方式が存在しない場合

Invalid keyring

指定されたキーリングが存在しない場合

Pre-shared key dose not exist

Pre-shared key が定義されていない場合

peer/local address version mismatch

宛先／送信元アドレスバージョン不一致の場合

No isakmp-profile

isakmp profile が指定されていない場合

Invalid isakmp-profile

指定された isakmp profile が存在しない場合

Invalid client authentication list

指定された拡張認証方式が存在しない場合

local/remote-address-icmp version mismatch

icmp 宛先／送信元アドレスバージョン不一致の場合

Post fragment cannot be used with DF=1

DFbit 有効で Post fragment が指定された場合

CP Set/Ack is not supported

IKEv2 の設定で client configuration address initiate [client-mode] が設定された場合

Mode-cfg/CP Server can't use Xauth/EAP-client

client configuration address {initiate|respond} の設定があり、かつ、client authentication my-name（拡張認証 client 側の設定）がある場合

Mode-cfg/CP Client can't use Xauth/EAP-server

client configuration address {initiate|respond} [client-mode] の設定があり、かつ、client authentication list（拡張認証 server 側の設定）がある場合

Mode-cfg/CP Server/Client is mixed

client configuration address {initiate|respond} [client-mode] の設定があり、かつ、isakmp authorization list がある場合

Mode-cfg/CP Client must set peer

client configuration address {initiate|respond} [client-mode] の設定があり、かつ、set peer がない場合

configuration group <ISAKMP マルチポイント SA ポリシー名 > is not configured

指定した ISAKMP マルチポイント SA ポリシー名の設定が存在しない場合

group < 認証グループ名 > is not configured

指定した認証グループ名の設定が存在しない場合

pool <pool 名 > is not configured

指定したプール名の設定が存在しない場合

IPv6 pool is not supported

IKEv2 の設定で IPv6 のプールを指定している場合

always-up must be with set peer

always-up が設定されていて、set peer 設定がない場合または動的 VPN 機能、データコネクト機能を利用している場合

Link-local peer configured

set peer に IPv6 の link-local address が指定されている場合

ESN must be without hash-none

esn 設定が有効で、認証アルゴリズムとして単独で esp-hash-none が指定されている場合

src or dst must not be link-local address

src または dst に IPv6 の link-local address が指定されている場合

accounting group < 認証グループ名 > is not configured

指定した認証グループ名の設定が存在しない場合

bridge-group cannot be used in ipsec

bridge-group の設定がある場合

switchport cannot be used in ipsec

switchport の設定がある場合

set peer domain name is too long

ピアドメイン名と crypto ip domain-name で指定されるドメイン名の合計文字数が 254 文字を超える場合

eap-identity is only supported in mschapv2

eap-identity request が設定されていて、かつ、拡張認証方法に eap-mschapv2 が単独で設定されていない場合

Xauth/Mode-cfg skip option must set both

client authentication list 設定と client configuration address 設定とで skip オプションの有無が異なる場合

tunnel vrf name mismatch

crypto map で指定された vrf 名と、tunnel interface で指定された vrf 名が異なる場合

Failed to decrypt local-key

ローカルキーの復号化に失敗した

Failed to decrypt client authentication password

クライアント認証パスワードの復号化に失敗した

udp-encapsulation-force is not supported for ikev1

IKEv1 で udp-encapsulation-force を設定した場合

local-key ngn-sip is invalid

local-key ngn-sip tunnel-password が設定されていて、かつ set peer 設定で sip-profile または sip-radius が設定されていなかった場合

local-address must not be link-local address

local-address に IPv6 の link-local address が指定されている場合

dvpn client is not configured

動的 VPN 機能の設定に誤りがあります（dvpn client が設定されていません）。

link-local cannot be used as source address

動的 VPN 機能の設定に誤りがあります（watch コマンドで送信元アドレスに IPv6 リンクローカルアドレスが指定されています）。

Same remoteid exists

動的VPN機能の設定に誤りがあります（同一のremoteid設定が他の設定で使われています）。

Same remotenet exists

動的VPN機能の設定に誤りがあります（同一のremotenet設定が他の設定で使われています）。

dvpn-interface is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（dvpn-interface設定がされていません）。

dvpn-server address is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（dvpn-server addressが設定されていません）。

localnet 1 is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（localnet 1が設定されていません）。

domain is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（domainが設定されていません）。

sip local-address is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（sip local-addressが設定されていません）。

link-local cannot be used as sip local-address

動的VPN機能の設定に誤りがあります（sip local-addressにIPv6リンクローカルアドレスが指定されています）。

remoteid or remotenet is specified fot the dynamic SPD tunnel

動的VPN機能の設定に誤りがあります（Dynamic SPD機能使用時にremoteidまたはremotenetが設定されています）。

SIP server/local address version mismatch

動的VPN機能の設定に誤りがあります（SIP serverとlocalのIPバージョンが一致していません）。

SIP server primary/secondary address version mismatch

動的VPN機能の設定に誤りがあります（SIP serverのプライマリとセカンダリのIPバージョンが一致していません）。

SIP server 1 is not configured

動的VPN機能の設定に誤りがあります（SIP server 1が設定されていません）。

Same localid exists

動的VPN機能の設定に誤りがあります（同一のlocalid設定が他の設定で使われています）。

Same localnet exists

動的VPN機能の設定に誤りがあります（同一のlocalnet設定が他の設定で使われています）。

Invalid dvpn profile

動的VPN機能の設定に誤りがあります（set peerで指定されたdvpn profileが存在しません）。

ikev2 is not supported for dvpn

動的VPN機能の設定に誤りがあります（IKEv2が設定されています）。

local-key dvpn is invalid

動的VPN機能の設定に誤りがあります（local-key dvpn dynamic-keyが設定されていて、かつset peer設定でdvpn-profileが設定されていません）。

Xauth is not supported for dvpn

動的VPN機能の設定に誤りがあります（拡張認証機能の設定がされています）。

【メッセージ】

```
ether-ip tunnel-profile %1 is invalid M: interface tunnel R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

interface tunnel モードのエラーで ether-ip tunnel-profile が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった ether-ip tunnel-profile 名

%2= 設定エラーとなった理由

Mode doesn't exist

interface tunnel から tunnel mode ether-ip tunnel-profile 設定による指定がない場合

tunnel mode ether-ip tunnel-profile is duplicated

tunnel mode ether-ip tunnel-profile 指定が重複している場合

neither bridge-group nor switchport is configured

bridge-group と switchport がどちらも設定されていない場合

both bridge-group and switchport is configured

bridge-group と switchport がどちらも設定されている場合

Passthrough interface does not exist

switchport passthrough で指定したインタフェース名として存在しないインタフェースを指定した場合

Specification of passthrough tunnel cannot be used for tunnel except L2TPv3/EtherIP

switchport passthrough のインタフェース名として tunnel を指定する場合、指定先 tunnel の種別が L2TPv3/EtherIP ではない場合

link-local cannot be used as source address

tunnel source に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

link-local cannot be used as destination address

tunnel destination に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

tunnel address version mismatch

tunnel source と IP アドレスバージョン不一致の場合

Invalid tunnel protection "Invalid tunnel interface"

tunnel protection 設定がされた ether-ip tunnel-profile が紐付く interface tunnel がない場合

【メッセージ】

```
l2tpv3 pseudowire %1 is invalid M: interface tunnel R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

l2tpv3 pseudowire モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった l2tpv3 pseudowire 名

%2= 設定エラーとなった理由（以下参照）

Mode doesn't exist

interface tunnel から tunnel mode l2tpv3 pseudowire 設定による指定がない場合

tunnel mode l2tpv3 pseudowire is duplicated

tunnel mode l2tpv3 pseudowire 指定が重複している場合

neither bridge-group nor switchport is configured

bridge-group と switchport がどちらも設定されていない場合

both bridge-group and switchport is configured

bridge-group と switchport がどちらも設定されている場合

Passthrough interface does not exist

switchport passthrough で指定したインタフェース名として存在しないインタフェースを指定した場合

Specification of passthrough tunnel cannot be used for tunnel except L2TPv3/EtherIP

switchport passthrough のインタフェース名として tunnel を指定する場合、指定先 tunnel の種別が L2TPv3/EtherIP ではない場合

【メッセージ】

```
l2tpv3 pseudowire %1 is invalid M: l2tpv3 pseudowire R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

l2tpv3 pseudowire モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった l2tpv3 pseudowire 名

%2= 設定エラーとなった理由（以下参照）

set profile is not configured

set profile が設定されていない場合

set profile < プロファイル名 > is not exist

set profile の参照先（プロファイル名）が設定されていない場合

remote-end-id is not configured

remote-end-id が設定されていない場合

【メッセージ】

```
l2tpv3 pseudowire %1 is invalid M: l2tpv3 tunnel-profile %2 R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

l2tpv3 tunnel-profile モードのエラーで l2tpv3 pseudowire が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった l2tpv3 pseudowire 名

%2= 設定エラーとなった l2tpv3 tunnel-profile モード名

%3= 設定エラーとなった理由（以下参照）

link-local cannot be used as source address

tunnel source に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

link-local cannot be used as destination address

tunnel destination に IPv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

tunnel address version mismatch

tunnel source と IP アドレスバージョン不一致の場合

hostname local is not configured

hostname local が設定されていない場合

neither router-id local nor tunnel source is configured

router-id local と tunnel source が両方設定されていない場合

IPv6 transport requires router-id local setting

router-id local が設定されていなくて、かつ、tunnel source に IPv6 を指定した場合

Failed to decrypt digest password

パスワードの復号化に失敗した場合

Invalid fvrf name

存在しない VRF を指定した場合

【メッセージ】

```
l2tpv3 tunnel-profile %1 is invalid M: interface tunnel R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

interface tunnel モードのエラーで l2tpv3 tunnel-profile が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった l2tpv3 tunnel-profile 名

%2= 設定エラーとなった理由

Invalid tunnel protection "Invalid VPN selector"

tunnel protection で指定した crypto map 名を指定した interface tunnel が見つからなかった、または指定した interface tunnel が見つからなかった場合

Invalid tunnel protection "map belongs to more than one tunnel"

tunnel protection で指定した crypto map が複数の tunnel interface で設定されていた場合

【メッセージ】

```
l2tpv3 tunnel-profile %1 is invalid M: l2tpv3 pseudowire R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

l2tpv3 pseudowire モードのエラーで l2tpv3 tunnel-profile が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった l2tpv3 tunnel-profile 名

%2= 設定エラーとなった理由

Invalid tunnel protection "always-up cannot be used in protection map"

tunnel protection で crypto map を指定した l2tpv3 tunnel-profile と紐付く l2tpv3 pseudowire 設定モードで always-up 設定がされていた場合

【メッセージ】

```
pre-shared key %1 is invalid M: crypto keyring %2 R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

キーリングの Pre-shared key 設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった remote ID

%2= キーリング名

%3= 設定エラーとなった理由

Failed to decrypt pre-shared key

Pre-shared key の復号化に失敗した

【メッセージ】

```
username %1 password is invalid M: aaa local group %2 R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

認証グループのパスワード設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となったユーザ名

%2= グループ名

%3= 設定エラーとなった理由

Failed to decrypt password

パスワードの復号化に失敗した

【メッセージ】

```
startup-import fail file: %1 R: %2 %3 %4 %5
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

起動時の証明書・鍵ペアインポート処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インポートに失敗したファイル名

%2= インポートに失敗した理由（以下参照）

Certificate already exists

ユーザ証明書の内容が重複していた場合

CA certificate already exists
　　CA 証明書の内容が重複していた場合
Cert-name already exists
　　ユーザ証明書の名前が重複していた場合
CA-name already exists
　　CA 証明書の名前が重複していた場合
Key-label already exists
　　鍵ペアの名前が重複していた場合
Can't import, Max files.
　　証明書・鍵ペアの登録上限数を超えた場合
File not found
　　指定したファイルが見つからなかった場合
File extract failed
　　インポートファイルの展開に失敗した場合
Could not allocate memory
　　メモリ確保に失敗した場合
Invalid file
　　不正な証明書・鍵ペアが含まれていた場合
Failed to read startup-import settings
　　インポート設定の読み込みに失敗した場合
Internal error
　　内部エラーによりインポートが失敗した場合
Input password error
　　不正なパスワードが入力された場合

%3=インポートに失敗した証明書・鍵ペアの種類
%4=インポートに失敗した証明書・鍵ペアの名前
%5=CA 証明書のインデックス番号

【メッセージ】

```
server-private %1 is invalid M: aaa group server radius %2 R: servers
reached the maximum.
```

【プライオリティ】
　　LOG_WARNING

【ファシリティ】
　　LOG_USER

【意味】
　　RADIUS サーバの設定が 6 つ以上あります。

【パラメタの意味】
　　%1= 無効となった RADIUS サーバのアドレス
　　%2= 無効となった RADIUS サーバを設定した認証グループ名

【メッセージ】

```
startup-import all files already exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

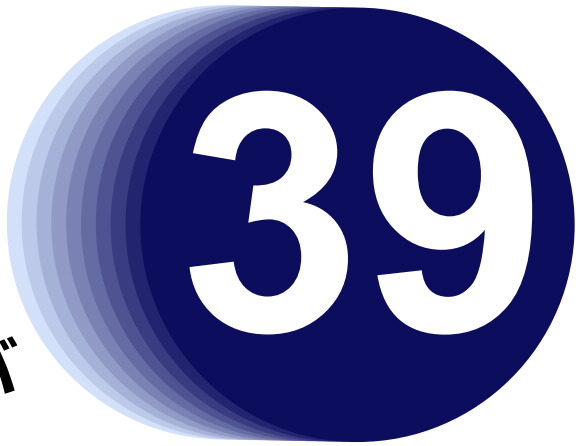
【意味】

起動時にインポートする証明書・鍵ペアがすでに装置内に存在しています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第39章 プロセス監視ドライバ



この章では、プロセス監視ドライバに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
kuwdt: Daemon is gone (timeout=%1)(name=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

%1=タイムアウト時間

%2=デーモンの名前

【メッセージ】

```
kuwdt: Daemon is gone (timeout=%1)(pid=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

%1=タイムアウト時間

%2=デーモンの PID

【メッセージ】

```
kuwdt: No listener processes are registered - Panic
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
kuwdt: The listener process is disabled - Panic
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
kuwdt: The listener process is gone (pid=%1) - Panic
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

%1= デーモンの PID

【メッセージ】

```
kuwdt: Unable to start a thread
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

kuwdt の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
kuwdt: No more room to register: name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの名前

【メッセージ】

```
kuwdt: No more room to register: pid=%1 (name=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの PID

%2=デーモンの名前

【メッセージ】

```
kuwdt: No more room to register: pid=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの PID

【メッセージ】

```
kuwdt: Not appropriate: pid=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの PID

【メッセージ】

```
kuwdt: Not found: name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの名前

【メッセージ】

```
kuwdt: Not found: pid=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視するデーモンの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デーモンの PID

【メッセージ】

```
kuwdt: Sending signal %1 to process %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

監視しているデーモンに異常がありました。

【パラメタの意味】

%1= シグナル番号

%2= デーモンの PID

第 40 章
Link Aggregation

この章では、Link Aggregation に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%PSTAT: Port status on Interface %1 is down(reason:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポートステータスが DOWN に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= 理由

partner individual

パートナーがトランクグループに参加していない場合

loop inside LAG

トランクグループ内でインタフェースがループ接続されている場合

incompatible LAG-ID

パートナーのシステム ID、またはパートナーのキーが他のメンバと一致しない場合

no LACPDU received

LACPDU を受信していない場合

physical link is down

物理 I/F がリンクダウンした場合

shutting down

物理ポートまたは集約している trunk-channel に shutdown が設定されている場合

【メッセージ】

```
%PSTAT: Port status on Interface %1 is standby(reason:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポートステータスが standby に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=理由

partner on standby

パートナー側がスタンバイポートの場合

over max-active-port

スタンバイリンク機能によりスタンバイポートにした場合

under min-active-port

最小リンク機能により trunk-channel を down した場合

【メッセージ】

```
%PSTAT: Port status on Interface %1 is up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポートステータスが up に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: Fail to link down %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースの link down に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=関数名

%2=インタフェース名

第41章 IP access-list ライブラリ

この章では、IP access-list ライブラリに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
fail to create semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to get semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to lock semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォのロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to unlock semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

セマフォのアンロックに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第42章 デバイスアクセスライブラリ

この章では、デバイスアクセスライブラリに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Lib: Espse global counter error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グローバルカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse global counter error(counter_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グローバルカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse global counter error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グローバルカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound counter error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound counter error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound counter error(spi error spi=%1,spi_num=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound counter error(spi_num error spi_num=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound del error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound del error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound del error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound polling counter error(counter_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB ポーリングカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound polling counter get is invalid sadb(spi=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポーリングカウンタ取得対象の inbound SADB が無効な SADB でした。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound read error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB リード時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound read error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB リード時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound read error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB リード時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound realtime counter get is invalid sadb(spi=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リアルタイムカウンタ取得対象の inbound SADB が無効な SADB でした。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(auth error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(auth len error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(auth make key error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse inbound write error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse open error(errno=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイスのオープンにエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound counter error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound counter error(block_num error block_num=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound counter error(blockid error blockid=%1,block_num=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound counter error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB カウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound del error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound del error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound del error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound polling counter error(counter_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB ポーリングカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound polling counter get is invalid sadb(blockid=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB ポーリングカウンタ取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound read error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 読み込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound read error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 読み込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound read error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 読み込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound realtime counter get is invalid sadb(blockid=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リアルタイムカウンタ取得対象の outbound SADB が無効な SADB でした。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound update error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 更新時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound update error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 更新時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound update error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 更新時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(auth error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(auth len error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(auth make key error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(crypto error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(db_p error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(esp pad error=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse outbound write error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

outbound SADB 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse sadb all del error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

全 SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse sadb all del error(ioctl error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

全 SADB 削除時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num get error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number 取得時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num get error(invalid error spi=%1,blockid=%2,type=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number 取得時に spi または blockid で指定した SADB が無効でした。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num get error(spi blkid error spi=%1,blockid=%2,type=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number取得時にspiまたはblockidが異常値でした。

【パラメタの意味】

%1=SPI値

%2=内部情報

%3=内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num write error(FD error)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num write error(invalid error spi=%1,blockid=%2,type=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num write error(ioctl error spi=%1,blockid=%2,type=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse seq_num write error(spi blkid error
spi=%1,blockid=%2,type=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sequence number 書き込み時にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1=SPI 値

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Lib: Espse t2b sectldev_fd error
Lib: Espse t2b read pointer error
Lib: Espse t2b read db error
Lib: Espse setting sectldev_fd error
Lib: Espse setting pointer error
Lib: Espse setting data read error
Lib: Espse setting data write error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SP 関連のツールが正しく利用できていません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第43章 フォワーディングプレーンIKE機能

この章では、フォワーディングプレーンIKE機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Command length error(command-%1,len-%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドがレングス不正のためエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= レングス

【メッセージ】

```
Command number error(command-%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンド番号不正のためエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= レングス

【メッセージ】

```
Device ioctl error(name=/dev/sectldev, errno=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイス ioctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=errno

【メッセージ】

```
Device open error(name=/dev/sectldev, errno=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイスオープンエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=errno

【メッセージ】

```
L2TP TNL_ID range error(command-%1, TNL_ID=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外でした。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= トンネル ID

【メッセージ】

```
Memory alloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリオブジェクトの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Send queue malloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC send キューエントリのメモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TNL_ID range error(command-%1, TNL_ID=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外でした。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= トンネル ID

【メッセージ】

```
The maximum number of queues over (%1).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC send キューエントリをオーバーしました。

【パラメタの意味】

%1= キューエントリ数

【メッセージ】

```
NP tree entry reinstall finish
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NP 経路エントリの再登録が終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
NP tree entry reinstall start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ahp が Warmboot モードで再起動し、NP 経路エントリの再登録を開始しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The transmission of the queue ended.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC socket 送信バッファが利用可能状態となり、キューイングされた send メッセージの送信が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Transmission buffer full. It saves it in the queue.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC socket送信バッファが利用不可状態のため、send メッセージをキューに退避しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第44章 インタフェースMIBのSNMPトラップ送信

この章では、インタフェースMIBのSNMPトラップ送信に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol ipv6 on Interface %1, changed state to
down
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F の IPv6 状態が UP から DOWN へ変化しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol ipv6 on Interface %1, changed state to
up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F の IPv6 状態が DOWN から UP へ変化しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %1, changed state to down
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 状態が UP から DOWN へ変化しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %1, changed state to up
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 状態が DOWN から UP へ変化しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Attached Shared Memory failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bd_spec_chassis error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

筐体種別の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bind error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
can't get ifindex if_name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 情報テーブルの初期化時に、情報取得するインタフェース名から ifindex への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
can't get ifindex ifname=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 状態変化時に通知されるインタフェース名から ifindex への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
event send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

linktrapd から emd に対する event 発生通知が送信エラーしました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
Error connect
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの connect に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fcntl O_NONBLOCK  error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

fcntl() に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_table_init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 情報の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_table_init malloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 情報テーブルの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_table_init sysctl error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 情報テーブルの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_updown_check function read error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 状態変化時に通知される情報の読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ifd socket open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
interface freeque empty error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

I/F 情報として管理可能なメモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
open socket error socket%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット

【メッセージ】

```
send:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー原因

【メッセージ】

```
smux_connect error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
trap freeque empty error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unexpected interface type : %1 = %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定された interface が予期しないものであったため、エラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=インタフェースタイプ

【メッセージ】

```
Unknown interface type(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Link-Trap 対象外とならない不明なインタフェースからの状態変化通知を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=受信したインタフェース種別

第 45 章
OS(kernel)

この章では、OS(kernel) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
octeon wdt: Got interrupt - resetting.
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Kernel Watch Dog Timer が Expire しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
octeon wdt: Got NMI interrupt - resetting.
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Kernel Watch Dog Timer が Expire しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1 __cvmx_pko3_config_system_interface: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 __cvmx_pko3_config_gen_interface: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
%1 __cvmx_pko3_config_gen_interface: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
%1 __cvmx_pko3_helper_dqs_activate: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1(%2, %3, %4): Timeout setting address, waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4, %5): Timeout setting address, waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4): Timeout getting address, waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4, %5): Timeout getting address, waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4): Timeout waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4, %5): Timeout waiting for ack = %6
%1(%2, %3, %4, %5): Timeout waiting for write ack = %6
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

%4= 内部情報

%5= 内部情報

%6= 内部情報

【メッセージ】

```
dnd: not enough headroom, %1 %2/%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

不正なパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
dnd_convert_ethertype unknown protocol %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

不正なパケットを送信しようとしました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fail to create dnd_info
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
hfdd_err_tree_rep : para_cnt error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

故障検知機能で認識できない割り込みが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
octeon3_fpa_mem_get out of memory. %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
octeon_wdt: kthread_run() failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtc-pcf8563 0-0051: fail to get datetime
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

RTC からの時刻取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtc-pcf8563 0-0051: fail to reset datetime
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

RTC の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtc-pcf8563 0-0051: fail to set datetime
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

RTC への時刻設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtc-pcf8563 0-0051: low voltage detected, date/time is not reliable.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

RTC への時刻設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtc-pcf8563 0-0051: pcf8563_init_register: err=%1 addr=%2 data=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

RTC の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
sd 0:0:0:0: [sda] No Caching mode page found
sd 0:0:0:0: [sda] Assuming drive cache: write through
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB メモリ接続時に、デバイスによっては出力されることがありますが問題ありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
WARNING: %1: replenish_rx out of memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
klogbuf_setup: KLOGBUF: don't replace "log_buf"
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: WARN Event TRB for slot %1 ep %2 with no TDs
queued?
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB モデムを装着しました（正常）。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
NETDEV WATCHDOG: usb0 (cdc_ether): transmit queue 0 timed out
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB-Ethernet の送信キューでウォッチドッグタイマが動作しました。
電波状態が悪い場合に発生することがあります。電波状態を改善し、装置はそのままご使用ください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: %2 callbacks suppressed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

同じログが繰り返し出力されました。

【パラメタの意味】

%1=処理名
%2=繰り返しの回数

【メッセージ】

```
%1: Failed to allocate a work queue entry
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

自局からパケットを送信する際に buffer を allocate できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=デバイス名

【メッセージ】

```
Espse memory allocate fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fdp memory allocate fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
octeon3_usb_clocks_start: UPHY PLL on node: %1, interface: %2 not locked
after reset.
Retrying initialization.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USBの初期化処理をリトライしました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
octeon3_usb_clocks_start: %1: Detected CSR timeout %2, restarting...
octeon3_usb_clocks_start: Retry %3...
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB の初期化処理で CSR タイムアウトを検出しました（正常）。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
os_rsv memory allocate fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Detected no lock on USB PHY PLL, interface %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB 初期化時に PLL の no lock 状態を検出しました（正常）。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
FPA memory allocate fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
FPGA not find on bootbus. cfg: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

FPGA が bootbus 上に見つかりません。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fpga_info_init error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

内部カウンタの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
usb 1-1: USB disconnect, device number 2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB メモリを抜去しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
usb 1-1: new high-speed USB device number 2 using xhci-hcd
usb-storage 1-1:1.0: USB Mass Storage device detected
scsi0 : usb-storage 1-1:1.0
scsi 0:0:0:0: Direct-Access     JetFlash Transcend 4GB    8.07 PQ: 0
ANSI: 4
sd 0:0:0:0: [sda] 7839742 512-byte logical blocks: (4.01 GB/3.73 GiB)
sd 0:0:0:0: [sda] Write Protect is off
sd 0:0:0:0: [sda] Mode Sense: 23 00 00 00
sd 0:0:0:0: [sda] Write cache: disabled, read cache: enabled, doesn't
support DPO or FUA
  sda: sda1
sd 0:0:0:0: [sda] Attached SCSI removable disk
FAT-fs (sda1): Volume was not properly unmounted. Some data may be
corrupt. Please run fsck.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB メモリを接続しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
i2c i2c-0: delete_device: Deleting device lm75b at 0x48
i2c i2c-0: delete_device: Deleting device lm75b at 0x49
i2c i2c-0: delete_device: Deleting device tmp421 at 0x4c
i2c i2c-0: delete_device: Deleting device ina220 at 0x40
i2c i2c-0: delete_device: Deleting device adt7473 at 0x2e
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

装置をリセットしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
klogbuf_setup: KLOGBUF: klogbuf clear (hash1(memory)=%1 hash2(calc)=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

カーネルのログがクリアされました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Linux version 3.10.93-rt80
Espse memory   0000000020000000, size: 0000000004000000
Fdp memory     0000000024000000, size: 0000000018000000
FPA memory     000000003c000000, size: 0000000020000000
os_rsv memory   00000000ffd00000, size: 0000000000200000
CVMSEG size: 3 cache lines (384 bytes)
bootconsole [early0] enabled
CPU revision is: 000d9702 (Cavium Octeon III)
FPU revision is: 00739700
Checking for the multiply/shift bug... no.
Checking for the daddiu bug... no.
Determined physical RAM map:
  memory: 0000000000400000 @ 0000000000400000 (usable)
  memory: 00000000007b1000 @ 0000000000800000 (kernel data and code)
  memory: 000000000005f000 @ 0000000000fb1000 (usable after init)
  memory: 0000000000062000 @ 0000000001010000 (kernel data and code)
  memory: 000000000ec00000 @ 0000000001200000 (usable)
  memory: 0000000023c00000 @ 000000005c300000 (usable)
  memory: 000000006ff00000 @ 0000000080100000 (usable)
  memory: 000000000fcff000 @ 00000000f0001000 (usable)
  memory: 000000000cbff000 @ 0000000100001000 (usable)
Initrd not found or empty - disabling initrd
Using passed Device Tree <800000000ffe62c0>.
software IO TLB [mem 0x03f95000-0x07f95000] (64MB) mapped at [8000000003f95000-
8000000007f94fff]
Zone ranges:
    DMA32    [mem 0x00400000-0xefffffff]
    Normal   [mem 0xf0000000-0x10cbfffff]
Movable zone start for each node
Early memory node ranges
    node   0: [mem 0x00400000-0x01071fff]
    node   0: [mem 0x01200000-0x0fdfffff]
    node   0: [mem 0x5c300000-0x7feffff]
    node   0: [mem 0x80100000-0xefffffff]
    node   0: [mem 0xf0001000-0xffcfffff]
    node   0: [mem 0x100001000-0x10cbfffff]
```

```
On node 0 totalpages: 785520
    DMA32 zone: 9141 pages used for memmap
    DMA32 zone: 0 pages reserved
    DMA32 zone: 668530 pages, LIFO batch:31
    Normal zone: 1610 pages used for memmap
    Normal zone: 116990 pages, LIFO batch:31
Primary instruction cache 78kB, virtually tagged, 39 way, 16 sets, linesize 128 bytes.
Primary data cache 32kB, 32-way, 8 sets, linesize 128 bytes.
Secondary unified cache 4096kB, 16-way, 2048 sets, linesize 128 bytes.
PERCPU: Embedded 10 pages/cpu @800000000801b000 s11648 r8192 d21120 u40960
pcpu-alloc: s11648 r8192 d21120 u40960 alloc=10*4096
pcpu-alloc: [0] 0 [0] 1
Built 1 zonelists in Zone order, mobility grouping on.  Total pages: 774769
Kernel command line:  bootoctlinux 0x04000000 root=/dev/mmcblk0p2 rootfstype=ext4 rootwait coremask=0x3 quiet console=ttyS0,9600
PID hash table entries: 4096 (order: 3, 32768 bytes)
Dentry cache hash table entries: 524288 (order: 10, 4194304 bytes)
Inode-cache hash table entries: 262144 (order: 9, 2097152 bytes)
Memory: 3014448k/3133812k available (5259k kernel code, 119364k reserved, 2613k data, 380k init, 0k highmem)
SLUB: HWalign=128, Order=0-3, MinObjects=0, CPUs=2, Nodes=1
Preemptible hierarchical RCU implementation.
       RCU restricting CPUs from NR_CPUS=48 to nr_cpu_ids=2.
NR_IRQS:511
Console: colour dummy device 80x25
Calibrating delay loop (skipped) preset value.. 3000.00 BogoMIPS (lpj=15000000)
pid_max: default: 32768 minimum: 501
Security Framework initialized
Mount-cache hash table entries: 256
Checking for the daddi bug... no.
Performance counters: octeon PMU enabled, 4 64-bit counters available to each CPU, irq 7
SMP: Booting CPU01 (CoreId  1)...
CPU revision is: 000d9702 (Cavium Octeon III)
FPU revision is: 00739700
Brought up 2 CPUs
devtmpfs: initialized
KLOGBUF: klogbuf clear (hash1(memory)=00000000, hash2(calc)=CE3371CB)
KLOGBUF: reset flg: 0x00000000
```

```
NET: Registered protocol family 16
Installing handlers for error tree at: ffffffff80f65660
PCIe: Initializing port 0:0
0:PCIe: Port 0 is unknown, skipping.
PCIe: Initializing port 0:1
0:PCIe: Port 1 is unknown, skipping.
PCIe: Initializing port 0:2
0:PCIe: Port 2 is unknown, skipping.
PCIe: Initializing port 0:3
0:PCIe: Port 3 is unknown, skipping.
bio: create slab <bio-0> at 0
SCSI subsystem initialized
libata version 3.00 loaded.
usbcore: registered new interface driver usbfs
usbcore: registered new interface driver hub
usbcore: registered new device driver usb
pps_core: LinuxPPS API ver. 1 registered
pps_core: Software ver. 5.3.6 - Copyright 2005-2007 Rodolfo Giometti
<giometti@linux.it>
PTP clock support registered
PCI host bridge to bus 0000:00
pci_bus 0000:00: root bus resource [mem 0x1000000000000]
pci_bus 0000:00: root bus resource [io  0x0000]
pci_bus 0000:00: No busn resource found for root bus, will use [bus 00-ff]
pci_bus 0000:00: busn_res: [bus 00-ff] end is updated to 00
Switching to clocksource OCTEON_CVMCOUNT
NET: Registered protocol family 2
TCP established hash table entries: 32768 (order: 7, 524288 bytes)
TCP bind hash table entries: 32768 (order: 7, 524288 bytes)
TCP: Hash tables configured (established 32768 bind 32768)
TCP: reno registered
UDP hash table entries: 2048 (order: 4, 65536 bytes)
UDP-Lite hash table entries: 2048 (order: 4, 65536 bytes)
NET: Registered protocol family 1
PCI: CLS 0 bytes, default 128
octeon_pci_console: Initialized.
/proc/octeon_perf: Octeon performance counter interface loaded
uncore: uncore: uncore_mc counters detected
uncore: uncore: uncore_l2c counters detected
```

```
uncore: uncore: uncore_tad counters detected
HugeTLB registered 2 MB page size, pre-allocated 0 pages
jffs2: version 2.2. (NAND) B) 2001-2006 Red Hat, Inc.
msgmni has been set to 5887
Block layer SCSI generic (bsg) driver version 0.4 loaded (major 251)
io scheduler noop registered
io scheduler deadline registered
io scheduler cfq registered (default)
octeon_gpio 1070000000800.gpio-controller: OCTEON GPIO: base = 0
Serial: 8250/16550 driver, 2 ports, IRQ sharing disabled
1180000000800.serial: ttyS0 at MMIO 0x1180000000800 (irq = 64) is a OCTEON
console [ttyS0] enabled, bootconsole disabled
1180000000c00.serial: ttyS1 at MMIO 0x1180000000c00 (irq = 369) is a OCTEON
brd: module loaded
loop: module loaded
Generic platform RAM MTD, (c) 2004 Simtec Electronics
MTD RAM maps phymem:ffd00000 size:100000
libphy: mdio-octeon: probed
mdio-octeon 1180000003800.mdio: Version 1.0
libphy: mdio-octeon: probed
mdio-octeon 1180000003880.mdio: Version 1.0
tun: Universal TUN/TAP device driver, 1.6
tun: (C) 1999-2004 Max Krasnyansky <maxk@qualcomm.com>
platform 1180068000000.uctl: clocks initialized.
platform 1180069000000.uctl: clocks initialized.
ehci_hcd: USB 2.0 'Enhanced' Host Controller (EHCI) Driver
ehci_hcd: block sizes: qh 112 qtd 96 itd 192 sitd 96
ehci-pci: EHCI PCI platform driver
ohci_hcd: USB 1.1 'Open' Host Controller (OHCI) Driver
ohci_hcd: block sizes: ed 80 td 96
xhci-hcd xhci-hcd.0.auto: xHCI Host Controller
xhci-hcd xhci-hcd.0.auto: new USB bus registered, assigned bus number 1
xhci-hcd xhci-hcd.0.auto: irq 449, io mem 0x1680000000000
usb usb1: default language 0x0409
usb usb1: udev 1, busnum 1, minor = 0
usb usb1: New USB device found, idVendor=1d6b, idProduct=0002
usb usb1: New USB device strings: Mfr=3, Product=2, SerialNumber=1
usb usb1: Product: xHCI Host Controller
usb usb1: Manufacturer: Linux 3.10.93-rt80 xhci-hcd
```

```
usb usb1: SerialNumber: xhci-hcd.0.auto
usb usb1: usb_probe_device
usb usb1: configuration #1 chosen from 1 choice
xHCI xhci_add_endpoint called for root hub
xHCI xhci_check_bandwidth called for root hub
usb usb1: adding 1-0:1.0 (config #1, interface 0)
hub 1-0:1.0: usb_probe_interface
hub 1-0:1.0: usb_probe_interface - got id
hub 1-0:1.0: USB hub found
hub 1-0:1.0: 1 port detected
hub 1-0:1.0: standalone hub
hub 1-0:1.0: individual port power switching
hub 1-0:1.0: individual port over-current protection
hub 1-0:1.0: Single TT
hub 1-0:1.0: TT requires at most 8 FS bit times (666 ns)
hub 1-0:1.0: power on to power good time: 20ms
hub 1-0:1.0: local power source is good
hub 1-0:1.0: enabling power on all ports
xhci-hcd xhci-hcd.0.auto: xHCI Host Controller
xhci-hcd xhci-hcd.0.auto: new USB bus registered, assigned bus number 2
usb usb2: skipped 1 descriptor after endpoint
usb usb2: default language 0x0409
usb usb2: udev 1, busnum 2, minor = 128
usb usb2: New USB device found, idVendor=1d6b, idProduct=0003
usb usb2: New USB device strings: Mfr=3, Product=2, SerialNumber=1
usb usb2: Product: xHCI Host Controller
usb usb2: Manufacturer: Linux 3.10.93-rt80 xhci-hcd
usb usb2: SerialNumber: xhci-hcd.0.auto
usb usb2: usb_probe_device
usb usb2: configuration #1 chosen from 1 choice
xHCI xhci_add_endpoint called for root hub
xHCI xhci_check_bandwidth called for root hub
usb usb2: adding 2-0:1.0 (config #1, interface 0)
hub 2-0:1.0: usb_probe_interface
hub 2-0:1.0: usb_probe_interface - got id
hub 2-0:1.0: USB hub found
hub 2-0:1.0: 1 port detected
hub 2-0:1.0: standalone hub
hub 2-0:1.0: individual port power switching
```

```
hub 2-0:1.0: individual port over-current protection
hub 2-0:1.0: TT requires at most 8 FS bit times (666 ns)
hub 2-0:1.0: power on to power good time: 20ms
hub 2-0:1.0: local power source is good
hub 2-0:1.0: enabling power on all ports
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: xHCI Host Controller
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: new USB bus registered, assigned bus number 3
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: irq 457, io mem 0x1690000000000
usb usb3: default language 0x0409
usb usb3: udev 1, busnum 3, minor = 256
usb usb3: New USB device found, idVendor=1d6b, idProduct=0002
usb usb3: New USB device strings: Mfr=3, Product=2, SerialNumber=1
usb usb3: Product: xHCI Host Controller
usb usb3: Manufacturer: Linux 3.10.93-rt80 xhci-hcd
usb usb3: SerialNumber: xhci-hcd.1.auto
usb usb3: usb_probe_device
usb usb3: configuration #1 chosen from 1 choice
xHCI xhci_add_endpoint called for root hub
xHCI xhci_check_bandwidth called for root hub
usb usb3: adding 3-0:1.0 (config #1, interface 0)
hub 3-0:1.0: usb_probe_interface
hub 3-0:1.0: usb_probe_interface - got id
hub 3-0:1.0: USB hub found
hub 3-0:1.0: 1 port detected
hub 3-0:1.0: standalone hub
hub 3-0:1.0: individual port power switching
hub 3-0:1.0: individual port over-current protection
hub 3-0:1.0: Single TT
hub 3-0:1.0: TT requires at most 8 FS bit times (666 ns)
hub 3-0:1.0: power on to power good time: 20ms
~
hub 3-0:1.0: local power source is good
hub 3-0:1.0: enabling power on all ports
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: xHCI Host Controller
xhci-hcd xhci-hcd.1.auto: new USB bus registered, assigned bus number 4
usb usb4: skipped 1 descriptor after endpoint
usb usb4: default language 0x0409
usb usb4: udev 1, busnum 4, minor = 384
usb usb4: New USB device found, idVendor=1d6b, idProduct=0003
```

```
usb usb4: New USB device strings: Mfr=3, Product=2, SerialNumber=1
usb usb4: Product: xHCI Host Controller
usb usb4: Manufacturer: Linux 3.10.93-rt80 xhci-hcd
usb usb4: SerialNumber: xhci-hcd.1.auto
usb usb4: usb_probe_device
usb usb4: configuration #1 chosen from 1 choice
xHCI xhci_add_endpoint called for root hub
xHCI xhci_check_bandwidth called for root hub
usb usb4: adding 4-0:1.0 (config #1, interface 0)
hub 4-0:1.0: usb_probe_interface
hub 4-0:1.0: usb_probe_interface - got id
hub 4-0:1.0: USB hub found
hub 4-0:1.0: 1 port detected
hub 4-0:1.0: standalone hub
hub 4-0:1.0: individual port power switching
hub 4-0:1.0: individual port over-current protection
hub 4-0:1.0: TT requires at most 8 FS bit times (666 ns)
hub 4-0:1.0: power on to power good time: 20ms
hub 4-0:1.0: local power source is good
hub 4-0:1.0: enabling power on all ports
usbcore: registered new interface driver usb-storage
i2c /dev entries driver
i2c-octeon 1180000001000.i2c: version 2.6
hub 1-0:1.0: state 7 ports 1 chg 0000 evt 0000
hub 2-0:1.0: state 7 ports 1 chg 0000 evt 0000
hub 3-0:1.0: state 7 ports 1 chg 0000 evt 0000
hub 4-0:1.0: state 7 ports 1 chg 0000 evt 0000
rtc-pcf8563 0-0051: chip found, driver version 0.4.3
rtc-pcf8563 0-0051: rtc core: registered rtc-pcf8563 as rtc0
i2c-octeon 1180000001200.i2c: version 2.6
WDT expire setting :5000 msec
octeon_wdt: Initial granularity 5 Sec
device-mapper: ioctl: 4.24.0-ioctl (2013-01-15) initialised: dm-
devel@redhat.com
TCP: cubic registered
NET: Registered protocol family 10
NET: Registered protocol family 17
8021q: 802.1Q VLAN Support v1.8
tipc: Activated (version 2.0.0)
```

```
NET: Registered protocol family 30
tipc: Started in single node mode
L2 lock: TLB refill 256 bytes
L2 lock: General exception 128 bytes
L2 lock: low-level interrupt 128 bytes
L2 lock: interrupt 640 bytes
L2 lock: memcpy 1152 bytes
rtc-pcf8563 0-0051: setting system clock to 2016-11-22 07:28:44 UTC
(1479799724)
Waiting for root device /dev/mmcblk0p2...
mmc0: Skipping voltage switch
mmc0: host does not support reading read-only switch. assuming write-enable.
mmc0: new high speed SDHC card at address 59b4
mmcblk0: mmc0:59b4 HSG04 3.74 GiB
  mmcblk0: p1 p2 p3 p4 < p5 p6 p7 >
EXT4-fs (mmcblk0p2): mounted filesystem with ordered data mode. Opts: (null)
VFS: Mounted root (ext4 filesystem) readonly on device 179:2.
devtmpfs: mounted
Freeing unused kernel memory: 380K (ffffffff80fb1000 - ffffffff81010000)
EXT4-fs (mmcblk0p7): mounted filesystem with ordered data mode. Opts: (null)
at24 0-0056: 32768 byte 24c256 EEPROM, writable, 64 bytes/write
fpga_init_module: version = fpga.c:v0.02 11/09/2016
Attached FPGA version: 01.02
Octeon POW only ethernet driver
Waiting for another core to setup the PKI hardware...Done
sectldev:v0.01 3/15/2016
EXT4-fs (mmcblk0p2): re-mounted. Opts: (null)
EXT4-fs (mmcblk0p2): re-mounted. Opts: (null)
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): lo: link is not ready
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): lo: link is not ready
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth0: link is not ready
device eth0 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth1: link is not ready
device eth1 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth2: link is not ready
device eth2 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth3: link is not ready
device eth3 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth4: link is not ready
```

```
device eth4 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth5: link is not ready
device eth5 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth6: link is not ready
device eth6 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth7: link is not ready
device eth7 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth8: link is not ready
device eth8 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth9: link is not ready
device eth9 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth10: link is not ready
device eth10 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth11: link is not ready
device eth11 entered promiscuous mode
lm75 0-0048: hwmon0: sensor 'lm75b'
i2c i2c-0: new_device: Instantiated device lm75b at 0x48
lm75 0-0049: hwmon1: sensor 'lm75b'
i2c i2c-0: new_device: Instantiated device lm75b at 0x49
i2c i2c-0: new_device: Instantiated device tmp421 at 0x4c
ina2xx 0-0040: power monitor ina220 (Rshunt = 2000 uOhm)
i2c i2c-0: new_device: Instantiated device ina220 at 0x40
adt7475 0-002e: ADT7473 device, revision 0
adt7475 0-002e: Optional features: fan4
i2c i2c-0: new_device: Instantiated device adt7473 at 0x2e
tipc: Started in network mode
tipc: Own node address <1.1.1>, network identity 1
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): tun0: link is not ready
device tun0 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): br0: link is not ready
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): tun1: link is not ready
device pow0 entered promiscuous mode
device tun1 entered promiscuous mode
IPv6: ADDRCONF(NETDEV_UP): eth11: link is not ready
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

装置が起動しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
lp_ram_mtd_init do_map_probe error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
lp_ram_mtd_init ioremap error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

メモリの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
octeon_pow_system_pb_init error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
option1 ttyUSB%1: usb_wwan_indat_callback: resubmit read urb failed.
(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

通信中に USB モデムを取り外しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
option1 ttyUSB%1: option_instat_callback: error %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

通信中に USB モデムを取り外しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Retries failed.  Flagging for high-level re-init.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB の初期化処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Turn off the watchdog timer
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Watchdog タイマが無効になりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Turn on the watchdog timer
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Watchdog タイマが有効になりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
usb 3-1: new high-speed USB device number %1 using xhci-hcd
cdc_ether 3-1:1.0 usb0: register 'cdc_ether' at usb-xhci-hcd.1.auto-1,
CDC Ethernet Device, %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB-Ethernetデバイスを装着しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=USB-EthernetインタフェースのMACアドレス

【メッセージ】

```
usb 3-1: USB disconnect, device number %1
cdc_ether 3-1:1.0 usb0: unregister 'cdc_ether' usb-xhci-hcd.1.auto-1,
CDC Ethernet Device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB-Ethernetデバイスを取り外しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
usb 3-1: new high-speed USB device number %1 using xhci-hcd
usb-storage 3-1:1.0: USB Mass Storage device detected
scsi0 : usb-storage 3-1:1.0
usb 3-1: USB disconnect, device number %1
usb 3-1: new high-speed USB device number %2 using xhci-hcd
option 3-1:1.0: GSM modem (1-port) converter detected
usb 3-1: GSM modem (1-port) converter now attached to ttyUSB0
option 3-1:1.1: GSM modem (1-port) converter detected
usb 3-1: GSM modem (1-port) converter now attached to ttyUSB1
option 3-1:1.2: GSM modem (1-port) converter detected
usb 3-1: GSM modem (1-port) converter now attached to ttyUSB2
option 3-1:1.3: GSM modem (1-port) converter detected
usb 3-1: GSM modem (1-port) converter now attached to ttyUSB3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB モデムを装着しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
usb 3-1: USB disconnect, device number %1
option1 ttyUSB0: GSM modem (1-port) converter now disconnected from ttyUSB0
option 3-1:1.0: device disconnected
option1 ttyUSB1: GSM modem (1-port) converter now disconnected from ttyUSB1
option 3-1:1.1: device disconnected
option1 ttyUSB2: GSM modem (1-port) converter now disconnected from ttyUSB2
option 3-1:1.2: device disconnected
option1 ttyUSB3: GSM modem (1-port) converter now disconnected from ttyUSB3
option 3-1:1.3: device disconnected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

USB モデムを取り外しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Watchdog Already Started
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Watchdog タイマを多重起動しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Watchdog Already Stoped
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

Watchdog タイマが無効になっている状態でタイマを無効にしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
WDT expire setting :%1 msec
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ドライバを初期化しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

第 46 章
ログ出力制御

この章では、ログ出力制御に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Bind port for syslog_set_data: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットのエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Open socket for syslog_set_data: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットのエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

第47章
フォワーディング
プレーン制御

この章では、フォワーディングプレーン制御に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ERROR LPIFD: lpifd_outlet_send_ifpt_ack send retry over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信に失敗しました。
物理インタフェースの設定で問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ERROR LPMACD: lpmacd_reply send retry over.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信に失敗しました。
L2TPv3 のゲートウェイ冗長機能で問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ERROR NPC: %1 %2 mac-address-table internal fatal error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MAC アドレスを管理する内部カウンタで異常を検出しました。
MAC アドレスの学習機能に問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

%1= 検出箇所

%2= 検出箇所

【メッセージ】

```
ERROR NPC: %1 L2DB: failed to delete all FWD entries for NP
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。

MAC フレームのフォワーディング動作で問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

%1= 検出箇所

【メッセージ】

```
ERROR NPC: %1 L2DB: failed to delete all LRN entries for NP
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。

MAC アドレスの学習機能に問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

%1= 検出箇所

【メッセージ】

```
ERROR NPC: npc_l2tp_ifmac_delete npc_l2tp_np_delete_entry retry over
err=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MAC アドレスの削除に失敗しました。
MAC フレームのフォワーディング動作で問題が発生する可能性があります。

【パラメタの意味】

%1= エラー理由

【メッセージ】

```
failed to 'mmap
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリのマッピングに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to 'shm_open
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to add %1 entry. key:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

中継処理用テーブルへの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 登録に失敗したエントリの情報

ivlan/ivif/evif: インタフェーステーブル

ipv4:ipv4 経路テーブル

ipv6:ipv6 経路テーブル

%2= 登録に使用したエントリの key

【メッセージ】

```
failed to add static mac address entry due to limit to the number of
entries.(bride-group=%1, cvid=%2, MAC=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

スタティック MAC アドレスの登録数の最大数 (1000) に達し登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エントリの bride-group

%2= エントリの cvid

%3= エントリの MAC アドレス

【メッセージ】

```
GLOBAL: failed to set tpid for NP
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TPID の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
MAC address learning entry of bridge-group %1 becomes greater than to
the max-entry value(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が max-entry 数（mac-address-table max-entry 設定の値）を超過しました。

【パラメタの意味】

%1= ブリッジグループ番号

%2= 最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
Total MAC address learning entry becomes greater than to the total-max-
entry value(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が total-max-entry 数（mac-address-table total-max-entry 設定の値）を超過しました。

【パラメタの意味】

%1= 最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
Bridge-group %1 loop detected(%2, %3).
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ブリッジグループのインタフェース間でループを検出しました。

【パラメタの意味】

%1= ブリッジグループ番号

%2= ループ検出インタフェース（移動前）

%3= ループ検出インタフェース（移動後）

【メッセージ】

```
MAC address learning entry of bridge-group %1 becomes greater than to
the max-entry value(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が max-entry 数を超過しました。

【パラメタの意味】

%1= ブリッジグループ番号

%2= 最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
MAC address learning entry of bridge-group %1 has reached the max-entry
value(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が max-entry 数に到達しました。

【パラメタの意味】

%1= ブリッジグループ番号

%2= 最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
MAC address learning entry of bridge-group %1 has reached the threshold
value(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ブリッジグループの MAC アドレス学習エントリ数が警告エントリ数に到達しました。

【パラメタの意味】

%1= ブリッジグループ番号

%2= 警告エントリ数

【メッセージ】

```
Total MAC address learning entry becomes greater than to the total-max-
entry value(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が total-max-entry 数を超過しました。

【パラメタの意味】

%1= 装置の最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
Total MAC address learning entry has reached the total-max-entry
value(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が total-max-entry 数に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=装置の最大学習エントリ数

【メッセージ】

```
Total MAC address learning entry has reached the threshold value(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

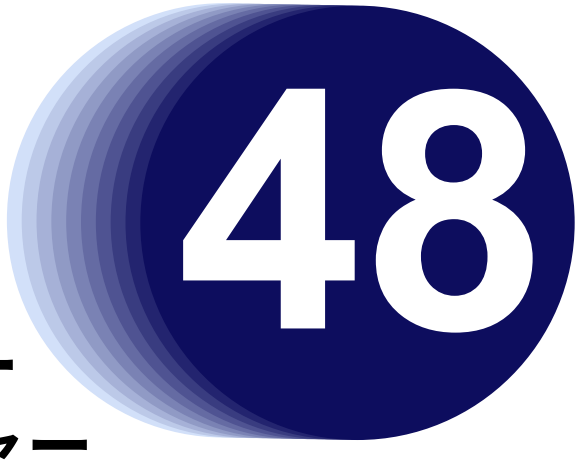
LOG_DAEMON

【意味】

装置の MAC アドレス学習エントリ数が警告エントリ数に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=装置の警告エントリ数



第48章 フォワーディングプレーンポリシーマネージャー

この章では、フォワーディングプレーンポリシーマネージャーに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 %2 access-group %3 %4 has unsupported field(s), ignored [%5]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

サポートしていないアクセスリストのフィールドが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= アクセスリストが設定されたインタフェース名
%2= プロトコル識別子
%3= アクセスリスト番号
%4= アクセスリストが設定された方向
%5= ログの識別子

【メッセージ】

```
%1 %2 access-group %3 has unsupported field(s), ignored [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

サポートしていないアクセスリストのフィールドが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= アクセスリストが設定されたインタフェース名
%2= アクセスリストが設定されたコマンド名
%3= アクセスリスト番号
%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
%1 %2 no classifier entry, clear entries in the table for the interface
[%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

クラシファイアエントリが枯渇したために設定ができませんでした。

【パラメタの意味】

%1= クラシファイアの枯渇が発生した設定がされているインタフェース名

%2= 枯渇が発生したクラシファイア種別名

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
%1 failed [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

関数の処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーが発生した関数

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
%1 version is different %2 != %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メッセージのバージョンが異なります。

【パラメタの意味】

%1= メッセージを送信したデーモンの名前

%2= 受信メッセージのバージョン

%3= 想定しているバージョン

%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
Assertion error %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知しました。

【パラメタの意味】

%1=不正な状態になった変数の値

%2=ログの識別子

【メッセージ】

```
Can't allocate memory [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定に必要なメモリを取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=ログの識別子

【メッセージ】

```
Can't find %1(%2) [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

必要なデータが見つかりません。

【パラメタの意味】

%1=必要なデータ名

%2=必要なデータの ID

%3=ログの識別子

【メッセージ】

```
can't get if record %1:%2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポリシールーティングの処理で、インタフェース情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=policy-routing のアクションタイプ番号

%2=取得に失敗した、インタフェース番号

%3=ログの識別子

【メッセージ】

```
classifier %1: can't allocate memory, sub-classifier is used [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

クラシファイア作成数が上限に達し、メモリ割り当てに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=クラシファイアの ID

%2=ログの識別子

【メッセージ】

```
daemon(0,0) failed %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスをデーモン化する関数でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

%2=ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect dst address %1(%2) already exists, id %3 deleted [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

すでに登録済みの送信先アドレスに対する登録要求メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=登録済みの送信先アドレス

%2=登録済みの UDP 送信ポート番号

%3=セッションの識別子

%4=ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect exceeds max sessions (%1 > %2) [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

最大登録数を超える数の登録要求メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=現在の登録数と登録要求数の合計

%2=最大登録数

%3=ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect id %1 already exists [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

すでに存在するセッションのデータコネクト QoS 登録要求メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= セッションの識別子

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect id %1 is not found [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

存在しないセッションのデータコネクト QoS 削除、統計情報取得メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= セッションの識別子

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect is already enabled [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

すでにデータコネクト QoS を有効化していますが、有効化要求メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect is not enabled [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト QoS が有効化されていないのに、disable 登録、削除、統計情報取得メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= ログの識別子

【メッセージ】

```
dl failed %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ダイナミックライブラリの処理関数でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Invalid policy-routing configuration(s): %1: %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定パラメタで、設定ミスを検出しました。

【パラメタの意味】

%1=class-map 名

%2= 設定ミスの要因 (match-type, different vrf, invalid action)

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
Invalid policy-routing configuration(s): Too many policy-route-map entry [%1]
Invalid policy-routing configuration(s): Too many policy-route-map nexthop entry [%1]
Invalid policy-routing configuration(s): Too many policy-route-map watch entry [%1]
Invalid policy-routing configuration(s): Too many policy-routing acl entry [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定パラメタで、設定可能な上限を超える設定を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= ログの識別子

【メッセージ】

```
Message is too short %1 < %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受信したメッセージ長が、必要な長さよりも短いです。

【パラメタの意味】

%1= 受信したメッセージ長

%2= 必要なメッセージ長

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
Mismatch %1 %2 != %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタの値が想定された値と一致しません。

【パラメタの意味】

%1= パラメタを識別する ID

%2= パラメタの値

%3= 想定される値

%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
nexthop ack msg length error %1:%2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポリシールーティングで、通知されたメッセージフォーマットが不正でした。

【パラメタの意味】

%1= メッセージタイプ

%2= メッセージの長さ

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
No resource: %1 %2 %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部リソースの割り当てに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= リソース名

%2= 取得済みのリソース数

%3= 取得しようとしたリソース数

%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 %8 [%9]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3=API へ渡したパラメタ 2
%4=API へ渡したパラメタ 3
%5=API へ渡したパラメタ 4
%6=API へ渡したパラメタ 5
%7=API へ渡したパラメタ 6
%8=API へ渡したパラメタ 7
%9= ログの識別子

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 %3 %4 %5 %6 %7 [%8]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3=API へ渡したパラメタ 2
%4=API へ渡したパラメタ 3
%5=API へ渡したパラメタ 4
%6=API へ渡したパラメタ 5

%7=API へ渡したパラメタ 6

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 %3 %4 %5 [%6]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3=API へ渡したパラメタ 2
%4=API へ渡したパラメタ 3
%5=API へ渡したパラメタ 4
%6= ログの識別子

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 %3 %4 [%5]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3=API へ渡したパラメタ 2
%4=API へ渡したパラメタ 3
%5= ログの識別子

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3=API へ渡したパラメタ 2
%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
NP API error: %1 %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NP 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード
%2=API へ渡したパラメタ 1
%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
Null pointer access [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データ領域へのポインタがNULLになっています。

【パラメタの意味】

%1=ログの識別子

【メッセージ】

```
Out of range %1 %2 %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタの値が有効範囲外です。

【パラメタの意味】

%1=パラメタの値1
%2=パラメタの値2
%3=パラメタの値3
%4=ログの識別子

【メッセージ】

```
Out of range %1 %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタの値が有効範囲外です。

【パラメタの意味】

%1= パラメタを識別する ID

%2= パラメタの値

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
Out of range %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パラメタの値が有効範囲外です。

【パラメタの意味】

%1= パラメタの値

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Resource is not allocated %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

獲得していないリソースを解放しようとしました。

【パラメタの意味】

%1= 解放しようとしたリソース ID

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Systemcall %1 failed %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

システムコールの実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= システムコール名

%2= エラーコード

%3= ログの識別子

【メッセージ】

```
TM API error: %1 %2 %3 [%4]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TM 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=API へ渡したパラメタ 1

%2=API へ渡したパラメタ 2

%3=API へ渡したパラメタ 3

%4= ログの識別子

【メッセージ】

```
TM API error: %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TM 設定 API の実行でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=API へ渡したパラメタ

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Too many %1 %2 [%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

想定よりも処理の回数が多いです。

【パラメタの意味】

%1=処理の内容

%2=処理の回数

%3=ログの識別子

【メッセージ】

```
Unknown command %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

不明なコマンドが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=コマンド識別子

%2=ログの識別子

【メッセージ】

```
Unknown command option %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

不明なコマンドオプションが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= オプション識別子

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Unknown log message [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

定義されていない syslog メッセージを出力しようとしました。

【パラメタの意味】

%1= ログの識別子

【メッセージ】

```
uwdt failed %1 [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（uwdt ライブラリ関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
%1 %2 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コマンドで参照している名前が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1=名前種別

%2=名前

【メッセージ】

```
%1 %2: can't allocate %3 classifier entries
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

クラシファイアエントリ最大数を超えるクラシフィケーションが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=クラシファイアエントリ最大数を超えた設定がされたインタフェース名

%2=クラシファイアエントリ最大数を超えた設定がされたコマンド名

%3=コマンドが必要とするクラシファイアエントリ数

【メッセージ】

```
%1:"%2" is not supported, ignored
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェースでサポートしていない設定が行われました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=設定コマンド

【メッセージ】

```
%1 timeout [%2]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コマンド実行にかかった時間が想定より長く、タイムアウトしました。
装置負荷が小さいときに再度コマンドを実行してください。

【パラメタの意味】

%1= 処理内容の説明
%2= ログの識別子

【メッセージ】

```
Dataconnect-policy-map %1: queue rate is faster than the speed (%2 >
%3).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

中優先キューの指定レートが、データコネクトのセッションの指定レートを超えています。
queue コマンドの指定レートを、セッションの指定レートを超えない設定に変更してください。

【パラメタの意味】

%1= 指定されたデータコネクト用のポリシーマップの ID
%2=queue コマンドで指定されたレート
%3= データコネクトのセッションの指定レート

【メッセージ】

```
Dataconnect-policy-map %1: queue rate is slower than 1/1000 of the speed
(%2 < %3).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

中優先キューの指定レートが、データコネクトのセッションの指定レートの 1/1000 未満です。
queue コマンドの指定レートを、セッションの指定レートの 1/1000 以上の設定に変更してください。

【パラメタの意味】

%1=指定されたデータコネクト用のポリシーマップの ID

%2=queue コマンドで指定されたレート

%3= データコネクトのセッションの 1/1000

【メッセージ】

```
Dataconnect-policy-map %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定されたデータコネクト用のポリシーマップが見つかりません。

【パラメタの意味】

%1=指定されたデータコネクト用のポリシーマップの ID

【メッセージ】

```
Dataconnect-policy-map %1: queue %2 is not used, ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト用のポリシーマップの使用されないキューに対する queue 設定は無効です。

【パラメタの意味】

%1=指定されたデータコネクト用のポリシーマップの ID

%2=queue コマンドが設定がされたキューの種別

【メッセージ】

```
The number of %1 entries reached the limit (%2).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

エントリ数が最大値に到達しました。

【パラメタの意味】

%1= エントリの種類

%2= 最大値

【メッセージ】

```
The queue rate is faster than the shaping rate (%1 > %2), ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

config-tm-n-bw モードの queue rate コマンドで、シェーピングレートを超えるレートが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=queue コマンドで指定されたレート

%2= シェーピングレート

【メッセージ】

```
The queue rate is slower than 1/1000 of the shaping rate (%1 < %2),
raised.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

config-tm-n-bw モードの queue rate コマンドで、シェーピングレートの 1/1000 未満のレートが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=queue コマンドで指定されたレート

%2= シェーピングレートの 1/1000

第49章 フォワーディングプレーンVRRP

この章では、フォワーディングプレーンVRRPに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Alloc Error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
CP SOCK_SEQPACKET Socket connect failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC のソケットで connect エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
errno : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt start に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
failed to send to FDP %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP 情報登録処理でエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 登録コード

%2=VRRP 情報 ID

【メッセージ】

```
Init_Sock epoll_create failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

epoll_create に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Init_Sock Error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Init_Tipc regist Error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC ソケット登録でエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Init_Tipc socket failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC ソケット作成でエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Init_Topserv connect failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

トポロジーサービスのソケットで connect に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Init_Topserv Error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

トポロジーサービスの初期処理にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Init_Topserv send failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

トポロジーサービスのソケット送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Init_Topserv socket failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

トポロジーサービスのソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Recv_CpMsg recv failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP 情報受信処理でエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Recv_Topserv recv failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

トポロジーサービスの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt continue error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt heartbeat の再送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt init に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt resume error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt resume に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt heartbeat に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt start error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt start に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt stop に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspended error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd の uwdt suspended に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
vrrpd shutdown CP
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd が vrrpd 応答なしを検知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
vrrpd up CP
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

lpvrrpd が vrrpd 起動を検知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 50 章
MAC アドレス設定反映

この章では、MAC アドレス設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
fail attach shared memory board_spec
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

board_spec 用共有メモリのアタッチに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail get shared memory board_spec
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

board_spec 用共有メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
MAC address can't be changed. It will be changed after reboot. %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 実行時にインタフェースの MAC アドレス変更ができません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

第51章
マネジメント
インタフェース制御

この章では、マネジメントインタフェース制御に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Could not create socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット生成にエラーとなりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Could not open file %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルを開けませんでした。

【パラメタの意味】

%1=ファイル名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to create descriptor, %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ディスクリプタが作成できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=種別

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to ioctl(%1), %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ioctl() がエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 要求内容

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Fail to set event (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

イベント登録でエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= 登録識別子

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
close connection
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信の接続が切断されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第52章
メディアスタート

この章では、メディアスタートに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
socket error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%m= 失敗原因

【メッセージ】

```
Fail to set close-on-exec flag
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの fcntl に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bind error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
listen error [%1]: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの要求待ちに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイルパス名

%2= 失敗原因

【メッセージ】

```
accept error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの受け入れ処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗原因

【メッセージ】

```
%1:%2: FD_TBL malloc error (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=処理関数名

%2=処理命令行

%3=失敗原因

第53章 NAT機能

この章では、NAT機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: malloc fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

【メッセージ】

```
%1: recv invalid message kind(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知の内容に異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知種別

【メッセージ】

```
%1: recv invalid type(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知の内容に異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知タイプ

【メッセージ】

```
%1: Illegal protocol setting
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

無効なプロトコル番号が指定されました。

変換前ポートを指定していて、プロトコル番号に 6,17 以外を指定した場合、その NAT 設定は無視されます。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグ種別

【メッセージ】

```
%1: invalid message size(type:%2, buflen:%3 != %4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知のメッセージ長に異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

%2= 通知タイプ

%3= 通知データサイズ

%4= 正常なデータサイズ

【メッセージ】

```
internal error: socket open fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
internal error: connect fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部ソケットの接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 完了応答待機がタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select error(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 完了応答待機がエラーしました。

【パラメタの意味】

%1=エラー種別

【メッセージ】

```
recv error(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 完了応答受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー種別

【メッセージ】

```
recv invalid massage(kind:%1, type:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

refresh 完了応答の異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=通知種別

%2=通知タイプ

【メッセージ】

```
ip nat pool %1: Illegal start IP address "0.0.0.0". It has changed to
"0.0.0.1".
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pool 設定の開始 IP アドレスが不正値「0.0.0.0」であったため「0.0.0.1」に変更しました。

【パラメタの意味】

%1=pool 番号

【メッセージ】

```
ip nat pool %1: Illegal start IP address "255.255.255.255". It has
changed to "255.255.255.254".
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pool 設定の開始 IP アドレスが不正値「255.255.255.255」であったため
「255.255.255.254」に変更しました。

【パラメタの意味】

%1=pool 番号

【メッセージ】

```
ip nat pool %1: Illegal end IP address "255.255.255.255". It has changed
to "255.255.255.254".
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pool 設定の終了 IP アドレスが不正値「255.255.255.255」であったため
「255.255.255.254」に変更しました。

【パラメタの意味】

%1=pool 番号

【メッセージ】

```
ip nat pool %1: Illegal IP address range "%2 - %3". Set only "%2".
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pool 設定の IP アドレス範囲が不正で、開始 IP アドレスのみを有効にしました。

【パラメタの意味】

%1=pool 番号

%2= 開始 IP アドレス

%3= 終了 IP アドレス

【メッセージ】

```
select failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受送信処理待機がエラー終了しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
config sync error(DELETE): ip nat pool %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat pool 削除処理で異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=pool 番号

【メッセージ】

```
config sync error(DELETE): ip nat list %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat list削除処理で異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=list番号

【メッセージ】

```
config sync error(ADD): ip nat inside/outside
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat inside/outside設定通知処理で異常を検出しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Illegal IP NAT setting: Excess setting
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat inside/outside設定の設定数が上限を超えているか、または変更数が多いため、設定反映処理内でエラーしました。

ip nat inside/outside設定の設定数が上限を超えていないかご確認ください。そうでない場合、いったんコンフィグをクリアし、再度設定を行ってください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Illegal IP NAT setting: Excess dynamic NAT setting
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ダイナミック NAT 設定の設定数が上限を超えているか、または変更数が多いため、設定反映処理でエラーしました。

ダイナミック NAT 設定の設定数が上限を超えていないかご確認ください。そうでない場合、いったんコンフィグをクリアし、再度設定を行ってください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: Network processor returned invalid value. (%2) ret = %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Network Processor への NAT 設定追加にエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

%2= エラー種別

%3= エラー値（出ない場合があります）

【メッセージ】

```
%1: Illegal port range "%2 - %3". Set only "%2".
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定したポート番号の範囲が不正で、開始ポート番号のみを有効にしました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグ種別

%2= 開始ポート番号

%3= 終了ポート番号

【メッセージ】

```
%1: Network processor returned invalid value. (del table entry) ret = %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Network Processor への NAT 設定の削除にエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

%2= エラー値

【メッセージ】

```
fail to acl_create(%1:%2) status: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NAT ACL の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 送受信種別

%2=ACL コンテキスト ID

%3= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to acl_build(%1:%2) status: %3 and use linear acl
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL の生成に失敗しました。linear ACL 検索テーブルを使用します。

【パラメタの意味】

%1= 送受信種別

%2=ACL コンテキスト ID

%3= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to acl_set_context(%1): %2: %3 status: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL のコンテキスト ID 設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 送受信種別

%2= コンテキスト ID 種別

%3=ACL コンテキスト ID

%4= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to acl_clear_context(%1) status: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL のコンテキスト ID 解除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 送受信種別

%2= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to libahp_nat_acl_destroy(%1): old %2: %3 status: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL の削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 送受信種別

%2= コンテキスト ID 種別

%3=ACL コンテキスト ID

%4= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to acl_add: status: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL エントリ追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーステータス

【メッセージ】

```
fail to libahp_nat_acl_destroy(contextid:%1) status: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

起動時の ACL クリアに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ACL コンテキスト ID

%2= エラーステータス

【メッセージ】

```
Illegal IP NAT ACL setting: Excess setting
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat acl 設定の設定数が上限を超えているため、設定反映処理内でエラーしました。

ip nat acl 設定の設定数が上限を超えていないか確認してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Illegal IP NAT ACL permit setting: Excess setting
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ip nat acl permit 設定の設定数が上限を超えているため、設定反映処理内でエラーしました。

ip nat acl permit 設定の設定数が上限を超えていないか確認してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Couldn't delete expired nat flow entry(ret = %1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NAT 変換テーブルのエントリの削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーステータス

【メッセージ】

```
%1: getsockopt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットの設定処理でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

【メッセージ】

```
natd get ifaddr select error(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェースアドレス取得処理がエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラー種別

【メッセージ】

```
natd get ifaddr recv error(%1) %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェースアドレス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー種別

%2=エラーステータス

【メッセージ】

```
uwdt init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt start error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtの開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspend error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtの一時停止に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
sysmips error %d
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理(sysmips)に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーステータス

【メッセージ】

```
Attached Shared Memory failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(%1.%2) : %3 %4:%5 -> %6:%7
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NAT 機能によってパケットが破棄されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= 破棄理由（以下を参照）

lack of memory

NAT テーブル上限で NAT できなかった場合

table not found

NAT 変換対象でないパケットの場合

map empty

動的 NAT のマップ上限のため NAT できなかった場合

fail ftp dataport and parse

FTP データポートコマンドの解析エラーの場合

receive record option

レコードオプションパケットの場合

conflict flow table

NAT テーブル登録重複のため NAT できなった場合

%3= プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他番号）TCP の SYN の場合は、TCP(S) と出力されます。

%4= 送信元 IP アドレス

%5= 送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

%6= 宛先 IP アドレス

%7= 宛先ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: (%1) %2 %3:%4 %5:%6 -> %7:%8 %9:%10
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NAT で通信を契機に NAT 変換テーブルを作成された場合

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2=NAT 変換テーブルのプロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他番号）

%3=NAT 変換前の送信元 IP アドレス

%4=NAT 変換前の送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

%5=NAT 変換前の宛先 IP アドレス

%6=NAT 変換前の宛先ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

%7=NAT 変換後の送信元 IP アドレス

%8=NAT 変換後の送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

%9=NAT 変換後の宛先 IP アドレス

%10=NAT 変換後の宛先ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

第 54 章
IP フィルタ／IPv6 フィルタ

この章では、IP フィルタ／IPv6 フィルタに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(%1.%2) : %3 %4:%5 -> %6:%7
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IP フィルタによってパケットが破棄されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名
%2= アクセスリスト番号
%3= プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他番号）TCP の SYN の場合は、TCP(S) と出力されます。
%4= 送信元 IP アドレス
%5= 送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）
%6= 宛先 IP アドレス
%7= 宛先ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は直前の「:」も含めて表示しない）

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(%1.%2) : %3 %4(%5) -> %6(%7)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

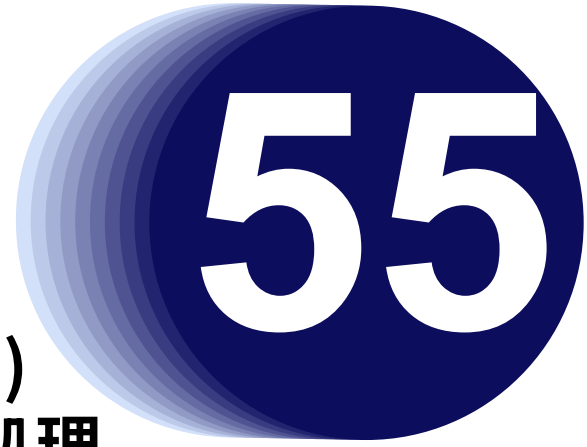
【意味】

IPv6 フィルタによってパケットが破棄されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名
%2= アクセスリスト番号
%3= プロトコル種別（TCP,UDP,ICMPv6, その他番号）TCP の SYN の場合は、TCP(S) と出力されます。
%4= 送信元 IPv6 アドレス
%5= 送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は前後の「()」も含めて表示しない）
%6= 宛先 IPv6 アドレス
%7= 宛先ポート番号（プロトコル種別が TCP/UDP 以外の場合は前後の「()」も含めて表示しない）

第 55 章 Network Time Protocol(NTP) 処理



この章では、Network Time Protocol(NTP) 処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ntp server' exceeds max configurations (20) - ignored: 'ntp %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ntp server のエントリ数が最大数 20 を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった ntp server 設定

【メッセージ】

```
...multicast address %1 using wildcard socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なマルチキャストアドレスが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となったアドレス

【メッセージ】

```
attempt to configure invalid address %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス設定が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 不正なアドレス

【メッセージ】

```
Bad file descriptor %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=fd 値

【メッセージ】

```
bind() fd %1, family %2, port %3, addr %4, in_classd=%5 flags=%6 fails:
%7
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソース指定インタフェースが UP していません。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報
%2= 内部情報
%3= ポート番号
%4= アドレス
%5= 内部情報
%6= 内部情報
%7= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
buffer overflow %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

送信フレーム長が overflow しました。

【パラメタの意味】

%1= 送信フレーム長

【メッセージ】

```
Can't adjust time (%1 sec, %1 usec): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部時刻の set に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 差分時間

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
can't open %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの読み込みができません。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
can't open configuration file %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Can't set time of day: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部時刻の set に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Cannot adjust stack limit for mlockall: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntpd の resource 制限設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ ID

【メッセージ】

```
Cannot chroot to `%1': %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntpd 起動時に root ディレクトリの変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ルートディレクトリ

%2= 状態の内容

【メッセージ】

```
Cannot open log file %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 書き込みファイル名

【メッセージ】

```
clock %1 event '%2' (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

clock の status に変更がありました。

【パラメタの意味】

%1=clock のアドレス

%2=reference clock の状態

%3=status 番号

【メッセージ】

```
command line trusted key %1 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

trusted key の値が不正です。

【パラメタの意味】

%1=trusted key number

【メッセージ】

```
configuration of %1 failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 読み込みに失敗した設定のサーバアドレス

【メッセージ】

```
couldn't save %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルをセーブできませんでした。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
couldn't unlink %1 : %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルを消去できませんでした。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
create_sockets: setsockopt(SO_REUSEADDR,off) failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データの送信時にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Bad clocktime
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

clocktime が異常です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Could not poll unit %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Datum PTS unit にポーリングできません。

【パラメタの意味】

%1=unit 番号

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Could not shut down Datum PTS unit %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Datum PTS unit がシャットダウンできません。

【パラメタの意味】

%1=unit 番号

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Problem adding clock
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

clock 追加でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Shutdown Datum PTS
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Datum PTS をシャットダウンしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Datum_PTS: Termios not supported in this driver
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Termios がこのドライバをサポートしていません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getaddrinfo: "%1" invalid host address, line ignored
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ホスト名

【メッセージ】

```
getconfig: Couldn't generate a valid random key!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

trusted key 生成用の random 変数の作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getifaddr: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
get_kernel_info: ntp_adjtime() failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部時刻の set に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
inappropriate version number %1, line ignored
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntp version が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 設定された ntp version

【メッセージ】

```
info register %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセス監視デーモンによって、ntpd が再起動しました。

【パラメタの意味】

%1= レジスタ情報

【メッセージ】

```
input_handler: fell out of infinite for(;;) loop!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部 loop 処理が終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_handler: handler_count is %1!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信パケットを連続して処理しました。

【パラメタの意味】

%1= カウント数

【メッセージ】

```
invalid request keyid %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証キーが不正です。

【パラメタの意味】

%1=keyid

【メッセージ】

```
key: argument required
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

key の値が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
logconfig: illegal argument %1 - ignored
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定の読み込みで不正な値を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= 不正な設定内容

【メッセージ】

```
make_keylist: signature fails %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証キーの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
multicast address %1 not class D
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なマルチキャストアドレス class が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となったアドレス

【メッセージ】

```
no IPv4 interfaces found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データ送信用の IPv4 インタフェースが見つかりません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
no IPv6 interfaces found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データ送信用の IPv6 インタフェースが見つかりません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
No more memory!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ領域を確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
No wildcard socket available to use for address %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なマルチキャストアドレスが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となったアドレス

【メッセージ】

```
ntp packet discard, from %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntp データを廃棄しました。

【パラメタの意味】

%1=ntp データの送信元

【メッセージ】

```
ntpd: must be run as root, not uid %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntpd が root 以外から起動されました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ ID

【メッセージ】

```
peer struct for %1 not in association table!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部データに設定内容と一致するデータがありません。

【パラメタの意味】

%1= 設定サーバアドレス

【メッセージ】

```
peer struct for %1 not in table!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部データに設定内容と一致するデータがありません。

【パラメタの意味】

%1= 設定サーバアドレス

【メッセージ】

```
peer/server version requires an argument
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntp version が設定されていません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
recvmsg error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信データが異常です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
refclock_newpeer: clock address %1 invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な reference clock のアドレスを設定しました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった reference clock のアドレス

【メッセージ】

```
refclock_newpeer: clock address %1 invalid, address family not
implemented for refclock
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な reference clock のアドレスを設定しました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった reference clock のアドレス

【メッセージ】

```
refclock_newpeer: clock type %1 invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な reference clock のアドレスを設定しました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった reference clock の type

【メッセージ】

```
select(%1, %2, 0L, 0L, &0.0) error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=fd 値

%2=fd 値

%3= 状態の内容

【メッセージ】

```
sendto(%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

送信エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=送信先アドレス

%2=状態の内容

【メッセージ】

```
setpriority() error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

スケジューリング優先度の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=状態の内容

【メッセージ】

```
setsockopt IPTOS_LOWDELAY on fails: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データの送信時にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsockopt IPV6_V6ONLY on fails on address %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データ転送処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=IPv6 アドレス

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt IP_DROP_MEMBERSHIP fails: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データの送信時にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsockopt SO_REUSEADDR on fails: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データの送信時にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsockopt() IPV6_V6ONLY failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

データ転送処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 状態の内容

【メッセージ】

```
setsockopt(IP_TOS): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
set_process_priority: No way found to improve our priority
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

スケジューリング優先度の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
set_reuseaddr: setsockopt(SO_REUSEADDR, %1) failed: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

送信ソケットの再利用処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 状態の内容

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
SHM shmget (unit %1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

shmget に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=unit 番号

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
SHM: bad mode found in shared memory: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリ内に不正なモードが存在します。

【パラメタの意味】

%1= モード番号

【メッセージ】

```
sigaction() fails to restore SIGSYS trap: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数の登録処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sigaction() fails to save SIGSYS trap: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部関数の登録処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
socket() failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
time correction of %1 seconds exceeds sanity limit (%2); set clock
manually to the correct UTC time.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

修正時刻差分が大きすぎます。

【パラメタの意味】

%1= 時刻差分

%2= 時刻差分の上限

【メッセージ】

```
too many recvbufs allocated (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信データサイズが大きすぎます。

【パラメタの意味】

%1= データサイズ

【メッセージ】

```
tpro_start: open of %1: %2"
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TPRO device のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= デバイス名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
trusted key %1 unlikely
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

trusted key の値が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 不正な設定

【メッセージ】

```
unsupported file generations type %1 for "%2" - reverting to
FILEGEN_NONE
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルがサポート対象外です。

【パラメタの意味】

%1=type 番号

%2= ファイル名

【メッセージ】

```
uwdt_heartbeat error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt との通信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_init error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_start error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
logging to file %1
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルへの書き込みを行います。

【パラメタの意味】

%1=ファイル名

【メッセージ】

```
SHM: access clash in shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリ内のアクセスが衝突しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SHM: no new value found in shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリ内に新しい値がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
time reset %1 s
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

補正した時刻差分が 128msec より大きかったことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 時刻差分

【メッセージ】

```
time slew %1 s
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

補正した時刻差分が 128msec 以下だったことを示します。

【パラメタの意味】

%1= 時刻差分

【メッセージ】

```
Connection re-established to %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サーバとのコネクションを張り直しました。

【パラメタの意味】

%1= サーバアドレス

【メッセージ】

```
getconfig2: Couldn't open <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定情報名

【メッセージ】

```
getconfig: Couldn't open <%1>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定情報ファイル名

【メッセージ】

```
no servers reachable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntp サーバと再同期を行います。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PCL-720 initialized
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

初期化が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
synchronization lost
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サーバとの同期がとれませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
synchronized to %1, stratum=%2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ntp サーバと同期がとれました。

【パラメタの意味】

%1=ntp サーバ

%2=stratum 値

【メッセージ】

```
TCU-800: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TCU のタイムコードを使用します。

【パラメタの意味】

%1= 最新のタイムコード

【メッセージ】

```
TM/TMD: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TRUETIME Mk III のタイムコードを使用します。

【パラメタの意味】

%1= 最新のタイムコード

【メッセージ】

```
TRUE: clock %1, state %2, event %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

controlling clock 処理のステータス情報を表示します。

【パラメタの意味】

%1= 時間

%2= 状態

%3= イベント内容

【メッセージ】

```
TRUE: state %1 is unexpected!
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未サポートの status を受け取りました。

【パラメタの意味】

%1= 状態の内容

【メッセージ】

```
No pktinfo received.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信データに受信インタフェース情報が含まれていません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
recvmsg(%1) fd=%2: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信データが不正です。

【パラメタの意味】

%1=送信元アドレス

%2=内部情報

%3=エラーメッセージ

第 56 章
定期ログ取得機能

この章では、定期ログ取得機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
/drive: No space left on device
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

/driveの空き領域不足でログを保存できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第57章 ポリシーマネージャー設定反映

この章では、ポリシーマネージャー設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
acl lib memory initialize fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to copy parent mode str: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー発生原因となったコマンド

【メッセージ】

```
fail to get line str
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to initialize cli lib
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to set refresh
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to terminate cli lib
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail to write arg, reason: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した原因

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):%1 is not found on action
configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

action nexthop コマンドで指定される interface が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):%1 is not found on watch
configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

watch コマンドで指定される source interface が設定されていません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid class-name %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

policy-route-map の class 設定で "class-default" を指定しました。

【パラメタの意味】

%1=class 設定の名前

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid nexthop address %1 on
action configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

action nexthop コマンドで設定されるアドレス情報が、以下のアドレスのため、有効にできません。

0.0.0.0

127.0.0.0 ～ 127.255.255.255

224.0.0.0 ～ 255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0 ～ ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメタの意味】

%1= アドレス

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid vrfname %1 on action
configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポリシールーティングの nexthop 指定で、不正な vrf 名が指定されました。

【パラメタの意味】

%1=vrf 名

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid vrfname %1 on local
policy-route
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ポリシールーティングの local policy-route 設定で、不正な vrf 名が指定されました。

【パラメタの意味】

%1=vrf 名

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid watch address %1 on watch
configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

watch コマンドで指定されたアドレス情報が、以下のアドレスのため、有効にできません。

0.0.0.0

127.0.0.0 ～ 127.255.255.255

224.0.0.0 ～ 255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0 ～ ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメタの意味】

%1= アドレス

【メッセージ】

```
Invalid policy-route configuration(s):invalid watch source address %1 on
watch configuration
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

watch コマンドで指定されたソースアドレス情報が、以下のアドレスのため、有効にできません。

0.0.0.0

127.0.0.0 ～ 127.255.255.255

224.0.0.0 ～ 255.255.255.255

0::0

0::1

ff00::0 ～ ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff

【パラメタの意味】

%1= アドレス

【メッセージ】

```
mode depth is too deep
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
no parsing func, code:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーに関連するパラメタ

【メッセージ】

```
pmd config memory initialize fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
timeout to get acl lib semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

QoS/ACL 設定取得プロセスが ACL 設定格納領域のアクセス権取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
timeout to get pmd semaphore
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

QoS/ACL 設定取得プロセスが QoS 設定格納領域のアクセス権取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
timeout to wait lpmd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

lpmd の設定読み込み待ちでタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
acl lib buffer is overflow
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ACL 設定が ACL 設定格納領域の容量を超過しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
config buffer is overflow
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

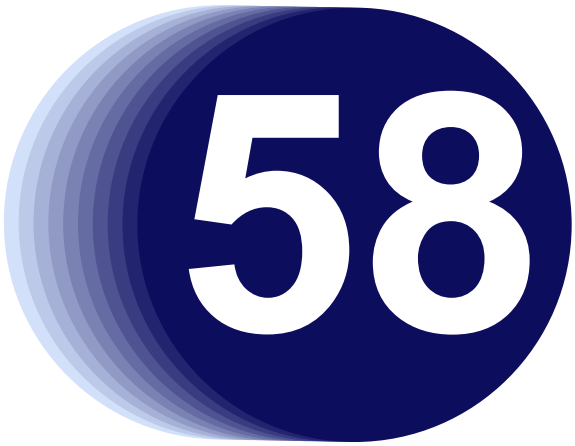
【意味】

QoS 設定が Qos 設定格納領域の容量を超過しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 58 章
PPP 設定反映



この章では、PPP 設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
failed to decrypt password (profile %1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パスワードの復号化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
internal error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ignored interface tunnel %1 - invalid modem profile (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel インタフェース設定モードで指定された modem profile の設定が存在しない、または必須設定が存在しないため、tunnel インタフェース設定モードの設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= プロファイル名

第 59 章
PPP

この章では、PPP に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 authentication failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証プロトコル

【メッセージ】

```
%1 authentication failed due to protocol-reject
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Protocol-Reject を受信して認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証プロトコル

【メッセージ】

```
%1 error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: %3 error: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報
%2= 内部情報
%3= 内部情報
%4= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: %3 error [%4]: %5
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報
%2= 内部情報
%3= 内部情報
%4= 内部情報
%5= 内部情報

【メッセージ】

```
"%1:%2: memory allocation error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: %2 ioctl(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: Recv illegal length
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP ヘッダの length フィールドが PPP ヘッダのサイズより小さいデータを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Recv invalid %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正パケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=Code

【メッセージ】

```
%1: Recv packet in state %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信するはずのない state でパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=state

【メッセージ】

```
%1: Recv short header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの長さが PPP ヘッダのサイズより小さいデータを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Recv short packet
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パケットの長さが PPP ヘッダの length フィールドよりも小さいデータを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: timeout sending Configure-Request
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Configure-Request の送信がタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1 length error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 open error: %2 (line %3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

モデムがハングアップした可能性があります。

ttyUSB の場合は問題ありません。

【パラメタの意味】

%1= デバイス名

%2= エラーメッセージ

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 type error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
chat script failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

chatが失敗しました。
接続環境、設定を確認して、しばらく待ってから再接続してください。

【パラメタの意味】

%1=チャットの終了ステータス

【メッセージ】

```
error waiting for connection process: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
failed to create %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Failed to create child process: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
internal error: file descriptor too large (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
ioctl(%1): %2 (line %3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
ioctl(PPPIOCSNPMODE, %1, %2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
IPCP: Could not determine local IP address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IP アドレスが払い出されず、アドレスを決定できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LCP: received short Echo-Reply, length %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LCP の Echo-Reply の Length フィールドが Code, Identifier, Length フィールドの合計よりも小さいデータを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=Length フィールド

【メッセージ】

```
LCP: appear to have received our own Echo-Reply
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

自身の送信した LCP の Echo-Reply と同じ Magic-Number の Echo-Reply を受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
modem interface exceeds max configurations (1) - ignored in interface
Tunnel %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

2 つ以上のモデム設定が行われています（設定最大数は 1）。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース番号

【メッセージ】

```
PAP: missing %1 msg-length
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Msg-Length フィールドがない PAP のパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
PAP: Recv short %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Msg-Length フィールドがパケットサイズを超える PAP のパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
read /dev/ppp: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Recv short PPP packet
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パケットの長さが Protocol フィールドよりも小さいデータを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
tcgetattr: %1 (line %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
tcsetattr: %1 (line %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
tipc socket instance get error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to register IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
Duplicate IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスが他インタフェースのアドレスと重複しています。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
Duplicate registered IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスと同じアドレスをインタフェースに設定しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
Interface configure failed
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP インタフェースへのアドレスの設定に失敗しました。
しばらく待ってから再接続を試みてください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Interface failed to come up
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP インタフェースの up に失敗しました。
しばらく待ってから再接続を試みてください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Child process %1 (pid %2) terminated with signal %3
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報
%2= 内部情報
%3= 内部情報

【メッセージ】

```
losing track of %1 process
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fcntl(%1): %2 (line %3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Receive serial link is not 8-bit clean:
Problem: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイスの clean に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーの原因

【メッセージ】

```
speed %1 not supported
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースのスピードがサポートしていない値でした。

【パラメタの意味】

%1= スピード (bps)

【メッセージ】

```
Modem hangup
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

モデムがハングアップしました。
接続環境、設定を確認して、しばらく待ってから再接続してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Terminating connection due to lack of activity.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無通信状態の時間が、設定された idle-time に達したので接続を終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Connection terminated.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

端末の接続を終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: Recv Code-Reject for code %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Code-Rejectを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=Code値

【メッセージ】

```
%1: Recv Terminate-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Terminate-Requestを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Send Terminate-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Terminate-Requestを送信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
Call count reach max call value
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

発信回数が最大値に達しました。
次に接続を行う場合にはmodem connectを実行してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LCP: No response to Echo-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LCP の Echo-Request に対する Echo-Reply を 3 回連続で受信しませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
No response to PAP authenticate-requests
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PAP の Authentication-Request を 10 回再送しましたが返事がありませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PPP session is Established (Tunnel %1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP セッションが確立しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

【メッセージ】

```
PPP session is Terminated (Tunnel %1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP セッションが終了しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

【メッセージ】

```
Serial connection established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

chat が成功し、シリアル通信が可能になりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1 -- open failed: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
%1 -- read error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't get file mode flags on stdin: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't get terminal parameters: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't restore terminal parameters: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't set file mode flags on stdin: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Can't set terminal parameters: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
memory error!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unterminated quote (line %1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
SIGHUP
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

シグナルを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SIGINT
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

シグナルを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SIGTERM
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

シグナルを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Too many %1 strings
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Illegal or too-long %1 string ('%2')
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
expect string is too long
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

USBデバイスから期待する文字列が返ってきませんでした。またはUSBデバイスへの文字列の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗の原因

【メッセージ】

```
warning: read() on stdin returned %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
warning: write() on stdout returned %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

第 60 章
PPPoE 設定反映

この章では、PPPoE 設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ファイルの open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
failed to decrypt password (profile %1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

パスワードの復号化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロファイル名

【メッセージ】

```
internal error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ignored interface tunnel %1 - invalid pppoe profile (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tunnel mode の設定で指定された pppoe profile の設定がありません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= プロファイル名

【メッセージ】

```
ignored interface tunnel %1 - pppoe interface gigaethernet not
configured
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pppoe interface gigaethernet の設定がありません。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

【メッセージ】

```
ignored interface tunnel %1 - invalid pppoe interface (GigaEthernet 1/
%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pppoe interface gigaethernet で指定されたインタフェースの設定がありません。または、そのインタフェースに pppoe enable の設定がありません。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース番号

%2=ポート番号

【メッセージ】

```
ignored pppoe enable - %1 exist (GigaEthernet 1/%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pppoe enable と同時に設定できない値が設定されています。

【パラメタの意味】

%1=無効の原因になった設定

%2=ポート番号

第61章 PPPoE プロトコル処理

この章では、PPPoE プロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1:%2: memory allocation error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= 行数

%3= エラー番号

【メッセージ】

```
%1 authentication failed due to protocol-reject
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Protocol-Reject を受信して認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証プロトコル

【メッセージ】

```
%1 authentication failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証プロトコル

【メッセージ】

```
%1 error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt関係の関数に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

【メッセージ】

```
%1 length error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用メッセージのメッセージ長が不正です。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ名

%2= メッセージ長

【メッセージ】

```
%1 type error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信用メッセージのタイプが不正です。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ名

%2=Type 値

【メッセージ】

```
%1: %2 ioctl(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= インタフェース名

%3= リクエストコード

【メッセージ】

```
%1: Recv invalid %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正パケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=Code

【メッセージ】

```
%1:%2: %3 error [%4]: %5
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

システムコールに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= 行数

%3= システムコール名

%4= ファイル名

%5= エラー番号

【メッセージ】

```
%1:%2: %3 error: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

システムコールに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2= 行数

%3= システムコール名

%4= エラー番号

【メッセージ】

```
%1: Host-Uniq length is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Host-Uniq TAG の長さが送信したものと異なります。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: Host-Uniq TAG is not included
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットに Host-Uniq TAG が含まれていません。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: Host-Uniq Value is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Host-Uniq TAG の値が送信した値と異なります。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: Payload length is too long (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Payload 長が受信したパケットサイズよりも大きいです。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2=Payload 長

【メッセージ】

```
%1: Recv illegal length
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPP ヘッダの length フィールドが PPP ヘッダのサイズより小さいです。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Recv packet in state %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信するはずのない state でパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=state

【メッセージ】

```
%1: Recv short header
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの長さが PPP ヘッダのサイズより小さいです。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Recv short packet
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの長さが PPP ヘッダの length フィールドよりも小さいです。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Recved packet is too small (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットがヘッダサイズよりも小さいです。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2= パケット長

【メッセージ】

```
%1: Sent Service-Name TAG is not included
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットに自身の送信した Service-Name TAG が含まれませんでした。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: TAG(0x%2) length is too long (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットに含まれる TAG の TAG 長が長すぎます。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2=TAG のタイプ

%3=TAG 長

【メッセージ】

```
%1: timeout sending Configure-Request
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Configure-Request の送信がタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Type is not 1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Type フィールドが 1 ではありません。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2=Type 値

【メッセージ】

```
%1: Version is not 1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Version フィールドが 1 ではありません。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2=Version 値

【メッセージ】

```
Discovery:Ethertype is not 0x8863 (0x%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した Discovery パケットの Ethertype が不正です。

【パラメタの意味】

%1= パケットの Ethertype

【メッセージ】

```
failed to create %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット名

【メッセージ】

```
IPCP: Could not determine local IP address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IP アドレスが払い出されませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
IPv6CP: Could not determine local Link-Local address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6CP のネゴシエーション後に自身のインタフェース ID が 0 でした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
IPv6CP: Could not determine remote Link-Local address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6CP のネゴシエーション後にピアのインタフェース ID が 0 でした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
IPv6CP: local and remote Link-Local addresses are equal
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6CP のネゴシエーション後にピアのインタフェース ID と自身のインタフェース ID が同じでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LCP: appear to have received our own Echo-Reply
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

自身の送信した LCP の Echo-Reply と同じ Magic-Number の Echo-Reply を受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LCP: received short Echo-Reply, length %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LCP の Echo-Reply の Length フィールドが、Code,Identifier,Length フィールドの合計よりも小さいです。

【パラメタの意味】

%1=Length フィールド

【メッセージ】

```
PADO: AC-Name TAG is not included
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PADO に AC-Name TAG が含まれませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PADO: Service-Name TAG is not included
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PADO に Service-Name TAG が含まれませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PADO: session id is not 0x0000 (0x%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したPADOのセッションIDが0ではありません。

【パラメタの意味】

%1=セッションID

【メッセージ】

```
PADS: Service-Name TAG is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したPADSに自身が送信していないService-Name TAG含まれます。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PADS: session id is 0x%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したPADSのセッションIDが不正です。

【パラメタの意味】

%1=セッションID

【メッセージ】

```
PAP: missing %1 msg-length
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したPAPのパケットにMsg-Lengthフィールドがありません。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
PAP: Recv short %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したPAPのパケットのMsg-Lengthフィールドがパケットサイズを超えます。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
Recv short PPP packet
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの長さがProtocolフィールドよりも小さいです。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Session: Code is not 0x00 (0x%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Code フィールドが 0 ではありません。

【パラメタの意味】

%1=Code 値

【メッセージ】

```
Session: Ethertype is not 0x8864 (0x%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した Session パケットの Ethertype が不正です。

【パラメタの意味】

%1= パケットの Ethertype

【メッセージ】

```
tipc socket instance get error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置インスタンスの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: AC-System-Error TAG is included
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

AC-System-Error TAG が含まれるパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: Generic-Error TAG is included
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Generic-Error TAG が含まれるパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
%1: Service-Name-Error TAG is included
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Service-Name-Error TAG が含まれるパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

【メッセージ】

```
Discovery: Recv unsupported Code (0x%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信したパケットの Code フィールドが、PADI,PADO,PADS,PADR,PADT 以外です。

【パラメタの意味】

%1=Code 値

【メッセージ】

```
Duplicate IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスが、他インタフェースと重複しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
Duplicate registered IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスを、他インタフェースに後から設定しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
Failed to register IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPCP で動的に払い出されたアドレスの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
PADS: Recv same session id (%1) from same server
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

同じサーバから同じセッション ID を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= セッション ID

【メッセージ】

```
pppoe client exceeds max configurations (50) - ignored in interface
Tunnel %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

最大設定数 50 を超えて PPPoE の設定が入力されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

【メッセージ】

```
%1: Recv Code-Reject for code %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Code-Rejectを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

%2=Code値

【メッセージ】

```
%1: Recv Terminate-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Terminate-Requestを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Send Terminate-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Terminate-Requestを送信しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名

【メッセージ】

```
%1: Unsupported TAG is ignored (0x%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

非サポート TAG が含まれるパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= パケットの種類

%2=TAG のタイプ

【メッセージ】

```
IPCP: Refused our IP address (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定した IP アドレスで Configure-Ack が返ってきませんでした。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

【メッセージ】

```
LCP: No response to Echo-Request
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LCP の Echo-Request に対する Echo-Reply を 3 回連続で受信しませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
No response to PAP authenticate-requests
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PAP の Authentication-Request を 10 回再送しましたが、返事がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PADO : AC-Name TAG is different from configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定されたサーバ名と異なる AC-Name TAG の PADO を受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PPPoE session is Established (Tunnel %1 / ID %2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPPoE セッションが確立しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= セッション ID

【メッセージ】

```
PPPoE session is Terminated (Tunnel %1 / ID %2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PPPoE セッションが終了しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= セッション ID

【メッセージ】

```
Recv PADT (Tunnel %1 / ID %2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PADT を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= セッション ID

【メッセージ】

```
Send PADT (GigaEthernet 1/%1 / ID %2) - Previous PPPoE session is
released
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

残留セッションを解除するために、PADT を送信しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

%2= セッション ID

【メッセージ】

```
Send PADT (Tunnel %1 / ID %2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PADT を送信しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース番号

%2=セッション ID

第62章
プロセスモニタ

この章では、プロセスモニタに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 %2 CPU utilization level %3 exceeded [%4 %%]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

CPU 使用率がしきい値以上となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名
%2= スロット番号
%3= レベル
%4= イベント発生時の CPU 使用率（単位：%）

【メッセージ】

```
%1 %2 CPU utilization level %3 restored [%4 %%]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

CPU 使用率がしきい値以下となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名
%2= スロット番号
%3= レベル
%4= イベント発生時の CPU 使用率（単位：%）

【メッセージ】

```
%1 %2 physical memory usage level %3 exceeded [%4 byte in use]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ使用量がしきい値以上となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名

%2= スロット番号

%3= レベル

%4= イベント発生時のメモリ使用量（単位：bytes）

【メッセージ】

```
%1 %2 physical memory usage level %3 exceeded [%4 byte remains]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ使用量がしきい値以上となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名

%2= スロット番号

%3= レベル

%4= イベント発生時のメモリ使用量（単位：bytes）

【メッセージ】

```
%1 %2 physical memory usage level %3 restored [%4 byte in use]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ使用量がしきい値以下となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名

%2= スロット番号

%3= レベル

%4= イベント発生時のメモリ使用量（単位：bytes）

【メッセージ】

```
%1 %2 physical memory usage level %3 restored [%4 byte remains]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ使用量がしきい値以下となりました。

【パラメタの意味】

%1= ボード名

%2= スロット番号

%3= レベル

%4= イベント発生時のメモリ使用量（単位：bytes）

【メッセージ】

```
<%1> board_alarm_init error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（board_alarm_init 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> board_data_init error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（board_data_init 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> board_monitor_init error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（board_monitor_init 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<%1> Failed to sysctl(vm.uvmexp): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（sysctl 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
<%1> snmp_build_var_op ptr=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（snmp_build_var_op 関数）。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2=snmp_build_var_op 関数の返り値のポインタ

【メッセージ】

```
<%1> SMUX connection is not established.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SMUX 接続が確立していません。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

【メッセージ】

```
<smux_trap_enterprise_group> len=%1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

trapPDU のデータ長が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 生成した trapPDU のデータ長

【メッセージ】

```
Failed to accept: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（accept 関数）。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to bind: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（bind 関数）。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to fcntl: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（fcntl 関数）。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to initialize uwdtd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to kvm_getproc2: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（kvm_getproc2 関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to listen: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（listen 関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to malloc(proc_data): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to malloc(procmon_res): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to recv: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（recv関数）。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to resume uwdtd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtdの再開に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to send: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（send 関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to sock: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部処理が異常終了しました（socket 関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号を説明する文字列

【メッセージ】

```
Failed to start uwdtd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to suspend uwdtd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

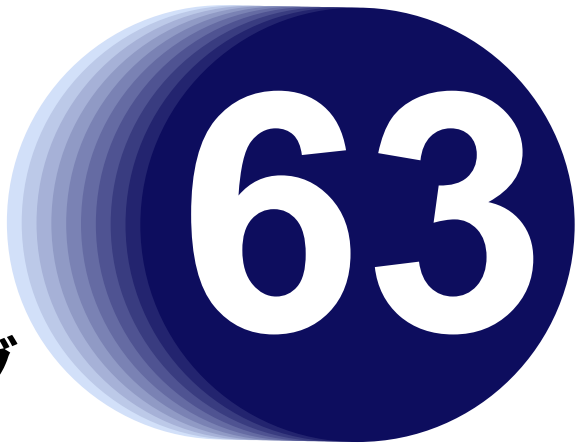
【意味】

uwdtd の一時停止に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第63章 ポリシールーティング



この章では、ポリシールーティングに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
accept error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの accept に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
acl ctrl length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

acl ctrl 要求メッセージが長さ不正のため受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=acl ctrl 要求メッセージのタイプ

%2= 要求メッセージの長さ

%3= 期待する長さ

【メッセージ】

```
acl ctrl request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

acl ctrl の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
acl entry length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

acl entry 要求メッセージが長さ不正のため受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=acl entry 要求メッセージのタイプ

%2= 要求メッセージの長さ

%3= 期待する長さ

【メッセージ】

```
acl entry request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

acl entry の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCADDACL error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel への access-list 情報の追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCADDPOLICY error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel への nexthop 情報の追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCCHGTBL error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel のデータベースの作業面の更新に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCCLR error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel のデータベースの作業面のクリアに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCGETPOLICY error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel への nexthop 情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCINIT error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel のデータベースの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
AIOCRELEASE error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl で、kernel のデータベースの作業領域の解放に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
Attached Shared Memory failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Shared Memory の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bind error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
can't get if record: %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
connect error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの connect に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
entry end error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

acl/policy entry の終了メッセージの処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
IF nexthop request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IF nexthop の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
listen error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの listen に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
malloc error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
msg error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なメッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
msg type error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なメッセージタイプのメッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
nexthop end error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nexthop の終了メッセージの処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
nexthop family error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

取得できた family 情報が不正でした。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
nexthop length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nexthop 要求メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=nexthop の要求メッセージのタイプ

%2= 要求メッセージの長さ

%3= 期待する長さ

【メッセージ】

```
nexthop msg flag is NACK: %1
nexthop msg flag is other %2 nhid %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

取得できた nexthop メッセージのフラグ情報が不正でした。

【パラメタの意味】

%1= フラグ情報

%2= フラグ情報

%3=nexthop id 情報

【メッセージ】

```
nsm client error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nsm との接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
open error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
policy entry length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

policy entry 要求メッセージが長さ不正のため、受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=policy entry 要求メッセージのタイプ

%2= 要求メッセージの長さ

%3= 期待する長さ

【メッセージ】

```
policy entry request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

policy entry の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
recv error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
recv packet type error: %1 len = %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

%2= メッセージの長さ

【メッセージ】

```
send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
show end error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

統計情報要求の終了メッセージの処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
show length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

統計情報の要求メッセージが長さ不正のため受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=統計情報要求メッセージのタイプ

%2=要求メッセージの長さ

%3=期待する長さ

【メッセージ】

```
show request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

統計情報の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
socket error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
uwdt error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtへの要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
v4 nexthop request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv4 nexthop の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
v4 watch request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv4 watch の監視要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
v6 nexthop request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 nexthop の要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
v6 watch request error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 watch の監視要求処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
watch length error %1:%2:%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

watch 監視要求メッセージの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=watch の監視要求メッセージのタイプ

%2= 要求メッセージの長さ

%3= 期待する長さ

第 64 章
IPsec 機能関連

この章では、IPsec 機能関連のメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Acct-on failed %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

Acct-on 送信、およびその Acct-resp 受信が正常に完了しませんでした。

【パラメタの意味】

%1=RADIUS グループ名

%2= エラーとなった理由（以下を参照）

Timeout

Acct-on に対する Acct-resp を受信できずにタイムアウトした場合

Clear command on Acct-on

Acct-on に対する Acct-resp 待ち中に clear crypto radius を実行された場合

Clear command on route check

経路チェック中に clear crypto radius を実行された場合

【メッセージ】

```
Init error: devike init fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

isakmpd の devike の初期化処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Init error: processed shutdown
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

isakmpd の初期化でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
shutdown error R: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

isakmpd の shutdown 処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=shutdown 処理が失敗した理由（以下を参照）

failed create socket

ソケットの create 失敗

failed sendto

reset 情報の送信失敗

【メッセージ】

```
%1 Phase-2 notification `%2' (%3) (size %4 bytes) from %5%6 for protocol
%7 spi[0...%8]=%9
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IKEv1 の VPN ピアからエラー系 notification を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=Authenticated: パケットが認証済み
Unauthenticated: パケットが非認証
%2= エラー内容
%3= エラー番号
%4= 受信データサイズ
%5=VPN ピア IP アドレス
%6=VPN ピアポート
%7= プロトコル名
%8=SPI サイズ
%9=SPI 値

【メッセージ】

```
detected disconnection to SP
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SP とのコネクションが切断されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
detected reconnection to SP
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SP とのコネクションが再接続されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Global : # of %1 exceeded High-water (%2), Peak: %3
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

装置全体に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピア数の上限しきい値を超過しました。

【パラメタの意味】

%1=IKE-SA:ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA:IPSEC-SA/CHILD SA

session:VPN ピア

%2= 装置全体に対して設定されたしきい値

%3= 現在時点での有効な ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピアのピークホールド値

【メッセージ】

```
Global : # of %1 restored Low-water (%2), Peak: %3
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

装置全体に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピア数の下限しきい値に達しました。

【パラメタの意味】

%1=IKE-SA:ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA:IPSEC-SA/CHILD SA

%2= 装置全体に対して設定されたしきい値

%3= 現在時点での有効な ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピアのピークホールド値

【メッセージ】

```
IPsec Tunnel %1(%2): # of %3 exceeded High-water (%4), Peak: %5
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IPsec Tunnel に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピア数の上限しきい値を超過しました。

【パラメタの意味】

%1=Tunnel オブジェクトに設定されたトンネル名（設定なしの場合は 0 長文字列）

%2=Tunnel オブジェクトに設定されたインデックス（設定なしの場合は 0 長文字列）

%3=IKE-SA:ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA:IPSEC-SA/CHILD SA

session:VPN ピア

%4=IPsec Tunnel オブジェクトに対して設定されたしきい値

%5= 現在時点での有効な ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピア数のピークホールド値

【メッセージ】

```
IPsec Tunnel %1(%2): # of %3 restored Low-water (%4), Peak: %5
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IPsec Tunnel に対して設定された ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピア数の下限しきい値に達しました。

【パラメタの意味】

%1=Tunnel オブジェクトに設定されたトンネル名（設定なしの場合は 0 長文字列）

%2=Tunnel オブジェクトに設定されたインデックス（設定なしの場合は 0 長文字列）

%3=IKE-SA:ISAKMP-SA/IKE SA

IPsec-SA:IPSEC-SA/CHILD SA

session:VPN ピア

%4=IPsec Tunnel オブジェクトに対して設定されたしきい値

%5= 現在時点での有効な ISAKMP-SA/IKE SA、または IPSEC-SA/CHILD SA、または VPN ピアのピークホールド値

【メッセージ】

```
reboot isakmpd because detected disconnection to SP
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SP とのコネクションが切れたため、isakmpd を再起動させました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The maximum number of active P1 SAs reached
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ISAKMP-SA/IKE SA 数が最大に達したため、領域確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Sequence Number OverFlow outspi:%1 inspi:%2 Src:%3
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

Sequence number over flow によって SA を削除します。

【パラメタの意味】

%1=outbound SA の spi 値

%2=inbound SA の spi 値

%3= ピアアドレス

【メッセージ】

```
The maximum number of active P1 rekeys reached
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

リキー時に ISAKMP-SA/IKE SA 数が最大に達したため、領域確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The maximum number of active IKE info negotiations reached
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

INFORMATIONAL のためのネゴシエーション領域が確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The maximum number of active P1 negotiations reached
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ISAKMP-SA/IKE SA のためのネゴシエーション領域が確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The maximum number of active P2 negotiations reached
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IPSEC-SA/CHILD SA のためのネゴシエーション領域が確保できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
link MTU on tunnel%1 (%2) is too small for IPv6 which needs 1280
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 が有効なトンネルインタフェースの MTU に 1280 未満の値が設定されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= 設定した MTU

【メッセージ】

```
new link MTU on tunnel%1 (%2) is too small for IPv6 which needs 1280
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 が有効なトンネルインタフェースの MTU に 1280 未満の値が設定されました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース番号

%2= 設定した MTU

【メッセージ】

```
%1(%2/%3/%4/%5) %6:%7/%8:%9 %10/%11 M:%12 S:%13/%14
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ISAKMP-SA/IKE SA または IPSEC-SA/CHILD SA を確立／削除しました。

crypto isakmp log sa コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメタの意味】

%1=P1:ISAKMP-SA/IKE SA

P2:IPSEC-SA/CHILD SA

%2=1:IKEv1

2:IKEv2

%3=A: 確立

D: 削除

%4=I:Initiator として確立した SA

R:Responder として確立した SA

%5=N: 新規

R: リキー

%6=remote address

%7=remote port

%8=local address（crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示）

%9=local port（crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示）

%10=remote ID（crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示）

%11=local ID（crypto isakmp sa detail 設定時のみ表示）

%12=crypto map 名

%13/%14=SPI 値

IKE_SA の場合：Responder/Initiator SPI 値

CHILD_SA の場合：INBOUND/OUTBOUND SPI 値

【メッセージ】

```
Se(%1/%2/%3/-) %4:%5/%6:%7 %8/%9 M:%10 R: %11
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IPsec セッションを確立／削除しました。
crypto isakmp log session コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメタの意味】

%1=1:IKEv1
　2:IKEv2
%2=A: 確立
　D: 削除
%3=I:Initiator として確立したセッション
　R:Responder として確立したセッション
%4=remote address
%5=remote port
%6=local address（crypto isakmp session detail 設定時のみ表示）
%7=local port（crypto isakmp session detail 設定時のみ表示）
%8=remote ID（crypto isakmp session detail 設定時のみ表示）
%9=local ID（crypto isakmp session detail 設定時のみ表示）
%10=crypto map 名
%11= セッション解放となった理由
　Expired session-timeout
　　session-timeout による解放
　Expired idle-timeout
　　idle タイマエクスパイアによる解放
　Expired dpd-timeout
　　DPD タイマエクスパイアによる解放
　Expired icmp-timeout
　　ICMP タイマエクスパイアによる解放
　Expired info-timeout
　　INFROMATIONAL 交換タイムアウトによる解放
　Expired ipsec-lost-time
　　CHILD SA 確立待ちタイマエクスパイアによる解放
　Expired IKE SA lifetime
　　IKE SA lifetime 満了によりセッション解放
　Expired IPsec SA lifetime
　　IPsec SA lifetime 満了によりセッション解放

Exec clear command
: clear コマンドによる解放

Expired acct-start-timeout
: Radius アカウンティングのタイムアウトによる解放

Exec refresh command
: refresh コマンドによる解放

Negotiation failed
: ネゴシエーション失敗による解放

Received delete packet
: ピアからの Delete ペイロード受信による解放

Rekey(IKE) timeout
: CREATE_CHILD_SA(IKE) 交換タイムアウトによる解放

Rekey(CHILD) timeout
: CREATE_CHILD_SA(CHILD) 交換タイムアウトによる解放

Old session delete
: リコネクトによる旧セッションの解放

Destroyed Tunnel IF
: interface tunnel 設定削除による解放

Phase1 failed by dpd trigger
: DPD 契機の Phase1 ネゴシエーション失敗による解放

P1/P2 failed by dpd trigger
: DPD 契機の Phase1 または Phase2 ネゴシエーション失敗による解放

Phase1 failed by P1 softlimit
: ISAKMP-SA/IKE SA のソフトライフタイム満了契機の Phase1 ネゴシエーション失敗による解放

P1/P2 failed by P1 softlimit
: IISAKMP-SA/IKE SA のソフトライフタイム満了契機の Phase1 または Phase2 ネゴシエーション失敗による解放

Sequence number over flow
: Sequence number over flow によるセッション解放

Received notify packet
: ピアからの Notify ペイロード受信による解放

Exec reset command
: reset コマンドによる解放

Old session delete for ip/port change
: リコネクトによりアドレス／ポート変更となったために旧セッションを解放

Route update failed
: 経路登録失敗による解放

Expired isakmp-lost-time
: ISAKMP SA 確立待ちタイマエクスパイアによる解放

tunnel if is shutdown
: Tunnel IF が shutdown 状態

Destroyed IKE IF
: IKE ネゴシエーションパケットの送受信 IF 削除によるセッション解放

Destroyed IKE address

IKE ネゴシエーションパケットの受信アドレス削除によるセッション解放

Expired IKE SA lifetime(KB)

IKE SA lifetime（データ量）満了によりセッション解放

SIP session was deleted

紐付く SIP セッションが削除されたことによるセッション解放

Survey is down

端末接続監視機能との連携での端末ダウン検知によるセッション解放

Survey destination is duplicated

動的端末監視機能で宛先アドレスが重複したことによる解放

Survey-map does not exist

動的端末監視機能で指定した survey-map が存在しないことによる解放

Detected disconnection to surveyd

動的端末監視機能と監視処理のプロセスとの接続が切れたことによる解放

【メッセージ】

```
%1(%2) %3:%4/%5:%6 %7/%8 %9 M:%10 S:%11/%12 R: %13 %14 (%15)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IKE ネゴシエーションに失敗しました。
crypto isakmp log negotiation-fail コマンドを設定している場合にのみ出力されます。
表示ができない場合、(null) と表示されます。

【パラメタの意味】

%1=IP_F:Identity Protection
AG_F:Aggressive
XA_F:Configuration mode(Xauth)
MC_F:Configuration mode(Mode-cfg)
QM_F:Quick Mode
IS_F:IKE_SA_INIT
IA_F:IKE_AUTH
CC_F:CREATE_CHILD_SA(CHILD)
CI_F:CREATE_CHILD_SA(IKE)
ST_F: ネゴシエーション開始時
_F: ネゴシエーションの失敗
_D:ISAKMP パケットのディスカード
%2=I:Initiator
R:Responder

%3=remote address
%4=remote port
%5=local address（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%6=local port（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%7=remote ID（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%8=local ID（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%9= 拡張認証 ID（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%10=crypto map 名（crypto isakmp log negotiation-fail detail 設定時のみ表示）
%11/%12=Responder/Initiator SPI 値
%13= ネゴシエーションが失敗した理由（以下参照）

Invalid syntax
　シンタックスエラーが発生した
Encryption algorithm mismatch
　encryption アルゴリズムが設定と不一致
No proposal chosen
　プロポーザルが不一致
Invalid KEY payload
　鍵交換のペイロードが不正
PRF algorithm mismatch
　PRF アルゴリズムが設定と不一致
Integrity algorithm mismatch
　Integrity アルゴリズムが設定と不一致
DH group mismatch
　DH グループが設定と不一致
Ex Sequence Number mismatch
　ESN が設定と不一致
IKE transform attr mismatch
　Transform Substructure 中の Transform Attributes が設定と不一致
ESP NULL-NULL proposed
　encryption アルゴリズムと Integrity アルゴリズムが NULL 指定
Remote psk not found
　リモートの pre-shared key が見つからない
No IPsec rules configured
　適用する crypto map が見つからない
Peer IP address mismatch
　Peer のアドレスが設定と不一致
Local IP address mismatch
　ローカル IP アドレスが設定と不一致
Local TS mismatch
　ローカル Traffic selector が設定と不一致
Remote TS mismatch
　リモート Traffic selector が設定と不一致
Local ID mismatch
　ローカル ID が設定と不一致

Remote ID mismatch
　　リモート ID が設定と不一致
Lost on simultaneous SA rekey
　　CHILD_SA のリキーが競合して失敗
IKE version mismatch
　　IKE version が設定と不一致
Unsupported algorithm
　　サポートしていないアルゴリズム
Auth method mismatch
　　認証方式が設定と不一致
Authentication failed
　　IKE の認証失敗
TS unacceptable
　　トラフィックセレクタ不一致
Unsupported auth method
　　サポートしていない認証方式
Encapsulation mode mismatch
　　Encapsulation モードが設定と不一致
Exchange type mismatch
　　交換タイプが設定と不一致
Out of memory
　　メモリ確保失敗
Received notify
　　Notify ペイロードを受信した
Pool exceeded
　　プール枯渇
Pool is not configured
　　Local pool が参照不可
Extended authentication mismatch
　　拡張認証方式が設定と不一致
P1 limit exceeded
　　ISAKMP-SA/IKESA の limit に達した
P2 limit exceeded
　　IPSEC-SA/CHILD SA の limit に達した
Session limit exceeded
　　VPN ピア数の limit に達した
Discard command
　　crypto isakmp discard コマンドにより失敗
Negotiation timeout
　　ネゴシエーションのタイムアウトが発生
Transmit error
　　ISAKMP パケットの送信失敗
Discard packet
　　受信 ISAKMP パケットの破棄

Local auth failed
: Local 認証に失敗

Radius auth failed
: Radius 認証に失敗

Radius timeout
: Radius との通信タイムアウト

Radius attribute error
: Radius から受信した attribute が不正

Auth group not found
: 拡張認証のためのグループが参照不可

CP Payload mismatch
: Configuration Payload が設定と不一致

EAP Payload mismatch
: EAP Payload が設定と不一致

Certificate is not found
: 証明書が参照不可

Public key is not found
: 公開鍵が参照不可

old session is deleting
: 旧セッションの削除中

can't attach child info
: CHILD_SA 情報の参照失敗

can't allocation blkid
: block_id の取得失敗

old out spi not found
: 旧 OUTBOUND の SPI が見つからない

can't create child info
: CHILD_SA 情報の作成失敗

can't create peer info
: セッション情報の作成失敗

Error blk struct to lp
: LP に対する SA 情報登録失敗

Error inbound sa to sp
: SP に対する INBOUND SA 情報登録失敗

Error outbound sa to sp
: SP に対する OUTBOUND SA 情報登録失敗

Error ipsec sa to sp
: SP に対する SA 情報登録失敗

can't get nexthop id
: nexthop アドレスに対する情報取得失敗

Error tnl struct to lp
: LP に対する SA 情報登録失敗

peer is not found(ifup)
: セッション情報の参照不可

can't update child info
: CHILD SA 情報の更新失敗

can't add tunnel if
: tunnel インタフェースの作成失敗

Error wait if num
: IF 情報の取得失敗

Failed add route
: 経路登録失敗

peer is not found(end)
: セッション情報の参照不可

protected-rekey-interval
: protected-rekey-interval によるパケット破棄

Invalid argument
: 引数の不正

Crypto operation failed
: 暗号／復号処理の失敗

Use IKEv1
: IKE version の不一致

Server going down
: サーバダウン

SA unusable
: IKE SA の使用不可（削除中など）

NAT mode mismatch
: NAT-Traversal 設定のミスマッチ

Temporary failure
: IKE SA が見つからない、またはネゴシエーションの衝突による失敗

Child SA not found
: 対象となる CHILD SA が見つからない

tunnel if is inactive
: Tunnel IF が無効

CP Payload has no internal address
: INTERNAL_IP4_ADDRESS または INTERNAL_IP6_ADDRESS が 1 つもない場合

P1 is deleted by peer
: ISAKMP SA の削除通知受信

P1 is deleted
: 自局からの ISAKMP SA の削除

Acct-on is incomplete yet
: radius サーバから Acct-on に対する Acct-resp を受信していない、またはタイムアウトが発生していない状態で、VPN ピアから新規接続（IKEv1 であれば Phase1-1st、IKEv2 であれば IKE_SA_INIT-req は受け付けて IKE_AUTH-1st-req）を受信した場合

Reset command
: reset コマンドにより失敗

can't create interface tunnel
: interface tunnel 生成の上限に達した

peer/local address version mismatch
　　宛先／送信元アドレスバージョン不一致の場合
Invalid payload type
　　ペイロードタイプの不正
Payload malformed
　　ペイロード異常
Payload lengths do not match
　　ペイロード長が不一致
peer address is assigned to local interface ip
　　Peer のアドレスが自局アドレスと一致
NAT-OA not found
　　NAT-OA ペイロードを受信しなかった場合
specified tunnel interface is already in use
　　指定された番号に対する Tunnel IF がすでに他のセッションで使用されている場合
session reject-duplicated-request
　　session reject-duplicated-request によるパケット破棄
NAT-T draft is not supported for transport mode
　　NAT-T draft で transport モードを提案してきた場合
tunnel if is shutdown
　　Tunnel IF が shutdown 状態
can't get interface tunnel information
　　interface tunnel 情報を取得できなかった場合
IPsec rules deleted
　　セレクタの設定が削除された
UDP port mismatch
　　受信した ISAKMP パケットの送信先ポートが不正
SIP session was deleted
　　紐付く SIP セッションが削除された
Radius authorization failed
　　Radius（情報取得機能）認証に失敗
Radius authorization timeout
　　Radius（情報取得機能）との通信タイムアウト
Tunnel-Password length is invalid
　　Radius（情報取得機能）から受信した pre-shared key が不正

%14= 内部エラー番号（表示されないこともあります）
%15= エラー番号

【メッセージ】

```
CRL request get %1 : %2
```

【プライオリティ】
　　LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

crypto pki crl request コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1=success/failed

%2=%1 が failed の場合の失敗原因（以下参照）

No certificate

指定した証明書がありません。

Distribution Point not found

証明書に CRL Distribution Point がありません。

can't get same CRL in 60 sec

CRL 取得処理を行って 60 秒経過していません。

60 秒経過後に再度取得してください。

【メッセージ】

```
IKE Tasktrace disable %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IKE Tasktrace のフィルタ機能が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= リモートピア情報

%2=disable に遷移した理由（以下参照）

Exec no command

no コマンド実行による無効

Expired specified period of time

規定時間経過による無効

Reached the prescribed number

規定回数フィルタにヒットしたことによる無効

Clear VRF

VRF が削除されたことによる無効

【メッセージ】

```
IKE Tasktrace enable %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

IKE Tasktrace のフィルタ機能が有効になりました。

【パラメタの意味】

%1= リモートピア情報

【メッセージ】

```
L2TP %1(%2/%3) %4 IPsec:%5 ID:%6/%7 R: %8
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

L2TPv3 Control connection/ セッションのネゴシエーションが失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=CC_F:Control connection の失敗
Se_F: セッションの失敗
%2=3:L2TPv3
%3=I:Initiator
R:Responder
%4=remote address:IP モード
remote address（remote UDP port 番号）：UDP モード
%5=IPsec tunnel 番号：L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号
---：L2TPv3 単体
%6/%7=ID 値
Control connection の場合：Responder/Initiator Control connection ID 値
session の場合：Responder/Initiator session ID 値
%8= ネゴシエーションが失敗した理由
Exec clear command
clear コマンドによりネゴシエーション終了
Received StopCCN packet
ピアからの StopCCN 受信によりネゴシエーション終了
Negotiation timeout
再送タイムアウトが発生

Not found Configuration
: ピアの設定がない

Tie Breaker
: Tie Breaker によりネゴシエーション終了

Exec refresh command
: refresh コマンドによりネゴシエーション終了

Received CDN packet
: ピアからの CDN 受信によりネゴシエーション終了

No Session
: セッションがなくなったためネゴシエーション終了

Old cc delete
: Control connection の reconnect によりネゴシエーション終了

Not found Message Digest AVP
: Message Digest AVP がない

Digest error
: ダイジェスト不一致

Remote host name mismatch
: Remote ホスト名不一致

Remote router id mismatch
: Remote ルータ ID 不一致

Sequencing mismatch
: sequencing 不一致

pw-type mismatch
: pw-type 不一致

Unsupported pw-type
: 未サポートの pw-type 受信

Unsupported message type
: 未サポートのメッセージタイプ受信

Received unexpected packet
: 期待しないメッセージタイプ受信

Decode error [xxxxxxxx]
: デコード失敗（[] 内は詳細エラーコード）

Not found Tie Breaker AVP
: Tie Breaker AVP がない

Tie Breaker in start
: SCCRQ/ICRQ 送信前に対向から SCCRQ/ICRQ を受信したため initiator ネゴシエーション終了

Expired negotiation timer
: ネゴシエーションのタイムアウトが発生

tunnel if is shutdown
: Tunnel IF が shutdown 状態

Delete local address
: 自局アドレスが削除されたことによる解放

Detected disconnection to NP
: NP とのコネクションが切れたため

Other reason

その他の理由

【メッセージ】

```
L2TP CC(%1/%2/%3) %4 P:%5 IPsec:%6 ID:%7/%8 %9
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

L2TPv3 Control connection を確立／削除しました。

【パラメタの意味】

%1=3:L2TPv3

%2=A: 確立

D: 削除

%3=I:Initiator として確立した connection

R:Responder として確立した connection

%4=remote address:IP モード

remote address（remote UDP port 番号）：UDP モード

%5=tunnel-profile 名

%6=IPsec tunnel 番号：L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号

---：L2TPv3 単体

%7/%8=ID 値

Responder/Initiator Control connection ID 値

%9= :Control connection 確立時（表示なし）

R:%10:Control connection 削除時

%10=Control connection 解放となった理由

Exec clear command

clear コマンドによる解放

Received StopCCN packet

ピアからの StopCCN 受信による解放

Send timeout

再送タイムアウトが発生

Error l2tpv3 in/out data to np

NP とのデータ通信失敗による解放

can't get if id data

if id data 取得失敗による解放

Error tunnel if up

tunnel if up 失敗による解放

Exec refresh command
　　refresh コマンドによる解放
Received CDN packet
　　ピアからの CDN 受信による解放
No Session
　　セッションがなくなったため Control connection 解放
Old cc delete
　　Control connection の reconnect による解放
Unsupported message type
　　未サポートのメッセージタイプ受信
Received unexpected packet
　　期待しないメッセージタイプ受信
Decode error [xxxxxxxx]
　　デコード失敗（[] 内は詳細エラーコード）
Expired negotiation timer
　　ネゴシエーションのタイムアウトが発生
Delete local address
　　自局アドレスが削除されたことによる解放
Detected disconnection to NP
　　NP とのコネクションが切れたため
Other reason
　　その他の理由

【メッセージ】

```
L2TP Se(%1/%2/%3/%4) %5 P:%6 IPsec:%7 ID:%8/%9 %10
```

【プライオリティ】
　　LOG_INFO

【ファシリティ】
　　LOG_DAEMON

【意味】
　　L2TPv3 Control connection/session を確立／削除しました。

【パラメタの意味】
　　%1=3:L2TPv3
　　%2=A: 確立
　　D: 削除
　　C: ステータス変化
　　%3=I:Initiator として確立した session
　　R:Responder として確立した session
　　%4=Act: セッションステータスが Active な session
　　Inact: セッションステータスが Inactive な session

%5=remote address:IP モード

remote address（remote UDP port 番号）：UDP モード

%6=pseudowire 名

%7=IPsec tunnel 番号：L2TPv3 over IPsec で使用する IPsec Tunnel 番号

---:L2TPv3 単体

%8/%9=ID 値

Responder/Initiator session ID 値

%10= : セッション確立時（表示なし）

R:%11: セッション削除、セッションステータス変化時

%11= セッション解放またはセッションステータス変化となった理由

以下、セッション解放となった理由

Exec clear command

clear コマンドによる解放

Received StopCCN packet

ピアからの StopCCN 受信による解放

Send timeout

再送タイムアウトが発生

Error l2tpv3 in/out data to np

NP とのデータ通信失敗による解放

can't get if id data

if id data 取得失敗による解放

Error tunnel if up

tunnel if up 失敗による解放

Exec refresh command

refresh コマンドによる解放

Received CDN packet

ピアからの CDN 受信による解放

No Session

セッションがなくなったため Control connection 解放

Old cc delete

Control connection の reconnect による解放

Old session delete

セッションの reconnect による解放

Unsupported message type

未サポートのメッセージタイプ受信

Received unexpected packet

期待しないメッセージタイプ受信

Decode error [xxxxxxxx]

デコード失敗（[] 内は詳細エラーコード）

Expired negotiation timer

ネゴシエーションのタイムアウトが発生

Destroyed Tunnel IF

interface tunnel 設定削除による解放

tunnel if is shutdown
　Tunnel IF が shutdown されたことによる解放
Delete local address
　自局アドレスが削除されたことによる解放
Detected disconnection to NP
　NP とのコネクションが切れたため
Other reason
　その他の理由

以下、セッションステータス変化となった理由
Received Circuit Status AVP
　Circuit Status AVP 通知による変化
Surveilled Interface was down
　監視インタフェースダウンによる変化
Surveilled Interface was up
　監視インタフェースアップによる変化
Exec set command-status command
　Command Status 変更コマンドによる変化
Other reason
　その他の理由

【メッセージ】

```
ngnd connection closed.
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_AUTH

【意味】
データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】
パラメタなし

【メッセージ】

```
ngnd connection established.
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_AUTH

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスの起動が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ST_F(I) %1/%2 failed standard query R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

ドメイン名が解決できないため、KE ネゴシエーション（イニシエーター）の開始に失敗しました。
crypto isakmp log negotiation-fail コマンドを設定している場合にのみ出力されます。

【パラメタの意味】

%1= ピアの domain 名

%2= ローカル IP アドレス。表示されない場合があります。

%3= 解決に失敗した理由

max-initiate reached

最大クエリ開始数に達している

max-pending reached

最大同時クエリ数に達している

timeout

DNS サーバへの問い合わせがタイムアウトした

no entry from DNS server

DNS サーバからエントリなしが返ってきた

can't resolved domain name from refresh

設定変更により問い合わせを中止した場合

【メッセージ】

```
ST_F(I) %1 failed to get peer address R: SIP negotiation fail
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SIP でのアドレス解決に失敗したため、IKE ネゴシエーションが失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名

【メッセージ】

```
ST_F(I) dvpn profile %1 (%2) failed to start negotiation
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

動的VPN 契機の IKE ネゴシエーションが失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=dvpn profile 番号

%2= 相手装置の SIP_ID

【メッセージ】

```
udp port %1 opened. retry
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

他プロセスがソケットをクローズするのを待っています。

【パラメタの意味】

%1=SIP ポート番号

第65章
データコネクト機能

この章では、データコネクト機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
malloc error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
socket error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
listen error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
accept error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
bind error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
connect error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
epoll_ctl error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
epoll_createl error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
epoll_wait error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
calloc error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
uwdt init error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
uwdt start error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
uwdt send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
uwdt continue error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーが発生した処理情報（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
lpmd connection closed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
QoS interface not found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【プライオリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクトパケットを送信するインタフェース情報が参照できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unexpected add response id=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

登録済み、削除済みの SIP セッションについて、確立、削除イベントが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP セッション ID

【メッセージ】

```
NGN connect limit over SIP profile %1 [charge=%2yen][time=%3]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通信料金制限によって、発信をキャンセルしました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名

%2= 現在の通信料金（円）

%3= 現在の発信による累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN connect limit over SIP user agent %1 [charge=%2yen][time=%3]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通信料金制限によって、発信をキャンセルしました。

【パラメタの意味】

%1=SIP user agent 番号（回線番号）

%2= 現在の通信料金（円）

%3= 現在の発信による累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
%1 deleted from %2 [SIP user agent %3]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP サーバから、データコネクトで用いる自局電話番号を削除しました。

（SIP サーバに障害が発生して REGISTER できない場合にも発生します。）

【パラメタの意味】

%1= 削除した自装置電話番号

%2= 削除した SIP サーバアドレス

%3=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
%1 registered to %2 [SIP user agent %3]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP サーバに対し、データコネクトで用いる自装置電話番号を登録しました。

【パラメタの意味】

%1= 登録した自装置電話番号

%2= 登録した SIP サーバアドレス

%3=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
aborted connect with %1 by peer:%2 [SIP user agent %3]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP セッションが確立前に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

%2= 切断理由コード

%3=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
aborted connect with %1 by self:%2 [SIP user agent %3]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP セッションが確立前に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

%2= 切断理由コード

%3=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
Calling timeout before 100Trying response
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP 発信が 100Trying 応答前にタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
connect established with %1(%2:%3) bandwidth= %4bps id=%5 [SIP user
agent %6]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP セッションが確立しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

%2= 相手装置の IPsec で使用する IP アドレス

%3= 相手装置の IPsec で使用する UDP ポート番号

%4= 利用帯域

%5= セッション ID

%6=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
Connection to %1 was failed by the one minute call restriction
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

前回発信失敗から1分以内での発信をキャンセルしました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

【メッセージ】

```
dhcp connection established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスの起動が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
disconnected %1. %2 -> %3 time=%4 charge=%5yen: %6 [SIP user agent %7]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP セッションが切断しました。

【パラメタの意味】

%1= セッション ID

%2= 切断元電話番号

%3= 切断先電話番号

%4= 接続時間

%5= 切断したセッションの通信料金

%6= 切断理由

%7=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
Duplicate call: Incoming call has priority
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

同じ相手に対する着信と発信が競合したため、着信を優先したことを通知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate call: New incoming call has been deleted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

着信相手からの着信が二重着信であり、新しい方の着信をキャンセルしたことを通知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate call: Old incoming call has been deleted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

着信相手からの着信が二重着信であり、古い方の着信をキャンセルしたことを通知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate call: Outgoing call has priority
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

同じ相手に対する着信と発信が競合し、発信を優先したことを通知しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Duplicate call: Session already exists
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

着信相手に対する確立済み、または切断中の SIP セッションがすでに存在します。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
isakmpd connection closed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスに異常が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
isakmpd connection established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスの起動が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
lpmd connection established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能に関連するプロセスの起動が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
NGN charge information is cleared. SIP profile %1 totalcharge=%2yen
totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

課金情報、累計接続時間をクリアしました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名

%2= クリア時の通信料金（円）

%3= クリア時の発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN charge information is cleared. SIP user agent %1 totalcharge=%2yen
totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

課金情報、累計接続時間をクリアしました。

【パラメタの意味】

%1=SIP user agent 番号（回線番号）

%2= クリア時の通信料金（円）

%3= クリア時の発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN charge exceeded warning threshold. SIP user agent %1
totalcharge=%2yen totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定した通信料金または通信時間の 80% に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP user agent 番号（回線番号）

%2= 通信料金（円）

%3= 発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN charge exceeded warning threshold. SIP profile %1 totalcharge=%2yen
totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定した通信料金または通信時間の 80% に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名

%2= 通信料金 (円)

%3= 発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)

dddd : 日数

hh : 時間

mm : 分

ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN charge exceeded limit. SIP user agent %1 totalcharge=%2yen
totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定した通信料金または通信時間に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP user agent 番号（回線番号）
%2= 通信料金（円）
%3= 発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)
dddd : 日数
hh : 時間
mm : 分
ss : 秒

【メッセージ】

```
NGN charge exceeded limit. SIP profile %1 totalcharge=%2yen totaltime=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

指定した通信料金または通信時間に到達しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名
%2= 通信料金（円）
%3= 発信累計接続時間 (dddd.hh.mm.ss)
dddd : 日数
hh : 時間
mm : 分
ss : 秒

【メッセージ】

```
ngn sip use disable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能が無効になりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ngn sip use enable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

データコネクト機能が有効になりました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Not found ngn sip profile
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

着信相手に対する ngn sip profile 設定が存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Radius accounting failed %1 R:Timeout
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Radius アカウンティング機能で Accounting start の送信が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 切断元電話番号

【メッセージ】

```
Radius authentication failed %1 R:%2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Radius 認証失敗によって、SIP セッションの確立が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 切断元電話番号

%2= 失敗理由

Auth failed

Radius 認証に失敗

Timeout

Radius サーバとの通信タイムアウト

Attribute error

Radius サーバから受信した attribute が不正

Tunnel-Password format error

Radius サーバから受信した Tunnel-Password のフォーマットが不正

Framed-Route format error

Radius サーバから受信した Framed-Route のフォーマットが不正

【メッセージ】

```
Radius authentication succeeded %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Radius 認証機能を用いて SIP セッションが確立しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

【メッセージ】

```
received connect from %1(%2:%3) [SIP user agent %4]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP 着信しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

%2= 相手装置の IPsec で使用する IP アドレス

%3= 相手装置の IPsec で使用する UDP ポート番号

%4=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
register could not be started R: %1 [SIP user agent %2]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

情報不足で REGISTER が開始できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=REGISTER が開始できなかった理由

Required information is missing "IP address"

IP アドレス未設定

Required information is missing "Tel number"

電話番号未設定

Required information is missing "SIP domain"

ドメイン名未設定

Required information is missing "SIP server address"

SIP サーバー未設定

%2=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
SIP ipv4 is not supported
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IPv4 での SIP 着信を拒否しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SIP profile %1 is incoming-call disable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

着信抑制機能によって、着信を拒絶しました。

【パラメタの意味】

%1=SIP プロファイル名

【メッセージ】

```
start connect to %1 [SIP user agent %2]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

SIP 発信しました。

【パラメタの意味】

%1= 相手電話番号

%2=SIP user agent 番号（回線番号）

【メッセージ】

```
udp port %1 opened. retry
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

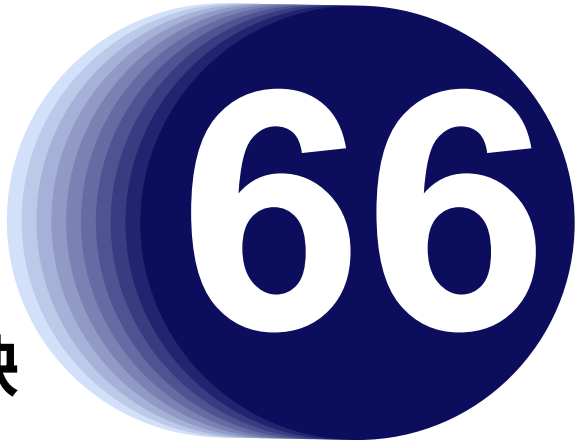
【意味】

他プロセスがソケットをクローズするのを待っています。

【パラメタの意味】

%1=SIP ポート番号

第66章 データコネクト機能の設定反映



この章では、データコネクト機能の設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
aaa accounting ngn-sip is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで aaa accounting ngn-sip 設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなったモード名

%2= 設定エラーとなった理由

server-group name is invalid

指定した認証グループ名が存在しない場合

【メッセージ】

```
aaa authentication ngn-sip is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで aaa authentication ngn-sip 設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなったモード名

%2= 設定エラーとなった理由

server-group name is invalid

指定した認証グループ名が存在しない場合

【メッセージ】

```
aaa group server radius %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで aaa group server radius 設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった認証グループ名

%2= 設定エラーとなった理由

The server-private ip type is not matched with primary

サーバアドレスに IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を指定している場合

The server-private is invalid

radius サーバの設定がない場合

link-local cannot be used as server-private

サーバアドレスに ipv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

link-local cannot be used as source-address

ソースアドレスに ipv6 リンクローカルアドレスを指定した場合

The source-address ip type is not matched

ソースアドレスとサーバアドレスのバージョンが一致しない場合

【メッセージ】

```
ngn sip agent %1 "user, proxy, registrar" is invalid M: global R: ngn
sip agent %2 is not manually
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで ngn sip agent 関連設定が無効となりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった設定が書かれた ngn sip agent 番号

%2= 無効となった設定が書かれた ngn sip agent 番号

【メッセージ】

```
ngn sip agent %1 is invalid M: %2 R: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで ngn sip agent が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった ngn sip agent 番号

%2= 設定エラーとなったモード名

%3= 設定エラーとなった理由

there is not ipv4 setting

manual オプション指定時、IPv4 に関する必要設定が足りていない場合

there is not ipv6 setting

manual オプション指定時、IPv6 に関する必要設定が足りていない場合

ipv6 user is invalid

manual オプション指定時、IPv4 と IPv6 の電話番号が異なる場合

ipv6 domain is invalid

manual オプション指定時、IPv4 と IPv6 の SIP ドメインが異なる場合

local-key ngn-sip is invalid

local-key ngn-sip tunnel-password が設定されていて、かつ set peer 設定で sip-profile か sip-radius が設定されていなかった場合

【メッセージ】

```
ngn sip agent %1 is invalid M: %2 R: ngn sip agent %3 bind port-channel
is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ngn sip agent 設定で bind port-channel 設定がないため、設定エラーで ngn sip agent が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった ngn sip agent 番号

%2= 設定エラーとなったモード名

%3= 無効となった ngn sip agent 番号

【メッセージ】

```
ngn sip profile %1 is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで ngn sip profile が無効になりました。起動時の証明書・鍵ペアインポート処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった ngn sip profile 名

%2= 設定エラーとなったモード名

%3= 設定エラーとなった理由

remote telephone number is duplicated

指定した電話番号が他の ngn sip profile 設定モードで指定されていた場合

remote telephone number is invalid

ngn sip profile 設定モードで相手電話番号設定がない場合

【メッセージ】

```
ngn sip profile-radius is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで ngn sip profile-radius が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなったモード名

%2= 設定エラーとなった理由

password is invalid

ngn sip radius-profile 設定モードで password が設定されていない場合

ngn sip radius acct is invalid

RADIUS アカウンティング設定が無効な状態で accounting 設定を行った場合

aaa authentication ngn-sip is invalid

ngn sip profile-radius 設定があり、aaa authentication ngn-sip 設定がない場合

【メッセージ】

```
ngn sip radius acct is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで RADIUS アカウンティング設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなったモード名

%2= 設定エラーとなった理由

aaa accounting ngn-sip is invalid

指定したアカウンティング方式名が aaa accounting ngn-sip 設定で指定されたアカウント方式名と異なる場合

ngn sip radius acct is invalid

aaa accounting ngn-sip 設定がされており、ngn sip radius acct 設定がない場合

【メッセージ】

```
ngn sip radius auth is invalid M: %1 R: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーで RADIUS 認証設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= 設定エラーとなったモード名

%2= 設定エラーとなった理由

aaa authentication ngn-sip is invalid

指定した認証方式名が aaa authentication ngn-sip 設定で指定された拡張方式名と異なる場合

ngn sip radius auth is invalid

aaa authentication ngn-sip 設定がされており、ngn sip radius auth 設定がない場合

【メッセージ】

```
server-private %1 is invalid M: aaa group server radius %2 R: servers
reached the maximum
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

radius サーバの設定が 3 つ以上あります。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった RADIUS サーバのアドレス

%2= 無効となった RADIUS サーバを設定した認証グループ名

第67章 report-all取得

この章では、report-all取得に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1:Error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

コマンド実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー発生コマンド

【メッセージ】

```
%1:file open error=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

一時ファイルオープンエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=ファイル名

%2=オープンエラー原因

【メッセージ】

```
%1:no requires file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

一時ファイル作成エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=ファイル名

【メッセージ】

```
[%1]L.[%2]:format_error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

etc/repall.rep のフォーマットエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= フォーマットエラー発生ライン数

【メッセージ】

```
command error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

report-all の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Can't reopen ftp.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

FTP 転送エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Can't transfer(put) ftp.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

FTP 転送エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
execl gzip error=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

execl gzip エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=execl エラー原因

【メッセージ】

```
execv failed [%1] error=%2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

execv エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー発生コマンド

%2=execv エラー原因

【メッセージ】

```
file pass nothing.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

保存ファイル取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fork error=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

fork エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=fork エラー原因

【メッセージ】

```
header file nothing=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

header ファイル作成エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
pipe error=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

pipeエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=pipeエラー原因

【メッセージ】

```
report-all tar file make error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tarファイル作成エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
tar directory make error=%1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

tarファイル作成用ディレクトリの作成エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
The request to %1 has been time out.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

他モジュール情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= モジュール名

【メッセージ】

```
waitpid error=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

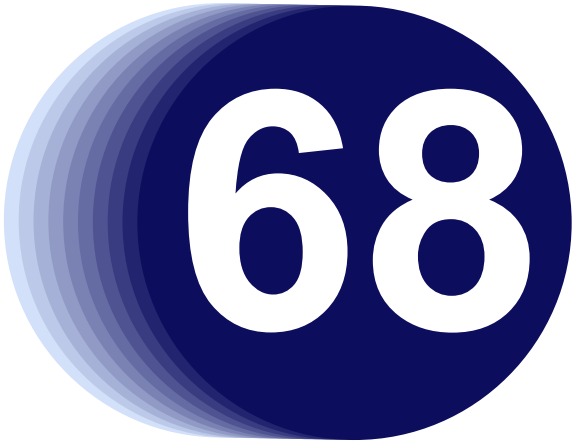
【意味】

waitpid エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=waitpid エラー原因

第 68 章
DNS の設定反映



この章では、DNS の設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ip name-server' exceeds max configurations (3) - ignored: 'ip name-
server %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

name-server のエントリ数が最大数 (3) を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった name-server のアドレス

【メッセージ】

```
ip name-server' VRF interface is not supported - ignored: 'source-inter-
face %s
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

resolver では未サポートの VRF interface を source-interface に指定しました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった source-interface 名

第69章 Router Advertisement

この章では、Router Advertisementに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 overlaps with %2 (IPv6 RA configuration)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定されたインタフェースアドレスと競合するため、RAによるインタフェースアドレスを無効にしました。

【パラメタの意味】

%1=RAでアドレスを設定していたインタフェース名

%2=アドレス情報

【メッセージ】

```
Can't load shared library. Process exited
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有ライブラリの読み込みに失敗したため、プロセスを終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot set IPv6 address (IPv6 RA configuration) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RAから生成したアドレスをインタフェースに設定できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
function time error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

現在時刻の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Illegal configuration (IPv6 RA configuration ns-interval) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6 nd send-ra と ipv6 nd receive-ra を同時に設定しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Illegal configuration (IPv6 RA configuration reachable-time) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6 reachable-time-receive-enable と ipv6 nd reachable-time を同時に設定しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Illegal configuration (IPv6 RA configuration) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6 nd send-ra と ipv6 nd receive-ra を同時に設定しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
RA cooperated with VRRP is supported on the interface without IPv6
global virtual address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP と連携した RA は、IPv6 グローバル仮想アドレスなしのインタフェース上でのみサポートされます。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The maximum number of active prefixes reached %1 %2 (IPv6 RA
configuration)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RA の prefix オプション数が最大エントリ数を超えています。

【パラメタの意味】

%1=RA を受信したインタフェース名

%2=RA を送信したルータのアドレス情報

【メッセージ】

```
The maximum number of active routers reached (IPv6 RA configuration)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RA の最大エントリ数以上のルータから RA を受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ValidLifetime must be greater than PreferredLifetime %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6 nd prefix-advertisement 設定で、Valid lifetime を Preferred lifetime よりも長く設定しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

第70章 ソフトウェアネットワークスタック

この章では、ソフトウェアネットワークスタックに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: arp: link address is broadcast for IP address %2!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

arp パケット受信処理で、送信元アドレスが装置内インタフェースのブロードキャストアドレスでした。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=IP アドレス

【メッセージ】

```
%1: DAD complete for %2 - duplicate found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD 処理で、重複が検出され、処理が完了しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=重複したアドレス情報

【メッセージ】

```
%1: DAD detected duplicate IPv6 address %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD 処理で、重複が検出されました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=重複したアドレス情報

【メッセージ】

```
%1: failed to set scope %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

neighbor情報の更新処理で、スコープの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=関数名

%2=インタフェース名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
%1: manual intervention required
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD処理で、重複が検出され、処理が完了しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
%1: possible hardware address duplication detected, disable IPv6
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD 処理で、linklocal アドレスの重複が検出されました。しかし、該当インタフェースでは、IPv6 が無効でした。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
defrouter_select: more than one router is installed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

default route list 登録処理で、すでに登録されていました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
duplicate IP address %1 sent from link address %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

arp パケット受信処理で、送信元アドレスが自装置のアドレスと重複しています。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

%2=MAC アドレス

【メッセージ】

```
ICMP:  redirect failed to register timeout for route to %1, code %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

学習したリダイレクト経路の timer 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
in6_addprefix: %1/%2 is already on-link
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix list の登録処理で、すでに登録されていました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス情報

%2=prefix 長

【メッセージ】

```
in6_addprefix: %1/%2 is already on-link
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix list の登録処理で、すでに登録されていました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス情報

%2=prefix 長

【メッセージ】

```
in6_are_prefix_equal: invalid prefix length(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix 登録処理で、パラメタ異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 長さ情報

【メッセージ】

```
in6_cloning_init: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

アドレス情報登録処理で、マルチキャストアドレスの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= マルチキャストアドレス

%2= インタフェース名

%3= エラー番号

【メッセージ】

```
in6_ifloop_request: %1 operation failed for %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの登録・削除処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= オペレーション名

%2= アドレス情報

%3= エラーコード

【メッセージ】

```
in6_prefixlen2mask: invalid prefix length(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix 登録処理で、パラメタ異常が発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 長さ情報

【メッセージ】

```
in6_prelist_add: nd6_prelist_add succeeded but no prefix
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix list の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
in6_purgeaddr: failed to remove a route to the p2p destination: %1 on
%2, errno=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
in6_update_ifa: in6_setscope failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ipvpn6_cloning_init: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

アドレス情報登録処理で、scope の情報登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
ipvpn6_ifloop_request: %1 operation failed for %2 vrfid %3 (errno=%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの登録・削除処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=オペレーション名

%2=アドレス情報

%3=VRFID

%4=エラーコード

【メッセージ】

```
ipvpn6_prelist_add: nd6_prelist_add succeeded but no prefix
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix listの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ipvpn6_purgeaddr: failed to remove a route to the p2p destination: %1 on
%2, errno=%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
ipvpn6_update_ifa: in6_setscope failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースのアドレス情報の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Mask for route not entered
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路のマスク情報が登録できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nd6_dad_duplicated: DAD structure not found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD処理で、重複が検出されましたが、チェック処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nd6_dad_start: memory allocation failed for %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD処理で、メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
nd6_dad_timer: called with duplicate address %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD処理で、重複したアドレスが呼び出されました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
nd6_dad_timer: called with non-tentative address %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD処理で、仮アドレスではないアドレスが呼び出されました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
nd6_dad_timer: called with null parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

DAD のタイマ処理で、不正なパラメタ処理が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nd6_na_input: duplicate IP6 address %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

NA の受信処理で、自装置で持っているアドレスと同じアドレスが通知されました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

【メッセージ】

```
netlink:control table add fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

netlink socket の作成で、管理テーブルの追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
netlink:resend que add fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

netlink socket の送信処理で、再送キューへの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Non-unique normal route, mask not entered
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路の登録ができませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
prelist_update: IFID undefined (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix list の更新処理で、IFID が不正でした。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
rn_addmask: mask impossibly already in tree
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路登録処理で、同一マスクのエントリがすでに存在していたため、登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rn_delete: couldn't find our annotation
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路の削除処理で、経路情報のパラメタが正しくありませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rn_delete: couldn't find us
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路の削除処理で、対象経路の特定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rn_delete: inconsistent annotation(rm_refs)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路の登録ができませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rn_delete: inconsistent annotation
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路の登録ができませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rn_init: radix functions require max_keylen be set
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

経路検索用キー最大長がセットされていないため、初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rtpref: impossible RA flag %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

サポート外の RA フラグ情報を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
scope error in prefix list (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

sysctl による prefix list 追加処理で、scope の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス情報

【メッセージ】

```
scope error in router list (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

sysctl による default router 追加処理で、scope の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

【メッセージ】

```
TCP: Invalid MD5 digest from %1(%2) to %3(%4) vrfid %5
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

受信したTCPパケットのMD5認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=送信元アドレス

%2=送信元ポート番号

%3=宛先アドレス

%4=宛先ポート番号

%5=VRF ID

【メッセージ】

```
TCP: Invalid MD5 digest from %1(%2) to %3(%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

受信したTCPパケットのMD5認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=送信元アドレス

%2=送信元ポート番号

%3=宛先アドレス

%4=宛先ポート番号

【メッセージ】

```
TCP: invalid wscale %1 from %2, assuming %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

TCP パケットのオプション処理で、不正なウィンドウサイズが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=要求されたウィンドウサイズ

%2=送信元アドレス

%3=受け入れ可能なウィンドウサイズ

【メッセージ】

```
TCP: No MD5 digest from %1(%2) to %3(%4) vrfid %5
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

受信した TCP パケットに MD5 のオプションが付加されていないか、受信ソケットに MD5 オプションの設定がされていません。

【パラメタの意味】

%1=送信元アドレス

%2=送信元ポート番号

%3=宛先アドレス

%4=宛先ポート番号

%5=VRF ID

【メッセージ】

```
TCP: No MD5 digest from %1(%2) to %3(%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

受信したTCP パケットにMD5 のオプションが付加されていないか、受信ソケットにMD5 オプションの設定がされていません。

【パラメタの意味】

%1=送信元アドレス

%2=送信元ポート番号

%3=宛先アドレス

%4=宛先ポート番号

【メッセージ】

```
The number of system calls that were called simultaneously exceeded the
threshold.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

同時に実行されるシステムコールの数がしきい値を超えました。多数のシステムコールが実行され、装置が応答しにくくなっている可能性があります。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
arp from %1: addr len: new %2, i/f %3 (ignored)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

IF のアドレス長とリンクアドレス長が一致しません。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

%2= リンクアドレス長

%3= インタフェースのアドレス長

【メッセージ】

```
arp from %1: new addr len %2, was %3
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

リンクアドレス長が変化しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス
%2=新リンクアドレス長
%3=旧リンクアドレス長

【メッセージ】

```
defrtrlist_del: negative count on %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

default route list の解放処理で、リファレンスカウントが不正です。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
in6_update_ifa: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースアドレスの multicast join に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報
%2=インタフェース名
%3=エラーコード

【メッセージ】

```
ipvpn6_update_ifa: addmulti failed for %1 on %2 (errno=%3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースアドレスの multicast join に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報
%2=インタフェース名
%3=エラーコード

【メッセージ】

```
prelist_remove: negative count on %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

prefix list の解放処理で、リファレンスカウントが不正です。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
Warning: too many(>1024) ip address on %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

1つのインタフェースで設定されたアドレス数が1024を超えています。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

【メッセージ】

```
nd6_init called more than once(ignored)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

nd6の初期化処理が複数回呼び出されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nd6_setmtu0: new link MTU on %1 (%2) is too small for IPv6 which needs
%3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

MTUの設定で、設定値が異常でした。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=設定されるmtu値

%3=IPv6の最少mtu値

【メッセージ】

```
ppp_l2tpv3_output: recursively called too many times(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

パケット送信で、L2TPv3 のカプセル化処理を 2 回以上要求されました。

【パラメタの意味】

%1= 要求回数

【メッセージ】

```
prefix ioctls are now invalidated. please use ifconfig.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

インタフェースの prefix の操作に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1 on %2 tried to overwrite arp info for %3 on %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

arp パケット受信処理で、不正なインタフェースからパケットを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=MAC アドレス

%2= インタフェース名

%3=IP アドレス

%4= 元インタフェース名

【メッセージ】

```
%1 tried to overwrite permanent arp info for %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

スタティック ARP の上書きが試みられました。

【パラメタの意味】

%1=MAC アドレス

%2=IP アドレス

【メッセージ】

```
arp info overwritten for %1 by %2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

ARP の上書きが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

%2=MAC アドレス

【メッセージ】

```
Connection attempt to TCP %1:%2 from %3:%4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

不正な TCP 接続がありました。

【パラメタの意味】

%1=宛先 IP アドレス
%2=宛先ポート番号
%3=送信元 IP アドレス
%4=送信元ポート番号

【メッセージ】

```
Connection attempt to TCP [%1]:%2 from [%3]:%4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

不正な TCP 接続がありました。

【パラメタの意味】

%1=宛先 IPv6 アドレス
%2=宛先ポート番号
%3=送信元 IPv6 アドレス
%4=送信元ポート番号

【メッセージ】

```
in6_ifadd: %1 is already configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

アドレス登録処理で、アドレスが重複しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

【メッセージ】

```
udp6_output: IPV6_V6ONLY option was set for a connected socket
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_KERN

【意味】

UDP パケット送信処理で、IPv6 限定ソケットにもかかわらず、MAPDV4 アドレスが使われました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第71章 ソフトウェアネットワークスタックAPI

この章では、ソフトウェアネットワークスタックAPIに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: malloc fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

【メッセージ】

```
%1: socket open error:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー番号

【メッセージ】

```
%1: send error %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー番号

【メッセージ】

```
%1: select timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知応答待機がタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

【メッセージ】

```
%1: select error(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知応答待機がエラー終了しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー種別

【メッセージ】

```
%1: recv invalid nld massage(kind:%2, type:%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受信メッセージの異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知種別

%3=通知タイプ

【メッセージ】

```
%1: Couldn't get vpidNum(%2) %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リソース（vpid 数）を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー種別

%3=エラーステータス（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
%1: Couldn't get vpid(%2) %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リソース (vpid) を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー種別

%3=エラーステータス（出力されない場合もあります）

【メッセージ】

```
%1: internal error: socket open fail(nld)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

【メッセージ】

```
%1: internal error: connect fail(nld)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました（nld 接続に失敗）。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

【メッセージ】

```
%1: getsockopt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケット設定処理でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

【メッセージ】

```
select failed (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

受送信処理待機がエラー終了しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
nld: socket bind error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

バインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
%1: netlink_read: error msg recv %2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

リンクメッセージの受信処理でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラー種別

%3=メッセージタイプ

【メッセージ】

```
strtoul(%1) error %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

数値への変換（strtoul）でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1=エラー種別

%2=エラーステータス（表示されない場合があります）

【メッセージ】

```
Attached Shared Memory failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有メモリの接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: recv invalid message kind(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知の内容に異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=通知種別

【メッセージ】

```
%1: recv invalid type(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

通知の内容に異常を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

%2= 通知タイプ

【メッセージ】

```
NAT ARP: already exist.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NAT ARP 連携機能で ARP 応答する NAT 設定の変換前アドレスが重複しています。

ip nat inside destination 設定を見直し、いったんコンフィグをクリアして再度設定を行ってください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 72 章 暗号化処理プロセッサのログ収集

この章では、暗号化処理プロセッサのログ収集に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ERROR: espse_valid_switch is blockid range(VALID_CHNG)
ERROR: espse_valid_switch is address point of NULL(VALID_CHNG)!
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
espse unknown rh crypto:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
espse unknown ecode:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
OCT_PHASE_POSF_IPSEC ERR:%1 = mpsa_dstip_make()
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポストフラグメント暗号化でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
OCT_PHASE_POSF_IPSEC ERR:%1 = sa->s.com.func()
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ポストフラグメント暗号化でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
phase error packet:%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
WRN:application_main: Illegal phase no(%1) exist.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

第73章
アクセスリスト表示

この章では、アクセスリスト表示に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Assertion error (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【メッセージ】

```
Assertion error %1 > %2 (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

プロセスが不正な状態になったことを検知しました。

【パラメタの意味】

%1= 必要なバッファサイズ

%2= 残りのバッファサイズ

%3= メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【メッセージ】

```
Compression is failed %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

show で表示するデータの圧縮処理中にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 不正な状態を示している内部パラメタ

%2= メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

【メッセージ】

```
Decompression is failed %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

show で表示するデータの伸長処理中にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 不正な状態を示している内部パラメタ

%2= メッセージを出力しているソースコードファイル中の位置の識別子

第 74 章
SNMP 機能の設定反映

この章では、SNMP 機能の設定反映に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 open error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
auth passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

必須文字数に満たない認証パスワードによる問い合わせがありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get {included|excluded}
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセス情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Access-List
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Auth-protocol
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証方式の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Auth-PWD
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証パスワードの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get EngineID
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

エンジン ID の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Group-name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グループ名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get IP-Address or HostName
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IP アドレスまたはホスト名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get OID
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

OIDの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Priv-PWD
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

暗号化パスワードの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get Read View-name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

読み取り可能ビューの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get SecurityLevel
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セキュリティレベルの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
couldn't get User-name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
execv failed(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

処理の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
FORK ERROR
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

フォーク処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
priv passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

必須文字数に満たない暗号化パスワードによる問い合わせがありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rename failed(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

リネーム処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー番号

【メッセージ】

```
snmp-server host' configurations are not allowed - ignored: 'snmp-server
host %1 username %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

snmp-server host コマンドの設定不整合を検出しました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレスまたはホスト名

%2= ユーザ名

【メッセージ】

```
snmp_ap:%1 open error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
snmp_file_open error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
undefined Auth Protocol %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義の認証方式による問い合わせがありました。

【パラメタの意味】

%1= 認証方式名

第75章 SNMP エージェント

この章では、SNMP エージェントに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Can't find %1 in %2's children
```

【プライオリティ】

LOG_EMERG

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tbuckets のフリー処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Can't find %1 in tbuckets
```

【プライオリティ】

LOG_EMERG

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tbuckets の検索に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
ds_handle_config *** no registration for %1
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ds_handle_config で type が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
ds_handle_config *** unknown type %1
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ds_handle_config で type が不正です。

【パラメタの意味】

%1=type

【メッセージ】

```
'snmp-server host' exceeds max configurations (%1) - ignored: 'snmp-
server host %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

snmp-server host のエントリ数が最大数を超えました。

【パラメタの意味】

%1=最大エントリ数

%2=無効となった snmp-server 名

【メッセージ】

```
%1 (%2): At line %3 in %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

%4= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 (EOF): At line %2 in %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: At line %2 in %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: line %2: Error: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: _sess_open do not have get host by name - cannot resolve %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信の open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
%1:%2: _sess_open invalid session name %3- unix sockets not supported
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部通信の open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
/dev/mem
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[get_fe1macaddress(): covert fail("%1")]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ipv6AddrType 値の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 変換に失敗した文字列

【メッセージ】

```
[init_smux] bind failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[init_smux] listen failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[init_smux] setsockopt(SO_KEEPALIVE) failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[init_smux] setsockopt(SO_REUSEADDR) failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[init_smux] socket failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_accept] accept failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_accept] denied peer on fd %1, limit %2 reached
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
[smux_process] malloc
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux処理でメモリ不足が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_rreq_process] malloc
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux処理でメモリ不足が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_snmp_process] peek failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smuxの受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_snmp_process] recv failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smuxの受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_snmp_process] send failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smuxの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_snmp_close] send failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の close 処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
[smux_snmp_process]: smux_build failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux データの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
<%1> setrlimit error %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスのリソースリミットの制御に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用関数名

%2= エラー内容

【メッセージ】

```
auto_nlist failed on %1 at location %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nlist 作成で値が不正です。

【パラメタの意味】

%1=値

%2=autonlist_value() の戻り値

【メッセージ】

```
Accessing non-nlisted variable: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nlist 作成で値が不正です。

【パラメタの意味】

%1=値

【メッセージ】

```
bad mask
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なマスクが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad mask length
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なサイズのマスクが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad msg type in vacm_in_view: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

snmp での要求タイプが異常です。

【パラメタの意味】

%1= タイプ

【メッセージ】

```
bad prefix match parameter "0", should be: exact or prefix - installing
anyway
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なプレフィックスが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad prefix match parameter, should be: exact or prefix
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なプレフィックスが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad security level (noauthnopriv, authnopriv, authpriv)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なセキュリティレベルが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad security model "any" should be: v1, v2c or usm - installing anyway
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なセキュリティモデル "any" が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad security model (any, v1, v2c, usm)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なセキュリティモデルが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad security model, should be: v1, v2c or usm
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セキュリティモデルが不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad source address
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な送信元アドレスが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad SUBTREE object id
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サブツリーのオブジェクト ID が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad type returned (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux の解釈で不正な type を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=type 値

【メッセージ】

```
Bad source interface specified(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信元インタフェースに不正なインタフェースを設定しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
community name too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コミュニティ名の文字数が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error generating auth key from pass phrase.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パスワードからの認証キー生成でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error generating localized auth key (Kul) from Ku.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Kuからのローカル認証キー生成でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error generating localized priv key (Kul) from Ku.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Kuからのローカル暗号化キー生成でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error generating priv key from pass phrase.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パスワードからの暗号化キー生成でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error getting proper key length for priv algorithm.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

暗号化アルゴリズムによる適正なキー長の取得でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error in add_ipv6addr_entry with ifIndex:%1<%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

取得したIPv6アドレスのTable格納に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗したときのifIndex

%2=失敗したときのifDescr

【メッセージ】

```
Example config COMMUNITY not properly configured
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

COMMUNITY設定が適正ではありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Example config NETWORK not properly configured
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NETWORK設定が適正ではありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to create access entry
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスエントリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to create group entry
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グループエントリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to create view entry
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ビューエントリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fopen
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PID ファイルの open に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to create the persistent directory for %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報の再構築に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
Failure in if_id_data_lookup: (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信元インタフェース情報の検索処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
get fail ipv6Addr with ifindex:%1<%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 アドレスの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 取得に失敗した ifIndex

%2= 取得に失敗した ifDescr

【メッセージ】

```
getifaddrs errno=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部処理が異常終了しました（getifaddrs 関数）。

【パラメタの意味】

%1= エラー番号

【メッセージ】

```
if_getifnet err IPV6ADDRSTATUS
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifnet 取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ifam_addr: not RTM_NEWADDR
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 アドレス取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ifam_addr: rt_xaddrs err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 アドレス取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ifam_netmask: not RTM_NEWADDR
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 ネットマスク取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ifam_netmask:rt_xaddrs err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 ネットマスク取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
init_kmem: kvm_open failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
init_kmem: kvm_openfiles failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の open に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
init_master_agent: %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SNMP エージェントの初期化処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SNMP エラーメッセージ

%2= システムエラーメッセージ

【メッセージ】

```
invalid EngineID argument to -e
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なエンジン ID が -e オプションで指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid engineID specifier
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なエンジン ID が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid localized user key
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なローカルユーザキーが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid MASK
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MASKが不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid name specifier
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効な名称が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid user key
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なユーザキーが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl err SIOCGIFAFLAG_IN6: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctlエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ioctl nbi err: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctlデータ取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
klookup
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
klookup(%1, %2, %3):
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の read に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
klread
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
klseek
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
kvm_close:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) のデータベース close に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
kvm_openfiles error:%1 :%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) のメモリアクセス初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
kvm_read(*, %1, %2, %3) = %4: %5"
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

kmem の read に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

%4= 内部情報

%5= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
kvm_read1: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) のポインタ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
kvm_read3:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) のポインタ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
kvm_read4:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) の ifindex2ifnet 値の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
length error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

OID 長が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
malloc to store ifindex2ifnet[]:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

malloc に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
memory error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ操作でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing COMMUNITY parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パラメタに指定されたコミュニティ名にアクセスできません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing CONTEXT parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないコンテキスト名が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing GROUP parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないグループ名が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing LEVEL parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないレベルが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing MODEL parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないモデル名が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing notifyView parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできない notifyView が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing NAME parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セキュリティ名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing PREFIX parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないプレフィックスが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing readView parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできない readView が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing SECURITY parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできないセキュリティ名が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing SOURCE parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SOURCE パラメタの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing SUBTREE parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできない SUBTREE が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing TYPE parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできない TYPE が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
missing writeView parameter
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスできない writeView が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Malloc failed - out of memory?
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Maximum packet size exceeded in a request.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PDU の構文解析で最大パケットサイズを超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Maximum saved packet size exceeded.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PDU の構文解析で最大パケットサイズを超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
MASK too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MASK 長が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nlist
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nlist 作成で値が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nlist err: neither %1 nor _%2 found.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

nlist 作成で値が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
no authentication pass phrase
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの読み込みで、認証パスワードのパラメタ解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
no namelist
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ifIndex 処理時 (next_if_index) のデータベースアクセスに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
not a valid user/engineID pair
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

無効なユーザ名とエンジン ID の組合せが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
notifyView too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

通知ビューの文字数が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
out of memory allocating ifnet with ifIndex:%1<%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv4 アドレス格納用の malloc 処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗したときの ifIndex

%2= 失敗したときの ifDescr

【メッセージ】

```
out of memory allocating in_ifaddr with ifIndex:%1<%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv4 アドレス格納用の malloc 処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗したときの ifIndex

%2= 失敗したときの ifDescr

【メッセージ】

```
out of memory allocating interface information<ipv6_addr>: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

malloc エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
out of memory allocating ipAddrTable
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv4 AddrTable の領域確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
out of memory allocating ipv6AddrTable
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 AddrTable の領域確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
out of memory allocating route table
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
out of memory allocating sockaddr_in6 with ifIndex:%1<%2>
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 アドレス格納用の malloc 処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗したときの ifIndex

%2= 失敗したときの ifDescr

【メッセージ】

```
readView too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

読み取りビューの文字数が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Response Message(reqid %1, errstat %2, erridx %3) is too big(%4 octets)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

応答メッセージのサイズが大きすぎて送信できませんでした。

【パラメタの意味】

%1= 応答メッセージの request-id
%2= 応答メッセージの error-status
%3= 応答メッセージの error-index
%4= 応答メッセージの長さ

【メッセージ】

```
RTAX_IFA: N/A
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 アドレス取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
RTAX_NETMASK: N/A
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 ネットマスク取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
sa_family: N/A
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IPv6 ネットマスク取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
security name too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セキュリティ名の文字数が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

select 処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select returned %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

select処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=selectの戻り値

【メッセージ】

```
setting key failed (in sc_genKu())
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

キーの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
setup_engineID malloc
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

エンジンID設定時のメモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
smux_accept: setsockopt SO_RCVTIMEO
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
smux_parse_peer_auth: malloc
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

smux解釈時のメモリ取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
snmp_copy_varbind error: %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VarBindのコピー処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SNMP エラーメッセージ

%2= システムエラーメッセージ

【メッセージ】

```
snmp_save_varbase failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの保存に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
snmpd: create_trap_session: %1(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Trap 送信用セッションの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SNMP エラーメッセージ

%2= システムエラーメッセージ

【メッセージ】

```
snmpd: failed to parse this line or the remote trap receiver is down.
Plausible cause:
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

snmpd がコマンド文字列の解析に失敗しました、または TRAP 送出先の TRAP レシーバープロセスが異常です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket open error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケット open エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
something seriously wrong, packet size calculations are negative.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PDU の構文解析で長さが不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
source/mask mismatch
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

送信元とマスクの組合せが適切ではありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
sysctl buf err: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl データ取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sysctl get fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
sysctl get fail<ipv6_addr>: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sysctl len err<ipv6_media>: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sysctl malloc err<ipv6_media>: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

malloc エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
socket open err: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケット open エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
sysctl size fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
sysctl size fail<ipv6_addr>: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

sysctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Server Exiting with code %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

snmpd が終了しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
SourceAddress bind error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TRAP の送信元 IP アドレスの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TCP_Count_Connections - inpcb
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

inpcb の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TCP_Count_Connections - tcpcb
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

tcpcb の参照に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TYPE must be included/excluded?
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TYPE が "included" または "excluded" 以外です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ucd-snmp: %1 error(s) in config file(s)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部で生成した設定情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= エラー数

【メッセージ】

```
uwdt_heartbeat error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtとの通信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_init error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt_start error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Unexpected index type: %1 %2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

OID の型が不正です。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Unknown authentication protocol
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義の認証方式での問い合わせがありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Unknown authentication type
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義の認証方式が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Unknown EngineID type requested for setup (%1).  Using IPv4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義のエンジン ID タイプが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= エンジン ID タイプ

【メッセージ】

```
Unknown privacy protocol
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの読み込みで、未定義の暗号化方式が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Unknown privacy type
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義の暗号化方式が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Unknown security level: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義のセキュリティレベルが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=セキュリティレベル

【メッセージ】

```
Unknown version specification
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未定義のバージョン指定がありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Unsupported enginedIDType, forcing IPv4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定ファイルの読み込みで、未定義のエンジン ID タイプが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
writeView too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

書き込みビューの文字数が最大値を超えています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1 get stat error :%2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス情報ファイルのステータス取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス情報ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ipaddr table reload fail
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

キャッシュした IPv4 アドレステーブルのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ipv6addr table reload fail
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

キャッシュしたIPv6アドレステーブルのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Warning: passphrase chosen is below the length requiremnts of the USM.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

必須文字数に満たない文字数のパスワードで問い合わせを受けました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
connection refuse because accesslist check error
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SNMPD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否されました。

【パラメタの意味】

%1= アクセスリスト番号

%2= プロトコル番号

%3= 問い合わせ送信元アドレス

【メッセージ】

```
Bad community specified (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定されているコミュニティ名と異なった値で問い合わせを受けました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス

【メッセージ】

```
Denied in ACL (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

該当アクセスリストの設定に従って要求を拒否しました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス

【メッセージ】

```
Failure in ACL check (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

該当アクセスリストの確認に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス

【メッセージ】

```
Generic error (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定不足などによって、正しく値を返せない状態で問い合わせを受けました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス

【メッセージ】

```
Interface is duplicated
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース情報を登録しようとしたが、インタフェース情報がすでに登録されていました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Interface is not match
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース情報を削除しようとしましたが、一致するインタフェース情報がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Interface is not registered
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェース情報を削除しようとしましたが、インタフェース情報がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Missing view (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセス権のないオペレーションの要求を受けました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス

【メッセージ】

```
Not in ACL (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

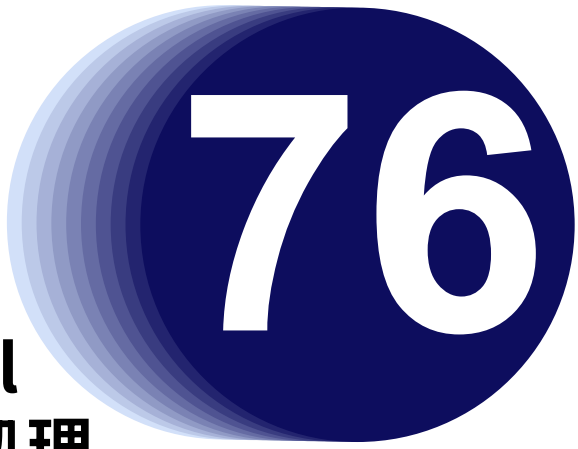
LOG_DAEMON

【意味】

該当アクセスリストに設定されていない要求を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 要求元のアドレス



第 76 章 Simple Network Time Protocol (SNTP) 処理

この章では、Simple Network Time Protocol(SNTP) 処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
the time was updated
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

時刻のアップデートを行いました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failure in name resolution
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

名前解決に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
linklocal-interface is not configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なアドレスが指定されています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 77 章
Security Processor 制御

この章では、Security Processor 制御に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Command length error(command-%1,len-%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドがレングス不正のため、エラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= レングス

【メッセージ】

```
Command number error(command-%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンド番号不正のため、エラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= レングス

【メッセージ】

```
Device ioctl error(name=/dev/sectldev, errno=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイス ioctl エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=errno

【メッセージ】

```
Device open error(name=/dev/sectldev, errno=%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デバイスオープンエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=errno

【メッセージ】

```
L2TP TNL_ID range error(command-%1, TNL_ID=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外です。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= トンネル ID

【メッセージ】

```
Memory alloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

共有メモリオブジェクトの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Send queue malloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC send キューエントリのメモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TNL_ID range error(command-%1, TNL_ID=%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

CP から要求されたコマンドの TNL_ID が範囲外です。

【パラメタの意味】

%1= コマンド名

%2= トンネル ID

【メッセージ】

```
The maximum number of queues over (%1).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC send キューエントリをオーバーしました。

【パラメタの意味】

%1= キューエントリ数

【メッセージ】

```
NP tree entry reinstall finish
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

NP 経路エントリの再登録が終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
NP tree entry reinstall start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ahp が Warmboot モードで再起動し、NP 経路エントリの再登録を開始しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The transmission of the queue ended.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

TIPC socket 送信バッファが利用可能状態となり、キューイングされた send メッセージの送信が完了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Transmission buffer full. It saves it in the queue.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

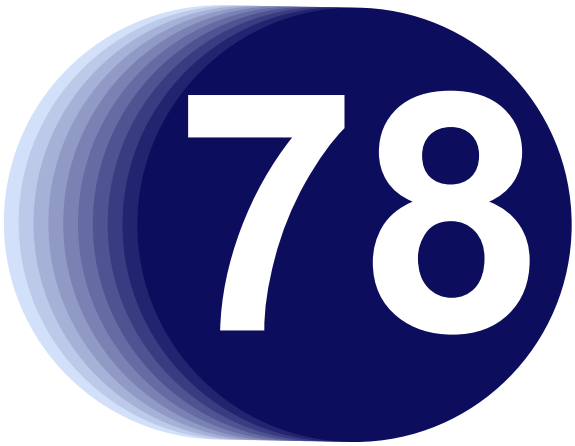
【意味】

TIPC socket送信バッファが利用不可状態のため、send メッセージをキューに退避しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 78 章 SSH



この章では、SSH に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 data length incorrect: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なデータレングスが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=データレングス

【メッセージ】

```
%1 host key for %.2 has changed and you have
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ホスト鍵が変更になりました。

【パラメタの意味】

%1=鍵種別

%2=ホスト鍵情報

【メッセージ】

```
%1 line %2: bad inet addr usage.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なアドレスが指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: bad inet addr:port usage.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なポートアドレスが指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: bad ipv6 inet addr usage.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な IPv6 アドレスが指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: bad port number.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なポート番号が指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad cipher '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正な暗号アルゴリズムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 暗号化種別

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad listen port.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、ポート番号が間違えて指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad number.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正な番号が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad protocol 2 host key algorithms '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正なホストキーアルゴリズムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= ホストキーアルゴリズム

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad protocol spec '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、不正なプロトコルスペックが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= プロトコルスペック

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad SSH2 cipher spec '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、不正な暗号化アルゴリズムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 暗号化アルゴリズム

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad SSH2 mac spec '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な MAC アルゴリズムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad SSH2 Mac spec '%3'.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正な MAC アルゴリズムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3=MAC アルゴリズム

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad yes/no argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正な argument が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad yes/no argument: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正に yes/no の指定がされています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad yes/no/ask argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、不正な argument が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Bad yes/without-password/forced-commands-only/no argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な指定がされています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Badly formatted port number.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、ポートの指定が不正です。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: garbage at end of line; %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、ラインの終わりに不正な指定があります。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

【メッセージ】

```
%1 line %2: Illegal MaxStartups spec.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な MaxStartups が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing file name.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、ファイル名称が不正に指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing inet addr.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なアドレスが指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing integer value.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な値が指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing port number.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、ポートが誤って指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing time value.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な値が指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing yes/no argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、yes/no が不正に指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: missing yes/without-password/forced-commands-only/no
argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正な指定がされています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、不正な argument が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing handler for opcode %3 (%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なオプションコードが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

%4= オプションコード

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing MaxStartups spec.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、誤った MaxStartups が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing port argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、ポート番号に間違いがあります。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing second argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、2 番目の argument に間違いがあります。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing subsystem command.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、誤ったサブシステムコマンドが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing subsystem name.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、誤ったサブシステムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing yes/no argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、指定可能な argument 以外が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Missing yes/no/ask argument.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、指定可能な argument 以外が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: ports must be specified before ListenAddress.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、ListenAddress の指定位置が不正です。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Subsystem '%3' already defined.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、すでに定義されたサブシステムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many allow groups.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のグループ許可が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many allow users.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のユーザ許可が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many deny groups.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のグループ許可が拒否されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many deny users.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のユーザ許可が拒否されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many host keys specified (max %3).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のホスト鍵が指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 最大値

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many ports.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、ポートの指定が複数指定されています。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: too many subsystems defined.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、複数のサブシステムが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

【メッセージ】

```
%1 line %2: Too many identity files specified (max %3).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、最大値を超えた値が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 最大値

【メッセージ】

```
%1 line %2: unsupported log facility '%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時に、サポートしていない log facility が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= 指定内容

【メッセージ】

```
%1 line %2: unsupported log level '%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、サポートしていないログレベルが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= ログレベル

【メッセージ】

```
/dev/pts/%1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

ssh 接続で仮想端末のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= デバイス番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
%1: authctxt not valid
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: authenticated invalid user
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: bad key, not previously allowed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な鍵のタイプが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: bad parameters: %2 %3 %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なパラメタが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報
%2=最小値
%3=値
%4=最大値

【メッセージ】

```
%1: bad public key blob
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な公開鍵が指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: bad request size
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なリクエストサイズを検知しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: bad signature data blob
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な公開鍵が指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: bad SSH1 session id
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セッション ID が不正です。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: BN_new
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: dup2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: expected type %2 got %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=メッセージタイプ

%3=メッセージタイプ

【メッセージ】

```
%1: fd0 %2 != 0
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、標準入力からの読み込みを禁止しました。

【パラメタの意味】

%1=モジュール名称

%2=ファイル・ディスクリプタ

【メッセージ】

```
%1: key type and protocol mismatch
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、鍵のタイプがプロトコルと一致しません。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: key type mismatch
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

鍵情報が不一致です。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: key type mismatch: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証が不正です。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=鍵タイプ

【メッセージ】

```
%1: key_sign failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

鍵の照合に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: key_to_blob failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: line %2: Bad configuration option: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定情報ファイル読み込み時、オプション名が不正です。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= ライン番号

%3= オプション名

【メッセージ】

```
%1: mm_malloc(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= サイズ

【メッセージ】

```
%1: mm_zalloc(%2, %3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= メモリ情報

%3= メモリサイズ

【メッセージ】

```
%1: multiple attempts for getpwnam
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パスワードファイルのエントリが複数存在します。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
%1: newkey == NULL
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用鍵情報がありません。

【パラメタの意味】

%1= モジュール名称

【メッセージ】

```
%1: no bsd auth session
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用セッションが存在しません。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: no hostkey from index %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なホスト鍵が指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=データレングス

【メッセージ】

```
%1: no SSH1_challenge
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証が不正です。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: open(/dev/null): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
%1: received bad key
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な鍵情報を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: received bad response to challenge
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な応答を受信しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: recvmsg: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
%1: recvmsg: expected received 1 got %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=受信 ID

【メッセージ】

```
%1: sendmsg(%2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=ファイルディスクリプタ

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
%1: sendmsg: expected sent 1 got %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=送信 ID

【メッセージ】

```
%1: socketpair
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

接続されたソケットのペア作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
%1: terminating, %2 bad configuration options
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 設定ファイル読み込み時、不正なオプションコードが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= オプションコード

【メッセージ】

```
%1: unexpected authentication from %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正な認証タイプを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 認証タイプ

【メッセージ】

```
%1: unknown key type %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認識できない鍵のタイプが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 鍵タイプ

【メッセージ】

```
%1: unpermitted request %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 認証タイプ

【メッセージ】

```
%1: unsupported request: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サポートしていない認証方式が要求されました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 認証タイプ

【メッセージ】

```
@@@
```

【パラメタの意味】

%1=鍵種別

%2=ホスト情報

%3=IP アドレス

%4=メッセージ内容

【メッセージ】

```
@@@
```

【メッセージ】

```
@@@
```

【意味】

acceptに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
auth_rsa_verify_response: RSA modulus too small: %1 < minimum %2 bits
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RSA認証時のビットサイズが不正です。

【パラメタの意味】

%1=入力ビットサイズ

%2=ビットサイズ

【メッセージ】

```
authentication forwarding requested twice.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証のフォワーディングが2度要求されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Agent forwarding is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

man-in-the-middle 攻撃の回避のため、フォワーディングを無効にしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
bad addr or host: %1 (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH サーバ設定ファイル読み込み時、不正なホストアドレスが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス

%2= アドレス

【メッセージ】

```
bad permissions: ignore key: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用鍵ファイルのパーミッションが不正です。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名称

【メッセージ】

```
bind: %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、バインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
bsdauth_respond: no bsd auth session
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用セッションがありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bad authentication reply message type: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、不正な認証返答メッセージタイプを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証種別

【メッセージ】

```
Bad authentication response: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、不正な認証種別がある返答メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証種別

【メッセージ】

```
Bad owner or mode for %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、所有者、あるいは、モードが不正です。

【パラメタの意味】

%1= ディレクトリ情報

【メッセージ】

```
Bad passphrase.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、passphrase が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bad remote protocol version identification: '%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、リモートホストのプロトコルバージョンが不正です。

【パラメタの意味】

%1= 入力情報

【メッセージ】

```
Bind to port %1 on %2 failed: %3.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

バインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ポート番号

%2= ポート番号

%3= エラーコード

【メッセージ】

```
Bugs in auth-options.c option processing.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、オプションが不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot happen: OUT_DRAIN
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立後、通信時のソケット種別のエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot happen: SSH_CHANNEL_LARVAL
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立後、通信時のソケット種別のエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot move known_hosts_pubkey file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH ホスト鍵の削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot open temporary file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

テンポラリファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot open SSHd_config file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 内部ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot reflect changes to the SSHd_config file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHd_config ファイルの変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
channel_activate for non-larval channel %1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

通信時のチャネル取得でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=チャネルID

【メッセージ】

```
channel_find_open: bad channel type %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

通信時のチャネル種別が不正です。

【パラメタの意味】

%1=チャネル種別

【メッセージ】

```
channel_new: internal error: channels_alloc %1 too big.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション確立後、通信時のメモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エリアサイズ

【メッセージ】

```
channel_still_open: bad channel type %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立後、通信時のチャネル種別のエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= チャネル種別

【メッセージ】

```
check_host_key: getnameinfo failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
child_set_env: too many env vars, skipping: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、複数の env vars が存在します。

【パラメタの意味】

%1= 変数名

【メッセージ】

```
chmod(%1, %2) failed: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルアクセス権の変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ttyname

%2= モード

%3= エラーコード

【メッセージ】

```
chown(%1, %2, %3) failed: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル状態の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ttyname

%2=UID

%3=GID

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
chroot("%1"): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ルートディレクトリを指定したコマンドの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ディレクトリ情報

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
client_channel_closed: id %1 != session_ident %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッションクローズ時、セッションIDが不正です。

【パラメタの意味】

%1=セッションID

%2=セッション情報

【メッセージ】

```
client_input_channel_req: channel %1: unknown channel
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション通信時、チャネルIDが認識できません。

【パラメタの意味】

%1=チャネルID

【メッセージ】

```
client_input_channel_req: channel %1: wrong channel: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション通信時、チャネルIDが誤っています。

【パラメタの意味】

%1=セッションID

%2=チャネルID

【メッセージ】

```
client_input_channel_req: no channel %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション通信時、チャネルが存在しません。

【パラメタの意味】

%1=セッション ID

【メッセージ】

```
close(s->ptymaster): %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セッション情報ファイルのクローズに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
close(s->ptymaster/%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セッションのクローズに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=セッション情報

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
connection refuse because accesslist check error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストによりコネクトしてきたクライアントを拒否しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Can't open user config file %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、config file のオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=config ファイル名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Cannot bind any address.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

バインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Cannot fork into background without a command to execute.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、実行不可能なコマンドが指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Compression level must be from 1 (fast) to 9 (slow, best).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、圧縮レベルが範囲内にありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Could not create directory '%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ディレクトリの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ディレクトリ情報

【メッセージ】

```
Could not create pipes to communicate with the proxy: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、通信用のパイプの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
Could not load host key: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

鍵情報のロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 鍵情報

【メッセージ】

```
Could not request local forwarding.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、フォワーディング要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
daemon() failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

バックグラウンドでの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
denied SSH2_MSG_SERVICE_ACCEPT: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=種別

【メッセージ】

```
do_authloop: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証処理が失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_connection: %1: host_key %2 < server_key %3 + SSH_KEY_BITS_RESERVED
%4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、SSH 鍵のビット情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= リモート IP アドレス
%2= ホスト鍵ビット
%3= サーバ鍵ビット
%4= 鍵ビット

【メッセージ】

```
do_connection: %1: server_key %2 < host_key %3 + SSH_KEY_BITS_RESERVED
%4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、SSH 鍵のビット情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1= リモート IP アドレス
%2= サーバ鍵ビット
%3= ホスト鍵ビット
%4= 鍵ビット

【メッセージ】

```
do_connection: bad session key len from %1:session_key_int %2 >
sizeof(session_key) %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH1 鍵交換で、キー長が不正な鍵を受け取りました。

【パラメタの意味】

%1=IP アドレス

%2= レングス

%3= セッションキー長

【メッセージ】

```
do_exec_no_pty: no session
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なユーザがらのリクエストを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_exec_pty: no session
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なユーザがらのリクエストを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
do_SSH1_kex: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証が失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dup() in/out/err failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、セッションのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
dup2 stderr: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
dup2 stdin: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
dup2 stdout: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Disabling SSH protocol version %1, Could not load host key
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

特定のバージョンのSSHが無効となりました。

【パラメタの意味】

%1=プロトコルバージョン情報

【メッセージ】

```
expanded, len, "%1%2%3"
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ディレクトリ情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=ディレクトリ情報
%2=ディレクトリ情報
%3=ディレクトリ情報

【メッセージ】

```
Error reading response from authentication socket.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用ソケットのリードでエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error reading response length from authentication socket.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用ソケットにリードでエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error writing to authentication socket.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用ソケットのライトでエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Exiting, you have requested strict checking.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、接続を拒否し、チェックを要求されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to release authenticator
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fatal: no matching cipher found: client %1 server %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

一致する暗号化方式が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1= クライアント側の暗号化方式

%2= サーバ側の暗号化方式

【メッセージ】

```
fatal: no matching mac found: client %1 server %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

一致するメッセージ認証コードが見つかりません。

【パラメタの意味】

%1= クライアント側のメッセージ認証コード

%2= サーバ側のメッセージ認証コード

【メッセージ】

```
fcntl(%1, F_SETFD)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタ操作に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fcntl(notify_pipe, F_SETFD) failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ディスクリプタのフラグの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
fdopen %1 failed: %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

fdopen に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名称

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
fdopen failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

鍵ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
fork: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
fork failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、プロセスの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
fork of unprivileged child failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to disconnect from controlling tty.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、tty の分離に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to set uids to %1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、UID の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=UID

【メッセージ】

```
get_socket_ipaddr: getnameinfo %1 failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時のソケットアドレス情報取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス情報

【メッセージ】

```
getaddrinfo: %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、接続アドレスの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
getgroups: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、グループ ID のリストの取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
gethostname: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ホスト名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
getnameinfo failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getsockname failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用ソケットの情報取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Host key verification failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、ホスト鍵の照合に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ioctl(TIOCSCTTY):
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
initgroups: %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、グループアクセスリストの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
input_service_request: no authctxt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答の認証情報が存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_error: bad message during authentication:type %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証中に不正なメッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1=認証種別

【メッセージ】

```
input_userauth_failure: no authentication context
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_req: no authentication context
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_response: no authctxt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答の情報が認証情報に存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_response: no device
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答の情報が装置に存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_response: no kbdintctxt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答の情報が認証情報に存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_response: too many replies
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答情報が多いです。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_info_response: wrong number of replies
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答情報の ID が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_passwd_changereq: no authentication context
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_pk_ok: no authentication context
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証情報のコンテキストが存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_pk_ok: type mismatch for decoded key (received %1,
expected %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、鍵の照合に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=鍵種別（受信）

%2=鍵種別

【メッセージ】

```
input_userauth_request: no authctxt
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、入力された応答の認証情報が存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
input_userauth_success: no authentication context
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証情報中にコンテキストが存在しません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
INTERNAL ERROR: authenticated invalid user %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証処理が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ユーザ ID

【メッセージ】

```
key_save_private: cannot save key type %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用鍵ファイルのセーブに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 鍵ファイル種別

【メッセージ】

```
key_sign failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、鍵の照合に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Killed by signal %1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立後、kill シグナルを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= シグナル ID

【メッセージ】

```
Kerberos v4: Malformed response from server
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、サーバからの不正な応答を受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
libwrap refuse returns
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
listen: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、listen に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
listen_sock O_NONBLOCK: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタ設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
mm_free(%1): can not find %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ解放時のサイズに0が設定されました。

【パラメタの意味】

%1=メモリ情報

%2=アドレス

【メッセージ】

```
mm_free(%1): double address %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの解放時に二重のアドレスが設定されました。

【パラメタの意味】

%1=メモリ情報

%2=アドレス

【メッセージ】

```
mm_free: memory corruption: %1 < %2(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの解放時に不正なアドレスが設定されました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

%2=アドレス

%3=サイズ

【メッセージ】

```
mm_free: memory corruption: %1(%2) > %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの解放時に不正なアドレスが設定されました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

%2=サイズ

%3=アドレス

【メッセージ】

```
mm_get_get: internal error: bad session id
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なセッションIDを取得しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
mm_make_entry(%1): double address %2->%3(%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレスが重複して指定されました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報
%2=アドレス情報
%3=アドレス
%4=サイズ

【メッセージ】

```
mm_malloc: try to allocate 0 space
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保時に、0が設定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
mm_memvalid: address too large: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス指定が大きすぎます。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

【メッセージ】

```
mm_memvalid: address too small: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保時のアドレスが小さいです。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

【メッセージ】

```
mm_memvalid: end < address: %1 < %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス指定が最終のアドレスを超えています。

【パラメタの意味】

%1=最終アドレス

%2=アドレス

【メッセージ】

```
mmap(%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

mmap に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=サイズ

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
munmap(%1, %2): %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、munmapに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=アドレス

%2=サイズ

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
Missing privilege separation directory: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション接続時、不正なディレクトリが指定されました。

【パラメタの意味】

%1=ディレクトリ情報

【メッセージ】

```
newkeys_from_blob: remaining bytes in blob %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用鍵読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=鍵長

【メッセージ】

```
newsock del O_NONBLOCK: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル・ディスクリプタの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
no channel for session %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、セッションのためのチャネルがありません。

【パラメタの意味】

%1=セッション情報

【メッセージ】

```
no host keys available -- exiting.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ホストキーが存在しないため、SSH の起動ができません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
no more sessions
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セッションのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
no user for session %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザセッションが存在しません。

【パラメタの意味】

%1=セッション情報

【メッセージ】

```
No %1 host key is known for %2 and you have requested strict checking.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ホスト鍵チェックに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 鍵種別

%2= ホスト鍵情報

【メッセージ】

```
open %1 failed: %2.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証用鍵ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名称

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
open /dev/tty failed - could not set controlling tty: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

open(/dev/tty) に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
openpty: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

openptyに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Offending key for IP in %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション接続時、IPアドレスが不正です。

【パラメタの意味】

%1=IPアドレス情報(file)

%2=IPアドレス情報(line)

【メッセージ】

```
Open of /dev/ptc returns device for which ttyname fails.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ttynameに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
passphrase too short: have %1 bytes, need > 4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

passphrase情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=レングス

【メッセージ】

```
permanently_set_uid: temporarily_use_uid effective
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション接続時、不正なUIDを使用しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
pipe(notify_pipe) failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パイプの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
pipe: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

scp 実行時、パイプの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
process_config_line: Unimplemented opcode %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント設定ファイル読み込み時、インプリメントされていないオプションコードが指定されました。

【パラメタの意味】

%1= オプションコード

【メッセージ】

```
Password authentication is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

man-in-the-middle 攻撃の回避のため、パスワード認証を無効にしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Permission denied.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、許可が否定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Permission denied (%1).
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証情報リスト

【メッセージ】

```
Permission denied, please try again.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、許可が拒否されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
PEM_read_PrivateKey: mismatch or unknown EVP_PKEY save_type %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

鍵ファイルのタイプが不正です。

【パラメタの意味】

%1=セーブ種別

【メッセージ】

```
Port forwarding is disabled to avoid man-in-the-middle attacks.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

man-in-the-middle攻撃の回避のため、ポート・フォワーディングを無効にしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Privilege separation user %1 does not exist
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション接続時、特権分離ユーザが存在しません。

【パラメタの意味】

%1=ユーザ情報

【メッセージ】

```
Protocol major versions differ: %1 vs. %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、プロトコルバージョンが異なります。

【パラメタの意味】

%1= プロトコルバージョン

%2= プロトコルバージョン

【メッセージ】

```
received TACACS Author response status=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

TACACS サーバへの認証が終了しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証結果

【メッセージ】

```
respond_to_rsa_challenge: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
respond_to_rsa_challenge: host_key %1 < server_key %2 +SSH_KEY_BITS_RESERVED %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 鍵交換時、鍵のビットサイズが不正です。

【パラメタの意味】

%1= ホスト側鍵ビット

%2= サーバ側鍵ビット

%3= 受信鍵ビット

【メッセージ】

```
respond_to_rsa_challenge: server_key %1 < host_key %2 +SSH_KEY_BITS_RESERVED %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 鍵交換時、鍵のビットサイズが不正です。

【パラメタの意味】

%1= ホスト側鍵ビット

%2= サーバ側鍵ビット

%3= 受信鍵ビット

【メッセージ】

```
restore_uid: temporarily_use_uid not effective
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、不正な UID を使用しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rnd(4) is mandatory.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rresvport: af=%1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ポート情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= アドレス情報

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
rsa_generate_additional_parameters: BN_CTX_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RSA 認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rsa_generate_additional_parameters: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RSA 認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rsa_public_encrypt() exponent too small or not odd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、RSA 認証鍵が小さいです。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
rsa_public_encrypt() failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

RSA 認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Request for subsystem '%1' failed on channel %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、サブシステムの要求に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= サブシステム ID

%2= チャネル ID

【メッセージ】

```
Remote machine has too old SSH software version.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、古い SSH ソフトウェア・バージョンを使用しています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

通信 (select) エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
server_input_global_request: no user
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

不正なユーザからのリクエストを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
session_by_pid: unknown pid %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、PID の不正が発生しました。

【パラメタの意味】

%1=PID

【メッセージ】

```
session_exit_message: session %1: no channel %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、セッションのためのチャネルがありません。

【パラメタの意味】

%1=セッション情報

%2=チャネル情報

【メッセージ】

```
session_pty_cleanup: no session
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション切断時、セッション情報が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
session_pty_req: session %1 alloc failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=セッション ID

【メッセージ】

```
session_set_fds: called for proto != 2.0
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、要求したプロトコルが 2.0 ではありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
setegid %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ユーザ ID とグループ ID の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=GID

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
seteuid %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ユーザ ID とグループ ID の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=UID

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
setgid failed for %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、グループ識別の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
setgroups: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

グループ ID リストの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setlogin failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログイン名の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setrlimit failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、resource の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsid failed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

セッションの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsid: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

新セッションでのプログラムの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
setsockopt SO_KEEPALIVE: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのオプションの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
shm_get_cpstat error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

自系状態の収集に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
sockaddr_ntop: getnameinfo NI_NUMERICHOST failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、ホスト名称取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
stat(%1) failed: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ファイルの状態の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ttyname

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
subsystem: cannot stat %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイル状態の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コマンド情報

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
Selected cipher type %1 not supported by server.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、暗号化アルゴリズムがサーバ側でサポートされていません。

【パラメタの意味】

%1= 暗号化アルゴリズム

【メッセージ】

```
SSH: %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、ネットワークのアドレスとサービスの変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ホスト名

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_connect: getnameinfo failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、アドレスからの名前変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SSH_exchange_identification: Connection closed by remote host
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、リモートホストによってクローズされました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SSH_exchange_identification: read: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、リードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: bad version
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、プロトコルバージョンが不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SSH_keysign: dup2: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、ファイル・ディスクリプタの複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: exec(%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、ファイルの実行に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル実行種別

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: fflush: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ファイル出力 (fflush) に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: fork: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、プロセスの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: no installed: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ファイル状態の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_keysign: no reply
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、鍵照合時の応答がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SSH_keysign: pipe: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、パイプの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
SSH_userauth1: server supports no auth methods
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証方式がサーバ側でサポートされていません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
SSH_userauth2: internal error: cannot send userauth none request
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、内部エラーが発生し送信ができません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Strange, wait returned pid %1, expected %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセス ID が不正です。

【パラメタの意味】

%1=PID

%2=PID

【メッセージ】

```
try_agent_authentication: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
try_rhosts_rsa_authentication: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
try_rsa_authentication: BN_new failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、認証処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Timeout before authentication for %1.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、認証の前にタイムアウトが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= リモート IP アドレス

【メッセージ】

```
Too high debugging level.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、debugging level の指定が複数指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Too many identities in authentication reply: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証時、同一の認証返答メッセージを複数受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 認証情報

【メッセージ】

```
Too many identity files specified(max %1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH クライアント起動時、同一ファイルが複数指定されました。

【パラメタの意味】

%1= 指定可能な最大値

【メッセージ】

```
Too many lines in environment file %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、環境変数ファイルに複数のラインが存在します。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

【メッセージ】

```
Too many listen sockets. Enlarge MAX_LISTEN_SOCKS
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ソケット情報が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
userauth_hostbased: cannot decode key: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ認証時の鍵情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=鍵情報

【メッセージ】

```
userauth_hostbased: cannot get local ipaddr/name
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ローカル IP アドレスと名称が取得できません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
userauth_hostbased: type mismatch for decoded key (received %1, expected %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ認証時の鍵情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=受信鍵種別

%2=鍵種別

【メッセージ】

```
userauth_pubkey: cannot decode key: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ認証時の鍵情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=鍵情報

【メッセージ】

```
userauth_pubkey: internal error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認証中に内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
userauth_pubkey: type mismatch for decoded key (received %1, expected %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ認証時の鍵情報が不正です。

【パラメタの意味】

%1=受信鍵種別

%2=鍵種別

【メッセージ】

```
Unknown user %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

認識できないユーザ ID が指定されました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ ID

【メッセージ】

```
User name after tilde too long.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション接続時、ユーザ名称の指定が長すぎます。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
write to key file %1 failed: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ファイルの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名称

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
write: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション確立時、書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Warning: SSH server tried agent forwarding.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション通信時、SSHサーバがフォワーディングしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Warning: this is probably a break in attempt by a malicious server.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション通信時、サーバ動作異常が発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
WARNING: Server requests forwarding for unknown listen_port %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立後、ポート番号が不正です。

【パラメタの意味】

%1=tty名

【メッセージ】

```
Write failed flushing stdout buffer.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

通信時、書き込み時 stdout バッファに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
xfree: NULL pointer given as argument
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ解放時、サイズに NULL が指定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
xmalloc: out of memory (allocating %1 bytes)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=メモリサイズ

【メッセージ】

```
xmalloc: zero size
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保時、サイズに0が設定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
xrealloc: out of memory (new_size %1 bytes)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=メモリサイズ

【メッセージ】

```
xrealloc: zero size
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリ確保時、サイズに0が設定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getnameinfo error so connection refuse.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSHセッション確立時、アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Login failed; too many active sessions (%1 maximum)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

1ユーザ当たりの最大セッション数を超えました。

【パラメタの意味】

%1=1ユーザ当たりの最大セッション数

【メッセージ】

```
Login failed; too many active sessions (16 maximum)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

装置の最大セッション数（16セッション）を超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LOGIN (%1) ON %2 FROM %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH 接続により装置にログインされました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ ID

%2=tty 名

%3= アクセス元リモートアドレス

【メッセージ】

```
LOGOUT (%1) ON %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SSH 接続による装置からのログアウトが行われました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ ID

%2=tty 名

【メッセージ】

```
SSHD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

SSH セッション確立時、アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= アクセスリスト番号

%2= アクセスリスト情報

%3= 入力情報

【メッセージ】

```
Accepted %1 for %2 from %3 port %4 %5
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SSH による接続が行われました。

【パラメタの意味】

%1=SSH 接続時に password が入力された場合は "password"、パスワードが省略された場合は "none"

%2= ユーザ ID

%3= アクセス元リモートアドレス

%4= アクセス元のポート番号

%5=SSH 接続バージョン（SSHv2 の場合のみ ssh2 と表示し、SSHv1 の場合は何も表示しません）

【メッセージ】

```
Failed %1 for %2 from %3 port %4 %5
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SSH による接続が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=SSH 接続時に password が入力された場合は "password"、password パスワードの入力が必要な場合は "keyboard-interactive"

%2= ユーザ ID

%3= アクセス元リモートアドレス

%4= アクセス元のポート番号

%5=SSH 接続バージョン（SSHv2 の場合のみ ssh2 と表示し、SSHv1 の場合は何も表示しません）

【メッセージ】

```
Received disconnect from %1: %2: %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SSH の disconnect メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= アクセス元リモートアドレス

%2= 内部情報

%3= 内部情報

【メッセージ】

```
Connection closed by %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

SSH 接続がクローズされました。

【パラメタの意味】

%1= アクセス元リモートアドレス

第79章 SURVEY機能

この章では、SURVEY機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1: not found vrf nsm_id[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

vrfid から該当の vrf 情報が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2=vrfid

【メッセージ】

```
%1: not found vrf vrfid[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

vrfid から該当の vrf 情報が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1= 関数名

%2=vrfid

【メッセージ】

```
%SURVEILLANCE-LINE(%1) to %2(%3):Name(%4) is duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

name で指定した文字列が他の監視対象に使われています。

【パラメタの意味】

%1=survey-map 名

%2=IP アドレス

%3=VRF 名

%4=name

【メッセージ】

```
%SURVEILLANCE-LINE(%1) to %2(%3):Status changed to down.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

接続状態が down に変化しました。

【パラメタの意味】

%1=survey-map 名

%2=IP アドレス

%3=VRF 名

【メッセージ】

```
%SURVEILLANCE-LINE(%1) to %2(%3):Status changed to up.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

接続状態が up に変化しました。

【パラメタの意味】

%1=survey-map 名

%2=IP アドレス

%3=VRF 名

【メッセージ】

```
close socket by send error to ifd [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IF 情報の取得エラーによりソケットを close しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
fail to set ifd-message
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IF 情報メッセージの通信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
if_id_data_lookup_by_ifindex ifindex[%1] error[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェース名の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ifindex

%2= エラー番号

【メッセージ】

```
max message size exceeded
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メッセージサイズを超過しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
not allocate memory, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=確保対象

【メッセージ】

```
recv error from ifd [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IF 情報の取得エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
set non-blocking error [%1], %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

non-blocking設定エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

%2=監視アドレス

【メッセージ】

```
set non-blocking error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

non-blocking設定エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
set recv buffer error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットオプション(SO_RCVBUF)設定エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
set send buffer error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットオプション(SO_SNDBUF)設定エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
socket write error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットへの書き込みエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
Surveillance stopped due to unspecified source interface with link local
address.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

送信元インタフェースが特定できないため、接続監視を終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
tipc accept error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TIPC accept エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc bind error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TIPC bind エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc inst[%1] send error[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TIPC 送信エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= インスタンス番号

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc listen error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TIPC listen エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc recv error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

TIPC 受信エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc topserv connect error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

トポロジーサービスの connect エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
tipc topserv recv error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

トポロジーサービスの受信エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
tipc topserv send error [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

トポロジーサービスの送信エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
%SURVEILLANCE-LINE(%1) to %2(%3):Status surveillance completed.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

接続監視を終了します。

【パラメタの意味】

%1=survey-map 名

%2=IP アドレス

%3=VRF 名

【メッセージ】

```
%SURVEILLANCE-LINE(%1) to %2(%3):Status surveillance started.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

接続監視を開始します。

【パラメタの意味】

%1=survey-map 名

%2=IP アドレス

%3=VRF 名

【メッセージ】

```
Can't load shared library. Process exited
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

共有ライブラリの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
close socket to ifd
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ifd との接続が切断しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
setsockopt %1 err[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ソケットオプションの登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= オプション種別

%2= エラーコード

第 80 章
syslog 処理

この章では、syslog 処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
'%1' %2 - ignored:'%3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

syslog filter の message 設定が正規表現のフォーマットに違反しているため、該当 syslog filter モードに関連した設定を無効としました。

【パラメタの意味】

%1= 無効対象となった message 設定

%2= エラーの理由

%3= 無効となる syslog filter モード

【メッセージ】

```
'%1' over 254 characters - ignored:'%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

syslog filter の message 設定が 254 文字を超えているため、該当 syslog filter モードに関連した設定を無効にしました。

【パラメタの意味】

%1= 無効対象となった message 設定

%2= 無効となる syslog filter モード名

【メッセージ】

```
bind() failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
can't allocate fd table %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Can't open /rump/dev/klog: %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部通信パスの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Cannot access `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

デバイスアクセスに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=デバイス名

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Cannot change recv bufsize %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットのオプション設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Cannot create %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ファイルパス

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
close() failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの close に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Could not open socket file list `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

file の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Couldn't allocate line buffer %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Couldn't allocate logpath %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Couldn't allocate memory for bind status %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Couldn't allocate memory for sockets %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Error: `%1' log facility or log target missing %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部設定のフォーマットエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーとなった内部設定

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
exiting on signal %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

syslogd のプロセスが終了しました。

【パラメタの意味】

%1= シグナル番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
fail get semaphore %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

共有メモリのセマフォ作成または初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Failed to chroot to `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

デバイスアクセスに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= デバイス名

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Failed to open pidfile %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

PID ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Failed to set gid to `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

ID 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ID 番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Failed to set uid to `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

ID 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ID 番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
getsockname() unix failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

初期化処理に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
ioctl error %1:%2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

タスクトレース設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

%2= エラーメッセージ

%3= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
ipv4 bind() failed (socket %1) %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
ipv6 bind() failed (socket %1) %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット番号

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
klog failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

データ読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
'logging host' exceeds max configurations (20) - ignored: 'logging host
%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

logging host のエントリ数が最大数 20 を超えました。

【パラメタの意味】

%1= 無効となった logging host 設定

【メッセージ】

```
Name or service not known: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

logging host 設定で指定した SYSLOG 送信先ホスト名のアドレス解決に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
panic: out of memory! %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
poll %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

メッセージ受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
poll err %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

メッセージ受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
poll nval %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

メッセージ受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
poll hup %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

メッセージ受信処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
recvfrom inet %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

データ読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
recvfrom() unix `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

データ読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 使用ソケット名

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
rump_server log failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

データ読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
setsockopt(IPV6_V6ONLY) failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
shutdown() failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケット通信の停止に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
socket() failed %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部ソケットの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Temporary failure in name resolution: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

一時的な理由で、logging host に指定した SYSLOG 送信先ホスト名のアドレス解決に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
UNIX socket name too long %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Unknown facility name `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

不正なファシリティを指定しました。

【パラメタの意味】

%1= ファシリティ

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Unknown interface name `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

不正なインタフェースを指定しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Unknown priority name `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

不正なプライオリティを指定しました。

【パラメタの意味】

%1= プライオリティ

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Unknown protocol name `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

不正なプロトコルを指定しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル

%2= エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
uwdt_init error: `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

uwdt の初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
uwdt_start error: `%1' %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

uwdt監視 start に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Warning: `%1' space found where tab is expected %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部設定のフォーマットエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーとなった内部設定

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
Warning: `%1' space or tab before the log facility %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

内部設定のフォーマットエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーとなった内部設定

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
%1 queue overflow, dropping message %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

再送キューのオーバーフローにより、外部ホストあてのメッセージを破棄しました。

【パラメタの意味】

%1=外部ホスト名

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
%1 queue time out, dropping message %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

再送メッセージの保存期間が終了したため、外部ホストあてのメッセージを破棄しました。

【パラメタの意味】

%1=外部ホスト名

%2=エラー情報。表示されない場合があります。

【メッセージ】

```
refresh %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

syslogd の再初期化処理を行いました。

【パラメタの意味】

%1= エラー情報。表示されない場合があります。

第 81 章
TACACS+ 認証

この章では、TACACS+ 認証に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
No TACACS+ servers specified
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバ設定がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: invalid `\\' escape
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: invalid option "%3"
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

%3= 読み込んだオプション文字列

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: invalid port
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: invalid timeout
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: line has too many fields
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: line too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: missing newline
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= 読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: missing shared secret
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=設定ファイル名

%2=読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: quoted string not followed by white space
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=設定ファイル名

%2=読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS %1:%2: unterminated quoted string
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=設定ファイル名

%2=読み込みに失敗している行番号

【メッセージ】

```
TACACS attempt to send message out of sequence
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

送信パケットデータの作成に失敗しました。
シーケンス番号を設定する際、シーケンス番号が偶数です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS attempt to set invalid privilege level
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

範囲外の enable レベルになろうとしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS ACCT:It failed in the accounting information file creation.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

アカウンティング開始・終了の情報を更新できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS bind: %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で bind に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

%2=bind 対象アドレス

【メッセージ】

```
TACACS cannot create socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS cannot open "%1": %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で fopen に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 設定ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS cannot set non-blocking mode on socket: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs用ソケットのモード設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS connect: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs処理内でconnectに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS connect: timed out
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバとのセッション確立に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS field too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

送信パケットデータの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS get server address info failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバアドレス情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS get source address info failed
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

送信元インタフェース情報の読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS getpeername: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で getpeername に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS invalid length field in %1 response from server (%2 > %3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケット長が不正です。

【パラメタの意味】

%1= パラメタ種別

%2= パラメタ長

%3= パケットヘッダに設定されているレングス長

【メッセージ】

```
TACACS invalid length field in response from server: end expected at %1,
response length %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケット長が不正です。

【パラメタの意味】

%1= パケットヘッダに設定されているレングス長

%2= 実際のパケット長

【メッセージ】

```
TACACS invalid sequence number in received message (got %1, expected %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケットのシーケンス番号が不一致です。

【パラメタの意味】

%1=Reply パケットのシーケンス番号

%2= クライアント側が期待するシーケンス番号

【メッセージ】

```
TACACS invalid session ID in received message
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケットのセッション ID が不正です。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS invalid type in received message (got %1, expected %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケットのタイプが不一致です。

【パラメタの意味】

%1=Reply パケットタイプ

%2= クライアント側パケットタイプ

【メッセージ】

```
TACACS message too long
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

送信パケットデータの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS network read error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で read に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS network read timed out
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で read に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS network write error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で write に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS network write timed out
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で write に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS nothing is written to the config file.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS out of memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で malloc に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS received message too large (%1 > %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケット長が 8192 バイトを超えました。

【パラメタの意味】

%1=Reply パケット長

%2= 受信可能パケット長 (8192)

【メッセージ】

```
TACACS select: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

tacacs 処理内で select に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
TACACS too many TACACS+ servers specified
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバの登録数が制限を超えました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TACACS unexpected EOF from server
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

サーバからの Reply パケットが届きません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 82 章
TELNET サーバ

この章では、TELNET サーバに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
telnetd: panic state=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

telnet プロトコルで異常なデータを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= ステート番号

【メッセージ】

```
connection refuse because accesslist check error
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストチェックエラーにより接続が拒否されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
setsockopt (IP_TOS): %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログイン時に内部処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt (SO_KEEPALIVE): %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ログイン時に内部処理でエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
getnameinfo error so connection refuse.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部処理エラーにより切断しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
TELNETD-ACCESSLOGP: list %1 denied %2 from %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクセスリストによりコネクトしてきたクライアントを拒否しました。

【パラメタの意味】

%1=アクセスリスト番号

%2=プロトコル番号

%3=コネクト元

【メッセージ】

```
ttloop: peer died: EOF
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ttloop:  read: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メッセージの読み取りに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
LOGIN FAILURE FROM %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTHPRIV

【意味】

TELNET 接続でのログインに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= リモートホスト

%2= ユーザ名

【メッセージ】

```
LOGIN FAILURE ON %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTHPRIV

【意味】

コンソールポート接続でのログインに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=tty名

%2=ユーザ名

【メッセージ】

```
LOGIN (%1) ON %2 FROM %3
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

TELNET でのログインが行われました。

【パラメタの意味】

%1=ユーザ名

%2=tty名

%3=リモートホスト

【メッセージ】

```
LOGIN (%1) ON %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

コンソールポート接続でのログインが行われました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

%2=tty 名

【メッセージ】

```
LOGOUT (%1) ON %2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

TELNET ／コンソールポート接続でのログアウトが行われました。

【パラメタの意味】

%1= ユーザ名

%2=tty 名

【メッセージ】

```
Login failed; too many active sessions (%1 maximum)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

1 ユーザ当たりの最大セッション数を超えた場合

【パラメタの意味】

%1=1 ユーザ当たりの最大セッション数

【メッセージ】

```
Login failed; too many active sessions (16 maximum)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_AUTH

【意味】

装置の最大セッション数（16 セッション）を超えた場合

第 83 章
内部通信

この章では、内部通信に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
can't connect target address: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信の接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー原因

【メッセージ】

```
connect() error AF_TIPC: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信の接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー原因

【メッセージ】

```
failed to connect to topology server
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to send subscription
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用データの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Failed to receive event
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用データの受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getaddrinfo() error: %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

addrinfo の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー原因

%2= エラー原因

【メッセージ】

```
poll() error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの監視に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー原因

【メッセージ】

```
read() error fd:%1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットからの読み出しに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=エラー原因

【メッセージ】

```
socket() error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー原因

【メッセージ】

```
socket() error AF_TIPC: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットの作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー原因

【メッセージ】

```
Server %1,%2 not published within %3 [s]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信がタイムアウトしました。

【パラメタの意味】

%1=宛先情報

%2=宛先情報

%3=タイムアウト時間

【メッセージ】

```
tipcsh main process illegal exit ppid:%1 command:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

telnet 端末が強制切断されました。

【パラメタの意味】

%1= プロセス ID

%2= 中断したコマンド名

【メッセージ】

```
write() error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットへの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー原因

【メッセージ】

```
write() error1 fd:%1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部通信用ソケットへの書き込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= エラー原因

第84章 ファームウェアアップデート

この章では、ファームウェアアップデートに関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
boot_side_set error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Equipment.cfg に次回起動面が設定できなかった場合

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Equipment.cfg backup error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Equipment.cfg の Backup 作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Equipment.cfg restore error.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Equipment.cfg に次回起動面が設定できませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
set boot firmware other-side,however,firmware is not installed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

次回起動面を裏面に設定しましたが、指定された裏面にファームがインストールされていませんでした。
起動面指定は、無効になります。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
set boot firmware other-side.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

次回起動面を裏面に設定しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 85 章
プロセス監視

この章では、プロセス監視に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 already exists
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf にすでに登録されています。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
%1 is not valid number
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

%1= 読み込み中のトークン

【メッセージ】

```
%1 is unknown token
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
add_to_configs malloc error1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

malloc に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
add_to_configs malloc error2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

malloc に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't bind socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't bind tcp socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't bind unix dgram socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't listen tcp socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't listen unix stream socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't make unix dgram socket
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't parse config file
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
can't set close-on-exec
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
command line is duplicated. ignore this entry
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の 1 つのエントリに対して、command の記述が複数あります。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cpm reboot start. name:%1 kill
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd による装置の再起動が動作しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
exec command: name=%1 cmdline=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd からデーモンを起動しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

%2= コマンド

【メッセージ】

```
Fail to get Shared Memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Shared Memory の獲得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to map Shared Memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Shared Memory のマッピングに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
kill command: name=%1 cmdline=%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd からデーモンを終了しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

%2= コマンド

【メッセージ】

```
name doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf に name の記述がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
name's size is too big: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

/etc/uwdtd.conf に書かれてあるデーモンの名前が長すぎます。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
name_bracket_func:strdup
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の command の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
name_func:strdup
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

strdup に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
need to be {. not %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

%1="{" が必要な箇所に記載されている文字列

【メッセージ】

```
new connection accept error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
new userlands malloc error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
none Shared Memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
path is too long: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=uwdtd で監視されるデーモンへの path

【メッセージ】

```
rc.d line is odd. ignore this entry
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の rc の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send SIGPWR name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

hearbeat が expire して uwdtd からデーモンを kill しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
startstop_command execve error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
startstop_command fork error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd の起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
there is no command line
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf に起動するコマンドの記述がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unknown token: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd.conf の記述が間違っています。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
reboot program(no registration)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

応答のないプログラムを再起動しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send SIGKILL name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd からデーモンを終了しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
send SIGTERM name=%1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

uwdtd からデーモンを kill しました。

【パラメタの意味】

%1= デーモン名

【メッセージ】

```
stop boot(too many trying)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

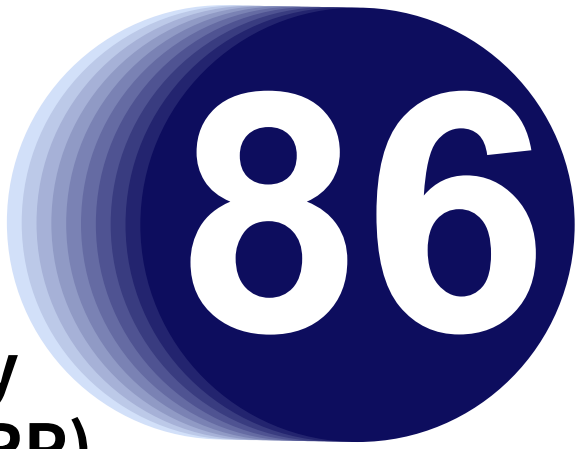
【意味】

デーモンの再起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 86 章
Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP)



この章では、Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 connect failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

connectに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
%1 recv failed (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラー箇所

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
%1 send failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー箇所

%2= エラーコード

【メッセージ】

```
disabling track object %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

track object が無効です。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクトナンバー

【メッセージ】

```
exec vrrpcli err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

vrrpcli の exec に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Error send gratuitous ARP ifname[%1] : %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

GARP の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=エラーコード

【メッセージ】

```
Error ioctl(SIOCSIFVADDR) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl（SIOCSIFVADDR）に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
I/F info create getifaddrs: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

getifaddrs の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
receive vrrp packet size error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した vrrp パケットのサイズが長さと違います。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send trap failed to insert VarBindList
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

trapのパケット生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unknown track message type[%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
uwdt continue error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtのinterval設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdtの初期化に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt restart error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

restartに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

heartbeat送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=rc

【メッセージ】

```
uwdt start error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

uwdt の開始に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=uwdt 実施結果

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

stop に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspended error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

suspend に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
vrrp advertisement send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

vrrp advertisement の送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
vrrp has detected abnormal timer delay %1 sec (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP がタイマ異常（advertise timer or masterdown timer）を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= タイマ遅延時間

%2= タイマ種別（advertise timer or master down timer）

【メッセージ】

```
%1 %2 %3 %4 clear.... Done
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

clear vrrp status コマンドを実行しました。

【パラメタの意味】

%1=Port-channel, Management

%2=インタフェース番号（all 指定の場合は all）

%3=vrid（vrid 指定でコマンドを実行した場合のみ表示）

%4=VRID 値（vird 指定でコマンドを実行したの場合のみ表示）

【メッセージ】

```
The advertisement interval in the received advertisement is different
from the local advertisement interval.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した advertisement パケットの interval が local advertisement interval と違います。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The virtual address in the received advertisement is different from the
local virtual address.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した advertisement パケットの仮想アドレスがローカル仮想アドレスと違います。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Transition to %1 on %2<%3> Vrid<%4> %5
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Master、Backup、Initialize 状態のどれかへ遷移しました。

【パラメタの意味】

%1= 遷移後の状態 (Master, Backup, Initialize)

%2= インタフェース種別 (Port, Management)

%3= インタフェース番号

%4=VRID 値

%5= 遷移理由

【メッセージ】

```
Error ioctl(SIOCDIFVADDR) %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ioctl(SIOCDIFVADDR) に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
IP_%1_MEMBERSHIP skipped: index[%2] vrfid[%3] %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MEMBERSHIP の追加または削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ADD/DROP

%2= インデックス

%3=vrfid

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
request track object %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該トラックオブジェクトのエントリが見つかりません。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクト番号

【メッセージ】

```
request track object %1 is not vhost
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該トラックオブジェクトは vhost track 設定ではありません。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクト番号

【メッセージ】

```
request vhost %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該オブジェクト番号の仮想アドレスが見つかりません。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクト番号

【メッセージ】

```
survey connection closed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

survey とのコネクションが切断されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
timer delay warning %1 sec (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP がタイマ異常（advertise timer or masterdown timer）を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= タイマ遅延時間

%2= タイマ種別（advertise timer or master down timer）

【メッセージ】

```
track-group %1: track %2 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定した track-group 内の track 番号が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

%2=track番号

【メッセージ】

```
request track-group %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

要求したtrack-group名が存在しません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

【メッセージ】

```
track-group %1: track %2 is not valid track
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定したtrack-group内のtrack番号が有効な番号ではありません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

%2=track番号

【メッセージ】

```
Delegation interface is not found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Delegation インタフェースが見つかりません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 87 章 Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) for IPv6

この章では、Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) for IPv6 に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 connect failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 if_id failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 recv failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 send failed %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
disabling track object %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

track object が無効です。track の設定を見直してください。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクトナンバー

【メッセージ】

```
Error ioctl(SIOCSIFVADDR_IN6) %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
exec vrrpcli err
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
I/F info create getifaddrs: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
receive vrrp packet size error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

異常なサイズの advertise パケットを受信しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
send trap failed to insert VarBindList
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
udp send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

パケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
unknown track message type[%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

未知のタイプの track メッセージを受信しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージタイプ

【メッセージ】

```
uwdt init error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt start error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
uwdt continue error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspended error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt restart error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
vrrp advertisement send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

vrrp advertisement パケットの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
vrrp has detected abnormal timer delay %1 sec (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP がタイマ異常 (advertise timer or masterdown timer) を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= タイマ遅延時間

%2= タイマ種別 (advertise timer or master down timer)

【メッセージ】

```
%1 %2 %3 %4 clear.... Done
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

clear ipv6 vrrp status コマンド実行しました。

【パラメタの意味】

%1=Port-channel, Management

%2= インタフェース番号 (all 指定の場合は all)

%3=vrid（vrid 指定でコマンドを実行した場合のみ表示）

%4=VRID 値（virid 指定でコマンドを実行したの場合のみ表示）

【メッセージ】

```
The advertisement interval in the received advertisement is different
from the local advertisement interval.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した advertisement パケットの interval が local advertisement interval と違います。

advertise パケットと cli 設定の広告送信間隔を確認してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
The virtual address in the received advertisement is different from the
local virtual address.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

受信した advertisement パケットの仮想アドレスがローカル仮想アドレスと違います。
仮想アドレス設定を見直してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Transition to %1 on %2<%3> Vrid<%4>  %5
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Master,Backup,Initialize 状態のどれかへ遷移

【パラメタの意味】

%1=Master, Backup, Initialize
%2=Port, Management
%3= インタフェース番号
%4=VRID 値
%5= 遷移理由

【メッセージ】

```
Error ioctl(SIOCDIFVADDR_IN6) %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
IPV6_%1_GROUP skipped index[%2] vrfid[%3]: %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

マルチキャストグループの参加、または離脱に失敗しました。

IPv6 VRRP に関する設定を含むインタフェースを削除したときに記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1=JOIN, LEAVE

%2= インタフェース識別番号

%3=vrfid

%4= エラーコード

【メッセージ】

```
timer delay warning %1 sec (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

VRRP がタイマ異常 (advertise timer or masterdown timer) を検出しました。

【パラメタの意味】

%1= タイマ遅延時間

%2= タイマ種別 (advertise timer or master down timer)

【メッセージ】

```
request track object %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該オブジェクトが見つかりませんでした。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1=オブジェクト番号

【メッセージ】

```
request track object %1 is not vhost
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該トラックオブジェクトは vhost track 設定ではありません。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1=オブジェクト番号

【メッセージ】

```
request vhost %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

当該オブジェクト番号の仮想アドレスが見つかりません。
設定方法によっては、設定反映時に記録される場合があります。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクト番号

【メッセージ】

```
survey connection closed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

survey とのコネクションが切断されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
track object %1 survey not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

track object の survey 監視登録に失敗しました。
継続して出ている場合は track の設定および survey の設定を見直してください。

【パラメタの意味】

%1= オブジェクトナンバー

【メッセージ】

```
track-group %1: track %2 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定したtrack-group内のtrack番号が見つかりません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

%2=track番号

【メッセージ】

```
request track-group %1 is not found
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

要求したtrack-group名が存在しません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

【メッセージ】

```
track-group %1: track %2 is not valid track
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

設定したtrack-group内のtrack番号が有効な番号ではありません。

【パラメタの意味】

%1=track-group名

%2=track番号

【メッセージ】

```
Delegation interface is not found
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

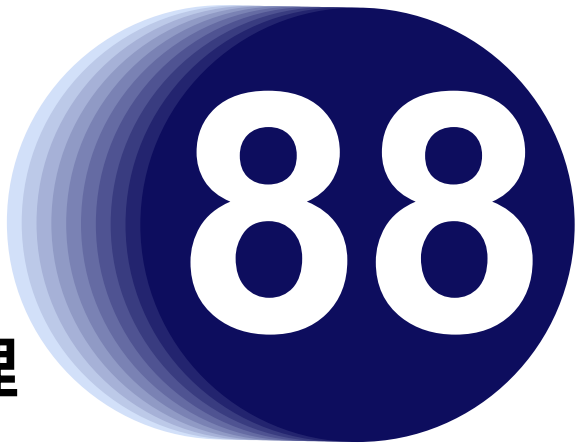
【意味】

Delegation インタフェースが見つかりません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第88章
ルーティング
プロトコル処理



この章では、ルーティングプロトコル処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 exceeded warning threshold. (%2% used)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置内で使用される ID リソースが warning しきい値 (default 90%) に達しました。

【パラメタの意味】

%1=ID 名

%2=ID リソースの使用率

【メッセージ】

```
%LINEPROTO-UPDOWN: Line protocol on Interface %1, changed state to %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェース上の Line protocol が UP/Down しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2=up、または down

【メッセージ】

```
Bfd_Library_Stop addr NULL error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリの実行に失敗しました（アドレスエラー）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Bfd_Library_Stop map NULL error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリの実行に失敗しました（map 名エラー）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
create socket error[%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

vrrpd <=> nsm のソケット作成に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 通信ソケットのファイルディスクリプタ

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Cannot find VRF %m1 in IFID
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

IFID 共有メモリに登録されていない VRF だったため nsm への VRF 登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 登録に失敗した VRF 名

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket set recv buff
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

track メッセージの受信バッファのサイズ変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fail UNIX domain socket set send buff
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

track メッセージの送信バッファのサイズ変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
failed to assign %1 NHID due to reaching the limit.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NHID リソースが枯渇しました。

【パラメタの意味】

%1=nhd_type

【メッセージ】

```
failed to assign RT-EXP-ID due to reaching the limit.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

RT-EXP-ID リソースが枯渇しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fcntl(%1, F_SETFD, FD_CLOEXEC)[%2] FAIL (%3:%4)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ディスクリプタのフラグの設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ソケット番号

%2= エラーコード

%3= エラー番号

%4= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
ioctl(SIOCSRTNHID) error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

kernel への nexthop ID のセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー内容

【メッセージ】

```
Init_BfdCom not connect bfdd
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD デーモンとの通信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
MAXPFXEXCEED: No. of prefix received from %1 (afi %2): %3 exceed limit
%4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

prefix count が max 値を超過しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=afi

%3=prefix count 数

%4=max 値

【メッセージ】

```
memory-exhausted.(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスがメモリを確保できませんでした。

【パラメタの意味】

%1= システムコール名

【メッセージ】

```
nexthop %1 (RD %2) status is updated over unexpected times
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

nexthop の状態更新処理が、異常回数（5 回以上）行われました。経路表の状態に不整合が生じている可能性があります。

【パラメタの意味】

%1=nexthop アドレス

%2=nexthop の属する VRF の RD

【メッセージ】

```
no peer node
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD へ通知する際、ピアにノードがありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
not Bfd_Library_Init [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
not Bfd_Library_Read [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
not Bfd_Library_Reconnect [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
not Bfd_Library_Start [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
not Bfd_Library_Stop [%1]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのロードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
not load /usr/lib/libbfd_com.so
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD ライブラリのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
nsm: Routing socket overflowed! cnt: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

モジュール間メッセージの送受信に使われる socket buffer が overflow しました。モジュール間でインタフェースや connected 経路の状態に不整合が発生している可能性があります。

【パラメタの意味】

%1=overflow したメッセージ数

【メッセージ】

```
null peer
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

BFD へ通知する際、ピアの情報がありません。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
prefix[%1/%2] kernel route add error[%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

kernel への経路追加に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗した経路のアドレス

%2=失敗した経路のマスク長

%3=エラーコード

【メッセージ】

```
prefix[%1/%2] kernel route delete error[%3]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

kernel からの経路削除に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 失敗した経路のアドレス

%2= 失敗した経路のマスク長

%3= エラーコード

【メッセージ】

```
recv illegal remote discriminator. old %1 / new %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LSP-ping BFD 連携時、ping reply で不正なリモート discriminator を受信しました。

【パラメタの意味】

%1= 受信を想定しているリモート discriminator 値

%2= 実際に受信したリモート discriminator 値

【メッセージ】

```
%1 exceeded alert rate. (%2%% used)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

装置内で使用される ID リソースが alert しきい値（default 99%）に達しました。

【パラメタの意味】

%1=ID 名 (NHDN NHID,LINK NHID,LSP NHID,RT-EXP-ID,ILM Counter ID)

%2=ID リソースの使用率

【メッセージ】

```
start BFD session. (discriminator: local %1 / remote %2)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

LSP-ping BFD 連携時、正常に BFD セッションを開始しました。

【パラメタの意味】

%1= ローカル discriminator 値

%2= リモート discriminator 値

【メッセージ】

```
write error fd[%1] error[%2]
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

vrrpd へのメッセージ送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 通信ソケットのファイルディスクリプタ

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
COUNTER-CHANGED: %1 %2/3: %4 -> %5
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

show ip bgp コマンドで経路表示にともない、経路数の数えなおしが動作し、数えなおし前後で経路数が変化しました。

【パラメタの意味】

%1=host IP address

%2/%3= 経路種別 ID

%4= 数えなおし前の値

%5= 数えなおし後の値

【メッセージ】

```
COUNTER-CHANGED: %1 vrf %2 %3/%4: %5 -> %6
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

show ip bgp コマンドで経路表示にともない、経路数の数えなおしが動作し、数えなおし前後で経路数が変化しました。

【パラメタの意味】

%1=host IP address

%2=VRF 名

%3/%4= 経路種別 ID

%5= 数えなおし前の値

%6= 数えなおし後の値

【メッセージ】

```
Kernel add failed.(%1) : static ARP/NDP %2, vrfid(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

インタフェース設定変更時に static ARP(NDP) をカーネルへ登録しましたが、失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=契機となったメッセージタイプ

%2=失敗したエントリのプレフィックス

%3=エントリの VRFID(system vrf id)

【メッセージ】

```
Kernel add failed. : static ARP/NDP %1, vrfid(%2)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

static ARP(NDP) 設定を読み込んだときにカーネルへ登録しましたが、失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗したエントリのプレフィックス

%2=エントリの VRFID(system vrf id)

【メッセージ】

```
Kernel nhid set failed. : static ARP/NDP %1, vrfid(%2), nhid(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

待機系側 NSM で同期により受信した nexthop ID のカーネルへのセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=失敗したエントリの prefix

%2=エントリの VRFID(system vrf id)

%3=セットしようとした nexthop ID

【メッセージ】

```
MAXPFXEXCEED(WARNING): No. of prefix received from %1 (afi %2): %3
exceed limit %4
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

prefix count が warning 値を超過しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=afi

%3=prefix count 数

%4=warning 値

【メッセージ】

```
nsm_client_read_msg: header decode error(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NSM クライアントとの通信中に、ヘッダのデコードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーコード

【メッセージ】

```
nsm_client_read_msg: read error(length=%1)(%2)(%3)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

NSM クライアントとの通信中に、メッセージの読み込みに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= メッセージ長

%2= 読み込めたバイト数

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
nsm_parse_route_ipv4: decode error(%1)
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

経路データのデコードに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーコード

【メッセージ】

```
%1 %2 [FSM] %3 (%4->%5)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

BGP の FSM 状態遷移により、Established になりました。または、Established から他の状態に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス（動的に接続されたピアの先頭には "*" が付きます）

%2=VRF 名

%3=イベントの種類（以下のどれか）

- BGP_Start
- BGP_Stop
- TCP_connection_open
- TCP_connection_closed
- TCP_connection_open_failed
- TCP_fatal_error
- ConnectRetry_timer_expired
- Hold_Timer_expired
- KeepAlive_timer_expired
- Receive_OPEN_message
- Receive_KEEPALIVE_message
- Receive_UPDATE_message
- Receive_NOTIFICATION_message

%4=BGP ステート（以下のどれか）
Idle
Connect
Active
OpenSent
OpenConfirm
Established
%5=BGP ステート（以下のどれか）
Idle
Connect
Active
OpenSent
OpenConfirm
Established

【メッセージ】

```
%1 %2 NOTIFICATION %3/%4 (%5%6) %7 bytes"
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
BGP NOTIFICATION メッセージを送受信しました。

【パラメタの意味】
%1=BGP ピアのアドレス
%2=sending または received
%3=NOTIFICATION コード
%4=NOTIFICATION サブコード
%5=NOTIFICATION コードメッセージ（以下のどれか）
Message Header Error
OPEN Message Error
UPDATE Message Error
Hold Timer Expired
Finite State Machine Error
Cease
Unrecognized Error Code
%6=NOTIFICATOIN サブコードメッセージ（以下のどれか）
【メッセージヘッダエラーの場合】
Connection Not Synchronized.
Bad Message Length.
Bad Message Type.

【OPEN メッセージエラーの場合】
Unsupported Version Number.
Bad Peer AS.
Bad BGP Identifier.
Unsupported Optional Parameter.
Authentication Failure.
Unacceptable Hold Time.
Unsupported Capability.
【UPDATE メッセージエラーの場合】
Malformed Attribute List.
Unrecognized Well-known Attribute.
Missing Well-known Attribute.
Attribute Flags Error.
Attribute Length Error.
Invalid ORIGIN Attribute.
AS Routing Loop.
Invalid NEXT_HOP Attribute.
Optional Attribute Error.
Invalid Network Field.
Malformed AS_PATH.
【CEASE の場合】
Maximum Number of Prefixes Reached.
Administratively Shutdown.
Peer Unconfigured.
Administratively Reset.
Connection Rejected.
Other Configuration Change.
【その他の場合】
Unrecognized Error Subcode
%7=NOTIFICATION の長さ（数字）

【メッセージ】

```
%1 (%2) Attribute discard error %3(%4) : %5 (%6)
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
Attribute discard を行うエラーを発見しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名または INET

%3= エラーのあったアトリビュート名（以下のどれか）

ORIGIN

NEXT_HOP

MULTI_EXIT_DISC

LOCAL_PREF

ATOMIC_AGGREGATE

AGGREGATOR

COMMUNITY

ORIGINATOR_ID

CLUSTER_LIST

EXTENDED COMMUNITIES

AS4_PATH

AS4_AGGREGATOR

REMOTE_NEXT_HOP

UNKNOWN

%4= エラーのあったアトリビュートタイプ（数字）

%5= エラーの内容（以下のどれか）

【ORIGIN の場合】

Same attribute appears twice in a message

【NEXT_HOP の場合】

Same attribute appears twice in a message

【MULTI_EXIT_DISC の場合】

Same attribute appears twice in a message

【LOCAL_PREF の場合】

Attribute is received from eBGP peer

Same attribute appears twice in a message

【ATOMIC_AGGREGATE の場合】

Attribute length is not zero

Same attribute appears twice in a message

【AGGREGATOR の場合】

Attribute length is not six

Attribute length is not eight

AS number is invalid

Same attribute appears twice in a message

【COMMUNITY の場合】

Same attribute appears twice in a message

【ORIGINATOR_ID の場合】

Attribute is received from eBGP peer

Same attribute appears twice in a message

【CLUSTER_LIST の場合】
Attribute is received from eBGP peer
Same attribute appears twice in a message
【EXTENDED COMMUNITIES の場合】
Same attribute appears twice in a message
【AS4_PATH】
Attribute length is invalid
Attribute is received from NBGP speaker
Segment type is invalid
Segment length is invalid
AS number is invalid
Same attribute appears twice in a message
【AS4_AGGREGATOR】
Attribute length is not eight
Attribute is received from NBGP speaker
Aggregator attribute do not exist
AS number is invalid
Same attribute appears twice in a message
【REMOTE_NEXT_HOP の場合】
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
TLV length is invalid
Tunnel address length is invalid
Same attribute appears twice in a message
【UNKNOWN の場合】
Attribute flag value is invalid
Same attribute appears twice in a message
%6= エラーのあったパラメタの値（数字）

【メッセージ】

```
%1 (%2) BGP surveillance peer %3 %4
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
VRF の BGP ピアが監視している survey の状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名

%3=survey ピアのアドレス

%4=up/down

【メッセージ】

```
%1 (%2) BGP track-group %3 %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

VRF の BGP ピアが監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名

%3= トラックグループ名

%4=up/down

【メッセージ】

```
%1 (%2) BGP track %3 %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

VRF の BGP ピアが監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名

%3= トラック番号

%4=up/down

【メッセージ】

```
%1 (%2) Segment discard error AS4_PATH(17) : Segment type is %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

AS4_PATH の segment type が AS_CONFED_SET、または AS_CONFED_SEQUENCE で、その segment を廃棄しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名、または INET

%3=segment type(AS_CONFED_SET、または AS_CONFED_SEQUENCE)

【メッセージ】

```
%1 (%2) Treat-as-withdraw error %3(%4) : %5 (%6)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Treat-as-withdraw を行うエラーを発見しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2=VRF 名または INET

%3= エラーのあったアトリビュート名（以下のどれか）

ORIGIN
AS_PATH
NEXT_HOP
MULTI_EXIT_DISC
LOCAL_PREF
ATOMIC_AGGREGATE
AGGREGATOR
COMMUNITY
ORIGINATOR_ID
CLUSTER_LIST
EXTENDED COMMUNITIES
AS4_PATH

AS4_AGGREGATOR
REMOTE_NEXT_HOP
UNKNOWN
%4= エラーのあったアトリビュートタイプ（数字）
%5= エラーの内容（以下のどれか）
【ORIGIN の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not one
Missing well-known attribute
Attribute value is invalid
【AS_PATH の場合】
Attribute length exceed total attribute length
【NEXT_HOP の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
Missing well-known attribute
Attribute value is invalid
【MULTI_EXIT_DISC の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【LOCAL_PREF の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【ATOMIC_AGGREGATE の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【AGGREGATOR の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【COMMUNITY の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
【ORIGINATOR_ID の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is not four
【CLUSTER_LIST の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid

【EXTENDED COMMUNITIES の場合】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
【AS4_PATH】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【AS4_AGGREGATOR】
Attribute length exceed total attribute length
Attribute flag value is invalid
【REMOTE_NEXT_HOP の場合】
Attribute length exceed total attribute length
【UNKNOWN の場合】
Attribute length exceed total attribute length
【アトリビュート名が表示されない】
Attribute length is smaller than min len
%6= エラーのあったパラメタの値（数字）

【メッセージ】

```
%1 BGP surveillance peer %2 %3
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】
INET の BGP ピアが監視している survey の状態が up/down しました。

【パラメタの意味】
%1=BGP ピアのアドレス
%2=survey ピアのアドレス
%3=up/down

【メッセージ】

```
%1 BGP track-group %2 %3
```

【プライオリティ】
LOG_INFO

【ファシリティ】
LOG_USER

【意味】

INET の BGP ピアが監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2= トラックグループ名

%3=up/down

【メッセージ】

```
%1 BGP track %2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

INET の BGP ピアが監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1=BGP ピアのアドレス

%2= トラック番号

%3=up/down

【メッセージ】

```
%1 OSPF track-group %2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= トラックグループ名

%3=up/down

【メッセージ】

```
%1 OSPF track %2 %3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

監視しているトラックの状態が up/down しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

%2= トラック番号

%3=up/down

【メッセージ】

```
%OSPF-AREA-CHANGE: from area %1 to area %2 ( %3/%4 )
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定変更により、%3/%4 に対するエリアが %1 から %2 に変更されました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2= 変更後のエリア ID

%3/%4= ネットワーク／マスク長

【メッセージ】

```
(%1) : clear maximum FEC (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

一度超過した FEC 数が max-fec で指定した値以下に減少しました。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名または global

%2=FEC 数

【メッセージ】

```
(%1) : Exceed maximum FEC (%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

FEC 数が max-fec で指定した値を超過しました。

【パラメタの意味】

%1=VRF 名または global

%2=FEC 数

【メッセージ】

```
(%1) [FSM] Session with %2 up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ネイバーのセッションがアップしました。

【パラメタの意味】

%1=インタフェース名

%2=ピアアドレス

【メッセージ】

```
function time error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

現在時刻の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
LAN-NFSM[%1]: Level %2 %3 (%4)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Neighbor Finate State Machine が変化しました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバー名

%2=IS-IS level

%3=Neighbor の State

%4= 変更契機となるイベント

【メッセージ】

```
LAN-NFSM[%1]: Level %2 hold timer expired
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Hold timer が expire しました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバー名

%2=IS-IS level

【メッセージ】

```
LAN-NFSM[%1]: Level %2 State change %3 -> %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Neighbor Finate State Machine が変化しました。

【パラメタの意味】

%1= ネイバー名

%2=IS-IS level

%3= 変更前の State

%4= 変更後の State

【メッセージ】

```
NFSM[%1-%2]: %3 (%4)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

OSPF ネイバーステートが FULL になりました。または、FULL から他の状態に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=OSPF ネイバーのインタフェース ID

%3= ネイバーステート（以下のどれか）

Down

Attempt

Init

2-Way

ExStart

Exchange

Loading

Full

%4= イベント（以下のどれか）

HelloReceived

Start

2-WayReceived

NegotiationDone

ExchangeDone

BadLSReq

LoadingDone

AdjOK?

SeqNumberMismatch
1-WayReceived
KillNbr
InactivityTimer
LLDown

【メッセージ】

```
NFSM[%1-%2]: Status change %3 -> %4
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

OSPF ネイバーステートが FULL になりました。または、FULL から他の状態に遷移しました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス
%2=OSPF ネイバーのインタフェース ID
%3= 遷移前のネイバーステート（以下のどれか）
Down
Attempt
Init
2-Way
ExStart
Exchange
Loading
Full
%4= 遷移後のネイバーステート（以下のどれか）
Down
Attempt
Init
2-Way
ExStart
Exchange
Loading
Full

【メッセージ】

```
NFSM[%1%2]: Inactivity timer expire
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

OSPF ネイバーからの Hello packet を hello dead interval の間に受信しませんでした。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=OSPF ネイバーのインタフェース ID

【メッセージ】

```
Process restart (AS changed: %1 -> %2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

AS 番号が変更された場合

【パラメタの意味】

%1=旧 AS 番号

%2=新 AS 番号

【メッセージ】

```
Process Refresh
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

no router {ospf|bgp} により、ルーティングデーモンの動作が無効化されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Received invalid packet from %1: Authentication failed, %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ospf の authentication に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
Received invalid packet from %1: Bad Checksum, %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ospf の Checksum がエラーしました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
Received invalid packet from %1: md5 authentication failed, %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ospf の MD5 認証に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
Received invalid packet from %1: mismatch area ID, %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ospf のエリア ID が異なります。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
Received invalid packet from %1: mismatch authentication type, %2.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

ospf の authentication type が異なります。

【パラメタの意味】

%1=OSPF ネイバーのアドレス

%2=インタフェース名

【メッセージ】

```
Remote %1 speaker, Local %2 speaker, %3 (%4) %5 error AS_PATH(2) :
%6(%7)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

Treat-as-withdraw またはAttribute discard を行うエラーを発見しました。

【パラメタの意味】

%1=OBGP または NBGP
%2=BGP または NBGP
%3=BGP ピアのアドレス
%4=VRF 名、または INET
%5= エラー処理（以下のどれか）
Treat-as-withdraw
Attribute discard
%6= エラーの内容（以下のどれか）
【Treat-as-withdraw の場合】
Attribute flag value is invalid
Attribute length is invalid
Missing well-known attribute
Segment type is invalid
Segment length is invalid
AS number is invalid
BGP confederation configuration error
【Attribute discard の場合】
Same attribute appears twice in a message
%7= エラーのあったパラメタの値（数字）

【メッセージ】

```
Too short, need long time more than keepalive-interval
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

keepalive-timeout の設定が、keepalive-interval よりも短く設定されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
ValidLifetime must be greater than PreferredLifetime
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

valid life time の設定値が、preferred life time の設定値よりも小さいです。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 89 章
モデム通信機能

この章では、モデム通信機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
Fail to accept socket %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to power-on USB%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USBリセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
Fail to bind socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to create descriptor, epoll:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to create socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to power-off USB%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB リセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USB ポート番号

【メッセージ】

```
Fail to get USB%1 status
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB リセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USB ポート番号

【メッセージ】

```
Fail to listen socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to open %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラー要因

【メッセージ】

```
Fail to register device, %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set USB%1 mount status
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USB ポート番号

【メッセージ】

```
Fail to set WWAN status %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set event (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
Invalid USB control command %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Invalid USB port %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
libusb: init error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Receive error, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
serial io error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

モデムに対する初期化文字列の送信が失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
unexpected session status %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

MIB取得時に内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
unknown epoll event %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
USB%1 is already power-on
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USBリセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
USB%1 is already power-off
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB リセットに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USB ポート番号

【メッセージ】

```
uwdt init error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt restart error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt start error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt suspend error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
USB reset already in progress
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB リセットが多重実行されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
CD-ROM ejected %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB ドングルの初期化処理を実施しました（正常）。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Modem device found (%1:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

新しいUSBモデムを検出しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

【メッセージ】

```
modem profile cleared
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

modemdが保持するプロファイル設定がクリアされました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
modem profile updated (%1)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

modem profile設定に変更がありました。

【パラメタの意味】

%1=プロファイル名

【メッセージ】

```
signal condition initialized
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

電波監視のログ出力が有効で、電波監視機能が初期化されました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
signal-quality confirm failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

電波監視のログ出力が有効で、定期監視と再監視で監視結果に差がありました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
signal-quality=%1, condition=%2%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

電波監視のログ出力が有効で、定期監視が実行されました。

【パラメタの意味】

%1= 電波信号品質

%2= 電波状態（good または bad）

%3= 電波状態に変更がなかった場合は空文字、電波状態に変更があった場合は (changed)

【メッセージ】

```
USB%1 attached
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB通信ドングルがアタッチされました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
USB%1 detached
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB通信ドングルがデタッチされました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
USB%1 power-off
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB通信ドングルへの電源供給が停止されました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
USB%1 power-on
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB通信ドングルへの電源供給が再開されました。

【パラメタの意味】

%1=USBポート番号

【メッセージ】

```
usb_modeswitch: %1
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

modemプロセスがusb_modeswitchを実行しました。

【パラメタの意味】

%1=USBドングルのモード（モデムまたはイーサネット）

【メッセージ】

```
switch device %1:%2 on %3/%4
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

USBモデムが装着され、デバイスモードの切り替えを行います。

【パラメタの意味】

%1= モード切り替え前のベンダー ID

%2= モード切り替え前のプロダクト ID

%3= 内部情報

%4= 内部情報

【メッセージ】

```
usb_modeswitch: switched to %1:%2 on %3/%4
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_SYSLOG

【意味】

USB モデムが装着され、デバイスモードが切り替えられました。

【パラメタの意味】

%1= モード切り替え後のベンダー ID

%2= モード切り替え後のプロダクト ID

%3= 内部情報

%4= 内部情報

第90章
USB-Ethernet機能

この章では、USB-Ethernet機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
curl not initialized
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to accept socket %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to bind socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to create descriptor, epoll:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to create socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to create timer, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to init curl
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Fail to ioctl(SIOCGIFFLAGS) for status, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to ioctl(SIOCGIFHWADDR) for macaddr, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Fail to ioctl(SIOCGIFFLAGS) for shutdown, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to ioctl(SIOCSIFFLAGS) for shutdown, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to listen socket, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to open %1, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to register device, %1:%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set event (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set SIGALRM, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set timer, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
Fail to set USB%1 mount status
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB LED の設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=USB ポート番号

【メッセージ】

```
invalid xml format
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB Ethernet デバイスから取得したデータが不正でした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
invalid xml node
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

USB Ethernet デバイスから取得したデータが不正でした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Receive error, %1 %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Receive error, invalid dhcpcd header length %1/%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Receive error, invalid ifd header length %1/%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
Send request DHCP option error, %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

DHCP オプションのリクエスト送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー要因

【メッセージ】

```
unknown epoll event %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt init error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt start error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt send error %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt suspend error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt restart error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt stop error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
signal-strength=%1, signal-level=%2, network=%3
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

電波信号品質の状態を表します。

【パラメタの意味】

%1= 電波信号品質

%2= 電波信号レベル

%3= ネットワークの種類

【メッセージ】

```
USB-Ethernet device found (%1:%2)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

新しいUSB Ethernetデバイスを検出しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

%2=内部情報

第91章 イベントアクション機能

この章では、イベントアクション機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
%1 : trap send error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

Trapの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=メッセージの内容

【メッセージ】

```
'%1': cannot write to share memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
'%1' exceeds max %2 configurations (%3) - ignored: '%4'
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

イベントアクション設定で設定上限数を超えたため設定エラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= エラーとなった event-action モード

%2= エラーとなった理由

%3= 設定上限数

%4= エラーとなった設定

【メッセージ】

```
'%1' ftp url is invalid - ignored %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

event action 機能でサポートしていない ftp url が指定されたためエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= エラーとなった event-action モード

%2= エラーとなった設定

【メッセージ】

```
'%1' length over the maximum number of characters - ignored %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

イベントアクション設定で文字数制限を超えたためエラーとなりました。

【パラメタの意味】

%1= エラーとなった event-action モード

%2= エラーとなった設定

【メッセージ】

```
%1 shm attach error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
%1 shm create error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
accept list over
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
accept error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
action error: No:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

何らかの原因によりアクションが途中で終了しました。

【パラメタの意味】

%1= エラー終了した event action のエントリ

【メッセージ】

```
cannot access %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cannot allocate memory for thread
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部メモリが不足しています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Cannot allocate memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部メモリが不足しています。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot convert %1 to mib_ifindex
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cannot convert mib_ifindex(%1) to cliname
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
cannot create thread:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Cannot find comparison operator
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot find event-action entry %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エントリ番号

【メッセージ】

```
cannot find interface name: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
cannot join thread: No:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
Cannot kill child process(%1) :%2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= プロセス ID

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
cannot make complete show msg
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました（表示コマンドのエラー）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot make show msg
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました（表示コマンドのエラー）。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
cannot open %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
cli pattern check error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
config error - ignored: '%1'
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

設定エラーのためイベントアクション設定が無効になりました。

【パラメタの意味】

%1= エラーとなった event-action モード

【メッセージ】

```
data size fault
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
disconnect fd=%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
event type error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
exec %1 error: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクションを実行中にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーとなったアクション種別

%2=エラーとなったアクションの内容

【メッセージ】

```
exec error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1=内部情報

【メッセージ】

```
exec %1 error: %2 => %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アクションを実行中にエラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= エラーと Action 種別

%2= エラーとなったアクションの内容

%3= エラーの原因

【メッセージ】

```
Fail to make of emd daemon
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fgetpos: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
fopen %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

%2= 内部情報

【メッセージ】

```
fork error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
forkpty error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
fseek: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
interface action error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

インタフェースが対象のアクションに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= インタフェース名

【メッセージ】

```
Limit of exec mutex(%1) : %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

同時に実行可能なアクション数の制限により、ログに示されたアクションを実行できませんでした。
エラーしたアクションはリトライ（再実行）されます。

【パラメタの意味】

%1= 同時実行可能なアクションの上限数
%2= エラーしたアクションの内容

【メッセージ】

```
memory cannot alloc
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部メモリの生成に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
mutex error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
recv data fail
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
recv error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
regex compile failed.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Reload config error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
select error : %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
send error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
set config error:%1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
smux connect error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket bind/listen error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
socket create error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
There was an abnormality in a shared memory
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
unexpected error
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
uwdt_init error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt_start error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt_suspend error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
uwdt_resume error: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
waitpid fail: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部エラーが発生しました。

【パラメタの意味】

%1= 内部情報

【メッセージ】

```
action terminate %1: No:%2
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

refresh により実行中のアクションを終了しました。

【パラメタの意味】

%1= 強制終了の理由

%2= 強制終了された event action のエントリ

【メッセージ】

```
Limit of exec : report-all
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

event action による report-all の実行が重複しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Event-Action start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

イベントアクションのプロセスが正常にスタートしました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
Warning: 'event-ping' setting exceeds 10.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

event ping 設定が 10 件を超えました。
Ping によるイベント設定を 10 件以内に調整してください。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第92章 IDS機能

この章では、IDS機能に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
ids %1 %2(%3) %4 : %5
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

IDS 機能によって、パケットが検知されたことを示します。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル名。"IPv4" または "IPv6"

%2= インタフェース名。検知した直後にインタフェースが削除された場合は、インタフェース名の表示が "unknown" になる場合があります。

%3= 方向。"in" または "out"

%4= メッセージ（検知理由）。

【IPv4 の検知理由】

IP ヘッダ関連

- Unknown IP protocol
  - protocol フィールドが 143 以上のとき
- Land attack
  - 始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき
- LongIP header
  - IP ヘッダの長さが length フィールドの長さよりも長いとき
- Malformed packet
  - length フィールドと実際のパケットの長さが違うとき

IP オプションヘッダ関連

- Malformed IP opt
  - オプションヘッダの構造が不正であるとき
- Security IP opt
  - Security and handling restriction header を受信したとき
- Loose routing IP opt
  - Loose source routing header を受信したとき
- Record route IP opt
  - Record route header を受信したとき
- Stream ID IP opt
  - Stream identifier header を受信したとき
- Strict routing IP opt
  - Strict source routing header を受信したとき
- Timestamp IP opt
  - Internet timestamp header を受信したとき

フラグメント関連
- Fragment storm
  - 大量のフラグメントを受信したとき
- Large fragment offset
  - フラグメントの offset フィールドが大きいとき
- Too many fragment
  - フラグメントの分割数が多いとき
- Teardrop
  - Teardrop などのツールによる攻撃を受けたとき
- Same fragment offset
  - フラグメントの offset フィールドの値が重複しているとき
- Invalid fragment
  - そのほかのリアセンブル不可能なフラグメントを受信したとき

ICMP 関連
- ICMP source quench
  - source quench を受信したとき
- ICMP timestamp request
  - timestamp request を受信したとき
- ICMP timestamp reply
  - timestamp reply を受信したとき
- ICMP info request
  - information request を受信したとき
- ICMP info reply
  - information reply を受信したとき
- ICMP mask request
  - address mask request を受信したとき
- ICMP mask reply
  - address mask reply を受信したとき
- ICMP too large
  - 1025 バイト以上の ICMP を受信したとき

UDP 関連
- UDP short header
  - UDP の length フィールドの値が 8 よりも小さいとき
- UDP bomb
  - UDP ヘッダの length フィールドの値が大きすぎるとき

TCP 関連
- TCP short header
  - データオフセットフィールドの値が小さすぎるとき
- TCP no bits set
  - フラグに何もセットされていないとき
- TCP SYN and FIN
  - SYN と FIN が同時にセットされているとき
- TCP FIN and no ACK
  - ACK のない FIN を受信したとき

FTP 関連

FTP improper port

PORT や PASV コマンドで指定されるポート番号が 1024 ～ 65535 の範囲でないとき

【IPv6 ヘッダ関連】

IPv6 ヘッダ関連

Unknown IP protocol

protocol フィールドが 143 以上のとき

Land attack

始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき

Malformed packet

IPv6 ヘッダにペイロード長を加えた値が実際のパケットの長さが違うとき

IP 拡張ヘッダ関連

Malformed ext

オプションヘッダの構造が不正であるとき

Hop by hop ext

Hop by hop を受信したとき

Jumbo payload ext

Jumbo payload ヘッダを受信したとき

Type 0 Routing ext

Routing ヘッダ（Type0）を受信したとき

Routing ext

Routing ヘッダ（Type0 以外）を受信したとき

Unknown ext

解析できない拡張ヘッダを受信したとき

フラグメント関連

Fragment storm

大量のフラグメントを受信したとき

Large fragment offset

フラグメントの offset フィールドが大きいとき

Too many fragment

フラグメントの分割数が多いとき

Teardrop

Teardrop などのツールによる攻撃を受けたとき

Same fragment offset

フラグメントの offset フィールドの値が重複しているとき

Invalid fragment

そのほかのリアセンブル不可能なフラグメントを受信したとき

ICMPv6 関連

ICMP node info query

ICMP node information query を受信したとき

ICMP node info reply

ICMP node information reply を受信したとき

ICMP router renum

ICMP router renumbering を受信したとき

UDP 関連

UDP short header

UDP の length フィールドの値が 8 よりも小さいとき

UDP bomb

UDP ヘッダの length フィールドの値が大きすぎるとき

TCP 関連

TCP short header

データオフセットフィールドの値が小さすぎるとき

TCP no bits set

フラグに何もセットされていないとき

TCP SYN and FIN

SYN と FIN が同時にセットされているとき

TCP FIN and no ACK

ACK のない FIN を受信したとき

FTP 関連

FTP improper port

EPRT や EPSV コマンドで指定されるポート番号が 1024 ～ 65535 の範囲でないとき

%5= 検出したパケットの内容

出力形式を以下に示します。

<P> <SA> -> <DA>

<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>

<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP> ftp port:<ftp port>

<P> <SA> -> <DA> fragment offset:<fragment>

<P> <SA> -> <DA> <icmp type>:<icmp code>

同一の内容の検出が連続した場合には、末尾に以下が追加されます。

<n> times

検出したパケット内容の検出形式の説明

<P>

プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>

送信元 IP アドレス

<SP>

送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<DA>

宛先 IP アドレス

<DP>

宛先ポート番号 (プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<fragment offset>

フラグメントオフセットの量を示します。

<icmp type>

ICMP type

<icmp code>

ICMP code

<ftp port>

ftp port 番号

<n>

連続回数

補足

- TCP または UDP に関わる検出パケット通知だけ、ポート番号に関する情報が出力されます。
- FTP に関わる検出パケット通知だけ FTP ポート番号に関する情報が出力されます。
- ICMP に関わる検出パケット通知だけ ICMP type と ICMP code に関する情報が出力されます。

第93章 サービス管理 (inetd)

この章では、サービス管理 (inetd) に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

```
accept (for ftp): Software caused connection abort
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
accept (for telnet): Software caused connection abort
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1/%2 server failing (looping), service terminated
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

1分間の接続限界を超えたため、サービスを終了しました。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= プロトコル

【メッセージ】

```
%1/%2: %3: No such user
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ情報を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=サービス
%2=プロトコル
%3=ユーザ名

【メッセージ】

```
%1/%2: %3: No such group
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザグループ情報を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1=サービス
%2=プロトコル
%3=ユーザグループ名

【メッセージ】

```
%1: can't set gid %2: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスの実行グループ ID の変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= グループ ID

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: can't set uid %2: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロセスの実行ユーザ ID の変更に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= ユーザ ID

%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
cannot execute %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

サーバの起動に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= 起動するサーバプログラム

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
strdup: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

文字列の複製に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
dupmem: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1/%2: socket: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

ソケットの作成に失敗しました。

【意味】

クライアントからの接続中にクライアントとの通信が切れました。

【パラメタの意味】

%1=サービス

%2=プロトコル

%3=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setsockopt (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのオプション設定に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1 オプション名

%2 エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1 %2/%3: bind: %4
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=ノード

%2=サービス

%3=プロトコル

%4=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1/%2: bind: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットのバインドに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=サービス
%2=プロトコル
%3=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
Out of memory.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
%1: Unknown protocol
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

プロトコル番号の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プロトコル

【メッセージ】

```
%1 %2/%3: getaddrinfo: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ノード
%2= サービス
%3= プロトコル
%4= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1/%2: getaddrinfo: %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレス情報の取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= サービス
%2= プロトコル
%3= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
malloc: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1:%2: not enough fields
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=コンフィグファイル名

%2=行数

【メッセージ】

```
%1:%2: bad socket type
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=コンフィグファイル名

%2=行数"

【メッセージ】

```
%1:%2: %3: IPv6 support isn't enabled
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名
%2= 行数
%3= プロトコル

【メッセージ】

```
%1:%2: bad wait type
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名
%2= 行数

【メッセージ】

```
%1:%2: invalid number (%3)
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_WARNING

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名

%2=行数

%3=番号

【メッセージ】

```
%1:%2: bad protocol for tcpmux service %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名

%2=行数

%3=サービス

【メッセージ】

```
%1:%2: bad socket type for tcpmux service %3
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名

%2=行数

%3=サービス

【メッセージ】

```
%1:%2: internal service %3 unknown
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグの解析に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=コンフィグファイル名

%2=行数

%3=サービス

【メッセージ】

```
%1:%2: Out of memory.
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

メモリの確保に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=コンフィグファイル名

%2=行数

【メッセージ】

```
%1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

コンフィグファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= コンフィグファイル名

%2= メッセージ

【メッセージ】

```
%1/%2: No such user '%3', service ignored
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザ情報を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= プロトコル

%3= ユーザ名

【メッセージ】

```
%1/%2: No such group '%3', service ignored
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ユーザグループ情報を取得できませんでした。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= プロトコル

%3= ユーザグループ名

【メッセージ】

```
INTERNAL ERROR: could not find tcpmux built-in
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部提供サービスに tcpmux が見つかりませんでした。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
inserting default tcpmux entry
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

内部提供サービスに tcpmux を追加しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

```
getsockname(): %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

ソケットの名前取得に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
setenv (%1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

環境変数の登録に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=環境変数名

%2=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
getnameinfo: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

アドレスから名前への変換に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1=エラーメッセージ

【メッセージ】

```
%1: Unable to enter daemon mode, %2
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

デーモン化に失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= プログラム

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
can't open %1: %2
```

【プライオリティ】

LOG_CRIT

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

PID ファイルのオープンに失敗しました。

【パラメタの意味】

%1= ファイル名

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
select: %1
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

select() でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
accept (for %1): %2
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

accept() でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= サービス

%2= エラーメッセージ

【メッセージ】

```
fork: %1
```

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_DAEMON

【意味】

fork() でエラーしました。

【パラメタの意味】

%1= エラーメッセージ

第94章
クローン処理

この章では、クローン処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

(root) CMD (　　/etc/delete_tmp)

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_CRON

【意味】

一時作業フォルダ (/tmp) 下に不要なファイルが残っていないかチェックするプログラムを実行しました。
このプログラムの実行は定期的（毎週日曜　AM 3:00）に行われます。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

pam_unix(crond:session): session opened for user root by (uid=0)

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTHPRIV

【意味】

プログラムの実行権限確認処理を開始しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

pam_unix(crond:session): session closed for user root

【プライオリティ】

LOG_INFO

【ファシリティ】

LOG_AUTHPRIV

【意味】

プログラムの実行権限確認処理を終了しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

第 95 章
LED 操作処理

この章では、LED 操作処理に関するメッセージについて説明します。

【メッセージ】

RDY/CHK LED connect error

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

eventd への接続に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

RDY/CHK LED OFF send error

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

RDY/CHK LED 操作要求メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

【メッセージ】

RDY/CHK LED ON send error

【プライオリティ】

LOG_ERR

【ファシリティ】

LOG_USER

【意味】

RDY/CHK LED 操作要求メッセージの送信に失敗しました。

【パラメタの意味】

パラメタなし

Si-R GX500　メッセージ集

P3NK-5932-08Z0

発行日　　2025年7月

発行責任　　エフサステクノロジーズ株式会社

• 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
• 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
• 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、 弊社はその責を負いません。